

653.7-N967

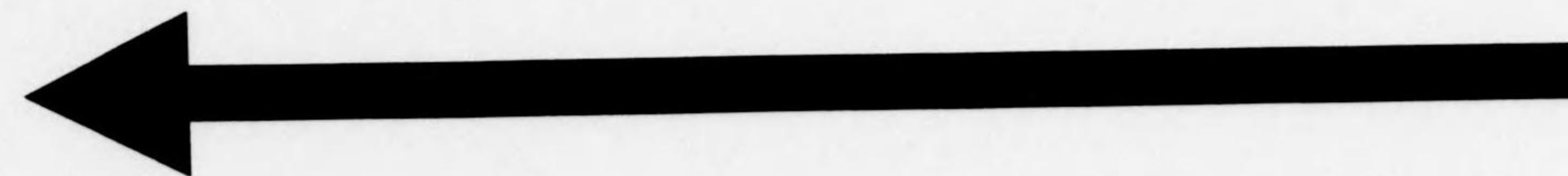


1200500749892

37  
16  
⑦



始



1/18  
1/19

~~625-94~~

653.7  
N96

(7)

# 桐ニ關スル調査書

## 目次

第一章	總說	一
第二章	生産狀況	二
第三章	桐樹栽培收支	一五
第四章	桐材輸入狀況	一九
第五章	材積計算法	二四
第六章	價格	二九
第七章	性質	四一
第八章	用途	四五
第九章	桐下駄	五〇
附錄	各地方桐樹栽培收支實例	一

# 桐ニ關スル調査書

## 第一章

## 總 說

桐ハゴマのはぐり科 (Rhinanthaceae) ニ屬スル木本ニシテ邊材ハ帶白褐色、心材ハ稍淡紅色ヲ帶ビ極メテ雅致アリ。他ノ木材ニ比シ輕軟ナルコト、狂ビ少キコト、割裂シ難キコト、吸濕力少キコト、燃燒シ難キコト、糊着ノ良キコト等各種ノ特質ヲ有シソノ價概シテ一般木材ニ比シ貴キノミナラズ生長亦迅速ナルヲ以テ伐期モ短ク又極端ナル陽樹ナルヲ以テ孤立木トシテ仕立ツルニ適シ、屋敷廻リ、畦畔ソノ他小面積ノ空地利用ノ目的ニ適ヒ農家ノ副業的事業トシテ大イニコレガ植栽ヲ見ル。

桐屬ニ屬スル植物ニハ數種アリ本邦内地ニ普通ニ見ル桐樹ハ概ネ *Paulownia tomentosa stendel* ニシテ、モト朝鮮蔚陵島ノ原産ト稱セラルルモ今日ニ於テハ南ハ九州南端ヨリ北ハ北海道ニ至ル迄植栽セラレ本邦ニ見ラルル最モ普通ナル樹木ノ一トナルニ至レリ。  
右ノ外桐屬ニ屬スル植物ニ次ノモノアリ。

(一) *Paulownia Kawakamii* T. Ito.

- (一) P. Fortunei Hemsley.
- (二) P. glabrata Rehder.
- (三) P. thyssoiaca Rehder.
- (四) P. recuria Rehder.
- (五) P. Duclauxii Dode
- (六) P. tomentosa stuedel. var lanata shneider.
- (七)

以上ノ中(一)ハ臺灣桐、(二)ハ九重桐ト稱セラレ臺灣ニ産シ、(三)以下ハ所謂支那桐ニシテ從來支那ヨリ盛ニ輸入セラレシモノ之等ニ屬ス。

### 第二章 生産狀況

本邦ニ於ケル桐材伐採量ハ最近殆ンド毎年二十萬石乃至二十八萬餘石、ソノ價額二百萬圓内外ニ達ス即次表ノ如シ。

桐材伐採統計 (農商務統計及農林統計ニヨル)

# 欠

# 欠

桐樹ハ前項ニ於テモ述ベタルガ如ク屋敷廻リ、畦畔等空地利用ノ目的ニ適ヒコレヲ實際ニ徴スルモ森林狀ニ仕立ツルモノヨリモ空地利用ニ仕立ツルモノノ方多クソノ割合ハ大約二ト一トノ比ナリ。但シ桐材利用上ノ點ヨリ見ルトキハ屋敷廻リ畦畔等人家ニ近ク或ハ人通り繁キ場所ニ植栽セシモノハ或ハ人爲的ノ損傷ヲ受ケ或ハ虫害ニ罹レルモノ多ク良材ヲ得難ク、山地ニ植栽セルモノハ材質良好ナリ。大正七、八年頃ノ好景氣時代ニハ桐材ノ價格法外ニ騰貴シ桐植栽ニ伴フ利益莫大ナルモノアリシタメ或ハ桑園、茶園ソノ地農耕用畑地ニ或ハ山地ヲ地拵シテ桐樹ヲ仕立ツルモノ甚ダ多カリシガ近時ノ不況ハ桐材價格ノ激落ヲ招來シ桐栽培ハソノ利益殆ンドナク殊ニ森林狀ニ仕立ツルモノニ對スル收益計算ハ甚ダ面白カラズ現在ノ價格ヲ以テシテハ生産費ヲ償フニ足ラザルモノアル状態ナレバ桐ノ植栽ハ近時大イニ下火トナリ桐畑ハ伐採ノミ行ハレ新ニ仕立テラルルモノ殆ンドソノ跡ヲ絶ツニ至レリ。

本邦ニ於ケル桐樹現在栽培數量ヲ見ルニ造林的作業ニ依ルモノ面積六千四百九十五町步本數三百九十九萬七千五百餘本（昭和四年現在）空地利用ニ依ルモノ九百七十二萬一千二百餘本アリ、之ノ内最も多キハ新潟縣ニシテ福島、茨城、栃木、岩手ノ諸縣之ニ次グ。

今各道府縣別現在數量ヲ示セバ次表ノ如シ。

桐樹現在數量（昭和四年末現在）

府	縣	面積	造林的作業ニヨルモノ	空地利用ニヨルモノ	本數計
福山	井梨	七三・〇四	四七、六八一	一一九、七七九	一六七、四六〇
長岐	野梨	一八・〇八	一二、七一七	一一七、〇八七	一二九、八〇四
靜愛	岡野	九・七三	三、〇七七	三七、五九八	四〇、六七五
三愛	知岡	九・七八	一一、五三〇	九六、八三八	一〇八、三六八
滋賀	重賀	四・八七	四、六六九	七八、四三九	八三、一〇八
大京	都賀	四三・二〇	四二、七六〇	一一二、五九〇	一五五、三五〇
兵大	都賀	三〇・一八	二二、九〇〇	一三八、四八〇	一六一、三八〇
奈和	良山	一・一五	一、二九〇	一四、七三四	一六、〇二四
鳥根	根山	二八・三一	二六、四七四	一三四、四四七	一六〇、九二一
島根	取山	七・九六	一六、一九七	五三、七二一	六九、九一八
廣島	山根	一三・二〇	八、七六〇	一四〇、二六八	一四九、〇二八
岡山	山根	一九・八〇	一九、四九七	九九、六四四	一一九、一四一
山口	口島	八・三五	一一、六八七	二九七、九五〇	三〇九、六三七
		五九・一四	六六、三〇〇	二七三、一〇〇	三三九、四〇〇
		一九・八三	二三、八三八	九二、一三一	九二、一三一
				三〇八、六〇五	三三二、四四三

府	縣	面積	造林的作業ニヨルモノ	空地利用ニヨルモノ	本數計
青森	森手	七六・五二	一九七、八三一	三二一、九一六	五一九、七四七
岩手	森手	五〇七・七一	三二一、〇六〇	五〇〇、四二八	八二一、四八八
宮城	城手	六八・五六	四一、一三六	二六八、一五三	三〇九、二八九
秋田	田城	六六・〇六	四二、四七五	一四〇、三三二	一八二、八〇七
山形	形田	一七六・四〇	一三三、六二七	二三六、五一六	三七〇、一四三
福島	島形	一、五八九・八二	五六四、〇九二	五三六、四一五	一、一〇〇、五〇七
茨城	城島	三一〇・九〇	一八六、六〇〇	七三二、八〇〇	九一九、四〇〇
栃木	木城	二五五・五四	一五三、三二五	七五一、〇七四	九〇四、三九九
群馬	馬木	一五三・四二	一〇七、五二七	三五八、二八四	四六五、八一
千代田	京葉	六五・四〇	七三、五〇〇	二〇一、一二四	四七六、九〇〇
東京	京葉	八・五六	六七、八二七	六〇、七二九	二六八、九五
神奈川	川京	一三・五一	一一、〇〇〇	六七、八〇〇	六九、二六二
新潟	湯川	一、一八七・三八	四三九、七三〇	九二九、六九八	一、三六九、四二八
富山	山湯	四一・〇〇	二九、九七三	五九、九二〇	七八、八〇〇
石川	川山	二〇一・七八	一五六、〇七四	二五〇、二五一	四〇六、三二五

府	縣	造林的作業ニヨルモノ		空地利用ニヨルモノ	
		面積	本數	本數	本數計
德島	川島	二六・一〇	二〇、三二〇	三八五、六二〇	四〇五、九四〇
香川	綾川	六・八七	七、二四五	四四、五三四	五一、七七九
愛媛	高知	二二・〇〇	二二、五五九	一三一、六八四	一五四、二四三
高松	高松	二・八〇	二、九〇五	一四、四二二	一四、四二二
福岡	福岡	五・〇〇	六、二五八	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
佐賀	佐賀	二二・二六	一九、六〇九	一一四、七一八	一三四、三二七
熊本	熊本	四五〇・〇〇	四七六、三〇〇	三四九、四〇〇	八二五、七〇〇
大分	大分	二・九二	一、八六〇	二二、〇五〇	二二、九一〇
宮崎	宮崎	五二五・三五	三四七、四八三	二三五、〇五九	五八二、五四二
鹿兒島	鹿兒島	六、四九五・九七	三、九九七、五五四	九、七二一、二一七	一三、七一八、七七一
沖繩	沖繩				
北九州	北九州				
計	計				

尚之ヲ樹齡別ニ就キ其ノ割合ヲ見ルニ五年生マデノモノ最モ多ク六年生ヨリ十年生マデノモノ之ニ次ギ以上漸次減少ス、即チ五年生マデノモノヲ一齡級、六年生ヨリ十年生マデノモノヲ二齡級以上五

年毎ニ一齡級ヲ加フルモノトスレバ其ノ府縣別ニ見タル齡級別割合ハ次表ノ如クニシテ全國トシテ十年生以下ノモノ約七〇%餘ヲ占ムルモノト認メラル。

桐樹齡級別本數割合 (昭和四年末現在)

府	縣	I 齡級	II 齡級	III 齡級	IV 齡級	V 齡級	VI 齡級	VII 齡級	VIII 齡級	IX 齡級	X 齡級	備考
青森	森	二七・四	一三・三	二五・二	九・五	二・四	〇・五	〇・三	〇・四			
岩手	手	三八・九	三二・一	一七・七	八・五	二・六	一・一	〇・五				
宮城	城	二〇・〇	一五・〇	六〇・〇	五・〇							
秋田	田	三三・六	三三・六	二二・四	八・四	二・五		〇・七				
山形	形	二八・〇	四二・〇	一六・〇	九・〇	五・〇						
福島	島	三七・一	三五・五	一七・四	七・六	一・五	〇・九					
茨城	城	四七・一	三八・三	一三・七	〇・七	〇・二						
栃木	木	五九・〇	三〇・〇	一〇・〇	一・〇							
群馬	馬	三九・〇	三九・〇	一六・〇	五・〇	一・〇						
埼玉	玉	一〇・〇	五〇・〇	四〇・〇								
千葉	葉	二六・三	四二・三	三三・一	六・五	〇・七	〇・一					
東京	京	二六・七	四五・六	三三・七	三・七	〇・三						
神奈川	川	一四・〇	三六・〇	三三・〇	一三・〇	五・〇						

次ニ年次別植栽數量ヲ見ルニ大正三年當時二百八十九萬二千九百本内外ナリシガ大正八九年ノ好景

府	縣	I 齡級	II 齡級	III 齡級	IV 齡級	V 齡級	VI 齡級	VII 齡級	VIII 齡級	IX 齡級	X 齡級	備考
島根	山根	六三・〇	二七・〇	八・〇	一・五	〇・五						
岡山	岡山	八八・六	九・三	〇・四	〇・四							
廣島	山口	七〇・四	二二・五	七・三	〇・八							
徳島	島田	四〇・〇	四・〇	一・〇	一・〇							
香川	川島	四一・八	三九・八	一・五	〇・三							
愛媛	媛川	五〇・〇	三三・〇	六・〇	六・〇							
高知	知媛	四三・六	三三・四	四・六	四・六							
福岡	岡賀	四七・三	五・四	〇・三								
佐賀	賀崎	五五・〇	三五・〇	一〇・〇								
長門	本崎	二〇・〇	五五・〇	一〇・〇								
熊本	本崎	五五・〇	三〇・〇	一〇・〇	四・〇	一・〇						
大分	分崎	四五・〇	三五・〇	一五・〇	五・〇	〇・八						
宮崎	崎島	二七・五	三六・五	一九・〇	六・六	〇・八						
鹿兒	島	五三・一	三三・三	九・六	三・一	〇・六						
沖繩	繩	二九・二	四七・九	一八・九	三・五	〇・五						
北海	海											

府	縣	I 齡級	II 齡級	III 齡級	IV 齡級	V 齡級	VI 齡級	VII 齡級	VIII 齡級	IX 齡級	X 齡級	備考
新潟	湯山	三九・九	二九・五	二〇・七	八・六	三・四	〇・九					
富山	山	二五・四	四〇・四	二四・六	六・四	三・二						
石川	川	三三・七	四五・六	二二・五	四・四	一・二	〇・八					
福井	井	二八・七	三四・一	二二・九	一〇・六	四・七						
山梨	梨	三九・〇	三二・〇	一八・〇	九・〇	三・〇						
長野	野	四一・一	三五・一	一五・四	四・〇	一・〇						
岐阜	卓	三三・三	三八・三	三二・一	六・六	一・七						
静岡	岡	四七・六	三九・五	二二・一	一・四	〇・四						
愛知	知	二〇・〇	五〇・〇	二四・〇	四・〇	一・〇						
三重	重	四七・〇	三三・六	二二・〇	五・〇	二・七	一・〇					
滋賀	賀	三〇・五	二九・四	二七・四	九・七	三・〇						
京都	都	二七・五	四八・五	二〇・〇	四・〇	〇・三						
大阪	阪	三〇・四	三三・六	二二・二	九・四	四・三						
兵庫	庫	四八・九	三五・一	二二・三	三・三	〇・四						
奈良	良	三三・一	四八・〇	一六・八	三・一	〇・五						
和歌	山	五三・〇	二八・〇	一四・〇	二・五	〇・五						
鳥取	取											



氣時代ニ至リ急増シ四百八十八萬五千三百本内外トナレリ。然ルニ其後漸次減少ヲ見ルニ至リ昭和四年ニ於テハ大正八九年當時ノ約五分ノ一トナルニ至レリ。  
 今道府縣別植栽數量ヲ示セバ次ノ如シ。

桐樹年次別植栽數量

府	縣	大正三年頃	大正八九年頃	昭和四年
青	森	一四三、〇七二 <sup>本</sup>	三二四、七七五 <sup>本</sup>	四五、一一一 <sup>本</sup>
岩	手	二、三五〇	一一六、二〇二	四七、〇六八
宮	城	一〇六、〇四七	一三〇、九一八	二九、七五五
秋	田	四二、四七七	七一、三五一	二〇、三五六
山	形	一七三、〇四三	二二三、七九五	五一、九二五
福	島	一二五、四八〇	一七九、〇〇〇	四五、〇〇〇
茨	城	四〇三、三〇〇	七一〇、三〇〇	一四〇、七〇〇
板	木	二四五、七六二	二六八、七九〇	五二、七四三
群	馬	一三、六〇〇	三五、〇〇〇	七、二七五
埼	玉	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一、五〇〇
千	葉	七八、六五八	一三〇、七三二	一五、二五九
東	京	二〇、七五九	四三、六二四	四、七六一

府	縣	大正三年頃	大正八九年頃	昭和四年
神	川	二一、一〇〇	二七、四〇〇	二、二〇〇
新	湯	三六〇、九〇〇	五七二、〇六五	八七、八五九
富	山	五九、六八三	五〇、五二一	八、二二二
石	川	一一九、九八四	一五九、五八七	二二、一七四
福	井	一五、四六九	二七、五四二	三、四二四
山	梨	二二、〇六一	二八、五四四	一三、一一〇
長	野	七〇、八四六	七九、六八三	二七、一七〇
岐	阜	一八四、九三五	三九〇、一三五	二二、九六八
靜	岡	一四、九〇五	二二、五四六	一一、五五八
愛	知	一二、五〇〇	三四、八〇〇	二、四〇〇
三	重	一三、〇七九	二二、八六八	三、六二六
滋	賀	二二、二五〇	三一、二〇〇	七、二三〇
大	都	三六、七〇〇	六三、八〇〇	一三、六〇〇
兵	阪	六、二一四	七、六四二	二、三〇三
奈	庫	三四、二〇〇	四七、〇〇〇	一三、六〇〇
和	良	三、〇〇〇	一〇、〇〇〇	五、〇〇〇
鳥	山	六、二三〇	一一、五三〇	九、七九八
鳥	根	一二、四〇〇	二一、二六七	九、一三六
島	根	五六、二三二	八二、七三〇	二八、〇二〇

府	縣	大正三年頃	大正八九年頃	昭和四年
岡山	岡山	八〇、九〇〇 <sup>本</sup>	一二三、二〇〇 <sup>本</sup>	二六、五〇〇 <sup>本</sup>
廣島	山口	三四、八七六	四九、三三三	一〇、八七七
徳島	島口	五九、九八一	一〇〇、六九五	一三、三五四
香川	川島	三、〇一五	三、三〇〇	三、二〇〇
愛媛	媛川	三三、六九〇	六四、二〇三	二五、〇〇一
高知	知媛	三、一一一	五、三八七	一、七二六
福岡	岡知	八、五四〇	一五、六六〇	六、五二〇
佐賀	賀岡	五、〇〇〇	三、五〇〇	一、〇〇〇
長崎	崎賀	六、九一八	八、五九〇	二、四六〇
熊本	本崎	二四、七八七	四一、三五六	二〇、八七四
大分	分本	七三、一〇〇	一〇七、四〇〇	一六、六〇〇
宮崎	崎分	四、八一六	二二、八八九	五、七七四
鹿兒	島崎	四、三八六	一四、三六九	六、二五七
沖繩	繩島	一〇二、四八一	一九八、〇九三	七二、八九四
北	計海	二、八九二、八三七	四、八八五、三二二	九六七、八八八

### 第三章 桐樹栽培收支

既ニ述ベタルガ如ク近時桐樹栽培ハ桐材價格下落ノ結果一般ニ收支相償ハザルモノ甚ダ多ク殊ニ造林的作業ニヨルモノ最モ不利ニアルモノノ如シ。

今昭和四年末現在ニ於ケル造林的作業ニヨルモノノ收支關係ヲ道府縣各地ノ例ニ就キ見ルニ支出及收入ハ經營方法ニ依リ伐期ノ長短ニヨリ材價ノ高低ニヨリ各地區々ナルモノ之ヲ一般的ニ通覽スレバ一反歩平均支出ニ於テ二百三十七圓五錢收入ニ於テ二百三十二圓二十五錢差引損失四圓八十錢トナリ企業的栽培ハ收支相償ハザル結果ヲ示セリ。

然レドモ右ハ附録各地方桐樹栽培收支實例ニ見ル如ク純企業的栽培トシテ收支ヲ見積レルモノナルモノ之ヲ農家ノ副業トシテ經營スルニ於テハ支出ニアリテ人夫賃雜費其他ヲ相當輕減スルヲ得ベク殊ニ他ニ利用ノ途少キ空地ヲ利用シテ植栽スルトキハ一層支出ヲ輕減スルヲ得ベキヲ以テ從テ利益モ相當大ナルベク農家ノ副業トシテ重要ナルモノニ屬スト思料セラル。

次ニ間作ノ收支關係ヲ見ルニ作物ノ種類ニヨリ又桐樹伐採マデノ收穫回數ノ多少ニヨリ異ルモノ一般ニ相當利益アルモノノ如ク一回ノ收穫ニ於テ平均一反歩支出五十七圓收入八十三圓差引利益二十六圓内外トナル。

間作ノ種額ハ馬鈴薯、大豆、陸稻、菜菔、薤、麥、西瓜、黃蓮、落、甘藷、茶等約十一種ニ及ブモ  
 一般ニ全國廣ク栽培セラレザルガ如シ。今昭和四年末現在ニ於ケル桐樹栽培收支一覽表ヲ掲グレバ次  
 ノ如シ。

(尙收支ノ詳細ニ關シテハ附錄參照)

桐樹栽培收支一覽表 (一反步當)

道府縣	地 方	桐樹栽培 收支			間 作 收 支			備 考
		支 出	收 入	損 益	支 出	收 入	損 益	
青 森	上北郡七戸町	20天・950	357・500	161・100	26・950	20・000	(-) 6・950	伐期十五年、間作、馬鈴薯、間作ハ一回ノ收支關係ヲ示ス以下同斷
岩 手	稗貫郡内川目村	60・870	200・000	99・130				伐期十五年
宮 城	黒川郡大谷村	103・476	261・500	158・024				伐期十五年
秋 田	北村山郡尾花澤町	700・000	633・750	106・250	13・110	11・000	(-) 2・110	伐期二十五年、間作大豆
山 形	河沼郡野澤町	324・243	454・500	130・257				伐期二十年
福 島	新治郡石岡町	97・953	160・000	62・047	16・550	30・000	(-) 13・450	伐期五年、間作、陸稻
茨 城	西茨城郡岩間町	41・104	141・000	0・896				伐期十年
栃 木	下都賀郡石橋町	371・333	120・000	131・333	65・450	83・000	(-) 17・550	伐期十年、間作、陸稻
群 馬	多野郡藤岡町	130・000	130・000	0	6・750	18・000	(-) 11・250	伐期十年、間作、大根
埼 玉	南埼玉郡内牧村	130・000	130・000	0	9・900	6・750	(-) 3・150	伐期十年、間作、大根

千 葉	印旛郡八街町	133・790	710・000	(-) 576・210				伐期十年
東 京	西多摩郡五日市町	677・980	630・000	(-) 47・980				伐期二十年
神 奈 川	津久井郡内郷村	180・961	200・100	19・139				伐期十五年
新 潟	東蒲原郡津川町	326・333	187・450	(-) 138・883				伐期二十年
富 山	東礪波郡井波町	611・655	509・570	(-) 102・085				伐期十三年
石 川	石川郡河内村	141・076	208・073	67・000				伐期十三年
福 井	今立郡味真野町	599・966	210・000	(-) 389・966	4・000	4・800	(-) 0・800	伐期十五年、間作、茶
山 梨	北都留郡巖村	184・731	333・400	148・669				伐期九年
長 野	下水内郡飯山町	271・250	280・000	8・750				伐期十年
岐 阜	不破郡垂井町	73・618	216・000	142・382				伐期十二年
靜 岡	富士郡富士根村	181・889	160・200	(-) 21・689				伐期十四年
愛 知	東加茂郡加茂村	51・323	135・000	83・677				伐期十一年
三 重	鈴鹿郡川崎村	157・277	50・000	(-) 107・277	22・477	33・000	(-) 10・523	伐期十年、間作、薤
滋 賀	伊香郡片岡村	299・767	246・400	(-) 53・367				伐期十五年
京 都	北桑田郡平屋村	490・633	451・253	(-) 39・380				伐期十七年
大 阪	南河内郡三市村	181・554	100・000	(-) 81・554				伐期十年
兵 庫	氷上郡和田村	301・295	300・000	(-) 1・295	383・643	481・777	(-) 98・134	伐期十年、間作、黃蓮
奈 良								

道府縣	地 方	桐樹栽培 收支			間 作 收 支			備 考
		支出	收入	損 益	支出	收入	損 益	
和歌山	伊都郡天野村	一三・六四	一五〇・〇〇	二七・三六	八・五〇	九八・〇〇	一・三〇	伐期十八年、間作、麥及大豆
鳥取	東伯郡社村	六四・二四九	八七五・〇〇	一九〇・七五〇	三・五〇	一五〇・〇〇	二八・五〇	伐期二十年、間作、西瓜
島根	那賀郡下府村	一三・七三二	一〇八・〇〇〇	一九・二六八			二九・七三〇	伐期十年
岡山	阿哲郡上市村	一七・六四八	六七・五〇〇	一〇五・四〇〇			一五・一四〇	伐期九年
廣島								
山口	美彌郡伊佐町	三〇・二四	四三・五〇〇	一三・二六〇			二二・三六〇	伐期七年
徳島	三好郡加茂村	二四・六八	一四・〇〇〇	一〇・六八〇			一四・三六〇	伐期八年
香川	三豊郡財田村	八九・九〇	九〇・〇〇〇	〇・〇九〇			〇・〇九〇	伐期七年
愛媛	周桑郡千足山村	一三・五七	一六・〇〇〇	三・四三〇			三・四三〇	伐期十年
高知								
福岡	田川郡糸田村	二〇・四七	四三・七一〇	一七・二四〇			一六・七六〇	伐期八年
佐賀								
長崎								
熊本	菊池郡龍門村	五・九七	一一〇・〇〇〇	五・〇三〇			五・〇三〇	伐期十五年
大分	大野郡三重町	三〇・六三	七五・〇〇〇	四四・三七〇			四四・三七〇	伐期五年
宮崎								

鹿兒島	沖繩	北海道	平均
		後志國横丹郡	
		一〇九・三五	二七・〇五
		三六〇・〇〇	二三二・五〇
		二五〇・六〇	四・八〇
		五七・一五	
		八三・二五	
		二五・九六	
		二五〇・六〇	
		伐期十五年	

### 第四章 桐材輸入状況

桐材ノ輸入ハ既ニ明治十四年頃ヨリ開始セラレタリ即大阪ノ一桐材商明治十四年七月ヨリ韓國元山ヲ根據地トシテ桐材輸入ヲナシタリシモ該地方ノ桐ハ品質劣リ色澤亦良好ナラザリシタメ本邦ニ於ケル評判甚ダ面白カラズシテ遂ニ大ナル發展ヲナサズ數量ハ極メテ微々タルモノニ止リシガ如シ。

明治二十七八年日清戦役ノ際日本軍ノ威海衛ヲ占領スルヤ陸軍御用商人矢次組ノ手ニヨリ見本の桐材ノ輸入ヲナセシガ材質良好ニシテ日本産桐材ノ代用トナシ得トノ桐材商ノ見込ニヨリ前記御用商人ノ手ニヨリ稍多量ノ輸入ヲ開始スルコトナレリ。當時ノ支那産桐材ハ樹齡三十年位直徑一尺二寸平均ノ大ナルモノニシテ本邦内地ニ於テハ得易カラザルモノナリケレバ逐年輸入ノ盛大ヲ見、邦商ノ山東方面ニ趨クモノ漸ク多キヲ加フルニ至レリ。ソノ後明治三十三年北清事變ニ一頓挫ヲナセシモ後々増加ノ勢ヲ示シ、明治三十七、八年日露戦役後數年間ハ甚ダ振ハザリシガ明治四十二、三年頃ヨリ

邦商ノ青島ニ出張シテ桐材ノ買付ニ従事スルモノ一段ト増加シ青島桐材同業組合ヲ組織シ産地モ山東ニ限ラズ河南、直隸、安徽ノ各省ニ及ビ遠クハ陝西、甘肅等ノ奥地ニモ手ヲ伸スニ至レリ、特ニ日本軍膠州灣占領後ハコレト世界大戰後ノ好景氣ノ影響ヲ受ケ桐材輸入量ハ激増又激増殆ンド底止スル所ヲ知ラズ大正十年ニ於テ總量二千七百七十八萬八千餘斤ソノ金額五百七十萬一千餘圓ノ多キニ達スルニ至レリ。

大正十年以後引續キ數年間ハ年々二千數百萬斤宛ノ輸入ヲ見最盛時代ヲ現出セシガ大正十四年以降ハ漸ク落勢ニ轉ジソノ後ハ連年減少ノ一途ヲ辿リ最近ハソノ數量大約大正二、三年頃ト同等ニシテ最盛時ノ一割ニモ充タザルニ至レリ。

斯クノ如ク桐材輸入ノ減退ヲ招來シタル所以ハ第一ニ本邦産桐材價格ノ下落ニ指ヲ屈スベク尙過去數年間ニ亘リ盛ンニ伐採サレシ結果支那各地ニ於ケル桐ノ大材漸ク拂底シ産地漸次奥地トナリコレガ出材ニ多大ノ經費ヲ要スルニ至リシト及最近ノ支那桐最大産出地タル河南省方面ノ桐材甚ダ割レ易クシテ著シク評判ヲ失墜セシトニヨル。尙彼國ニ於ケル不斷ノ動亂モ亦大イニ與ツテカアルモノノ如シ。

今外國貿易統計ニヨリ桐材輸入數量及價額ヲ見ルニ次ノ如シ。

桐材輸入統計

年次	數量	價額	備考
明治三五年	一、八五六、二七六斤	五八、二四五	
三六年	一、五九三、〇二三	四九、〇一二	
三七年	六七四、六八六	一七、四四一	
三八年	一八八、四三七	五、七九七	
三九年	二四六、六二九	六、八〇六	
四〇年	三九〇、四九四	一六、二〇七	
四一年	五五五、二四九	二一、二三七	
四二年	七三六、五一七	三〇、六八六	
四三年	一、三一二、八一四	五九、三一六	
四四年	一、六三九、〇四六	八九、三五二	
四五年	一、一二一、八六九	六二、〇〇九	
大正二年	二、四四六、八九三	一二八、六三八	
三年	二、三八九、四一一	一二〇、六一二	
四年	五、四九二、四五六	二八八、〇一三	
五年	五、八一九、一一八	三二〇、四九四	
六年	七、〇五三、三六四	四一一、九九五	
七年	八、七五〇、八四四	七八一、八九三	

年次	数量	價額	備考
昭和八年	一二、三五八、五四四	一、七四五、一一五	
昭和九年	一五、〇二八、二五〇	三、三八七、〇七三	
昭和十年	二七、七八八、三〇〇	五、七〇一、七六九	
昭和十一年	二一、七四八、七〇〇	四、二五八、一一一	
昭和十二年	二五、五〇二、六〇〇	三、七七五、九九二	
昭和十三年	二一、四九七、七〇〇	二、八四三、七〇二	
昭和十四年	一二、二三七、七〇〇	一、八一九、八五〇	
昭和十五年	一〇、七八〇、六〇〇	一、五二四、六五八	
昭和十六年	六、九八〇、八〇〇	八四二、二二六	
昭和十七年	五、六三〇、六〇〇	七〇〇、七一六	
昭和十八年	三、六七七、〇〇〇	四五九、八三五	
昭和十九年	二、四九五、一〇〇	二八八、五二六	
昭和二十年	三、二七五、四〇〇	三九八、三〇四	

支那桐材ノ積出港ハ大體青島、芝罘、天津、上海ノ四港アルモ後二者ハ全ク振ハズ青島港ヲ首位トナス。支那桐輸入開始ノ當初ニアリテハソノ產地山東省特ニ芝罘附近ニ限ラレシ關係上積出港ハ殆ソド芝罘港ノミナリシガ漸次同方面ノ産出額減退ト共ニ產地ハ山東鐵道沿線ヨリ支那奥地ニ及ビ特ニ河

南省ノ最大産出地トナルニ及ビ青島港ノ積出愈多クナリ遂ニ本邦仕向ノ九〇%迄ハ本港ヲ經由スルニ至レリ。尙殘餘ノ大部分ハ芝罘港ニシテ同港積出ノモノハ概ネ支那汽船ニテ大連ニ出デ積換ヲナシテ大阪港ニ入ル。

支那桐材ノ輸入港トシテハ大阪、門司、神戸、横濱等ヲ舉グベク從來大阪港ノ輸入量モ多カリシガ特ニ近年東京方面ニオケル需要減退著シク東京市場ニ支那桐ノ姿ヲ没スルニ及ビ横濱港入荷ハ微々トシテ振ハズ桐材輸入港ハ殆ソド大阪ニ限ラルルノ現狀ニアリ。外國貿易統計ニヨツテ見ルニ次ノ如シ。

桐材港別輸入統計

年次	大正十三年		大正十四年		大正十五年		昭和二年		昭和三年	
	数量	價額	数量	價額	数量	價額	数量	價額	数量	價額
横濱	二八、四九四	三、四八六	三、三三六	五、五九六	二、二七	一、三五九	一八、〇〇〇	六五五	八、二七五	
神戸	九、四四四	二、四〇一	四、二七六	一、八七六	二、二二六	六、六九七	三、六二〇	五九、〇〇〇	六、四七三	六、四七三
大阪	一五七、〇三三	一、九三四、五六六	一一〇、五三三	一、五〇一、八三三	一〇一、三七五	一、三八三、一八六	六四、〇五二	五、四七三	六、四七三	六、四七三
長崎	四七九	一、一八〇	七	一、六五五	四六	一、一三三	一八	五四三		
門司	一五、三三一	三、四四、二〇〇	四、三七五	一〇七、〇六六	二、六九	六五、三三三	二、二二七	一、一七六	二七、九三〇	
其他	四、一七六	五、五七七	八五三	三三、〇三三	三五二	四、九三三				
計	二二四、九七七	二、八四三、七〇〇	二二三、三七七	一、八八九、八五〇	二〇七、八〇六	一、五三四、六五八	六九、八〇八	八四三、三三六	五、三〇六	七〇〇、七〇六

輸入桐材ノ材種別材積ヲ見ルニ丸太最モ多ク、下駄木取之ニ亞ギ板材ハ極メテ僅少ナリ。今大阪税關調査ニヨリ大阪港輸入ノモノニ就テ見ルニ丸太約六〇%、下駄木取三八%、板二%ナリ、詳細次ノ如シ。

大阪港輸入桐材材種別數量調 (昭和四年)

材種	數	量	價額	數量割合	備考
丸太	二一、四二六	四二六 <sup>四</sup>	二一四、〇六三	六〇・〇七%	
下駄木取	一三、五五五	五五五	二一六、二二六	三八・〇一%	
板	六八五	八五	一一、五七〇	一・九二%	
計	三五、六六六	六六六	四四一、八五九	一〇〇・〇〇%	

丸太ハ一本平均重量三七〇—三八〇斤ニシテ小ハ一五〇斤ヨリ大ハ九〇〇斤ニ及ブ、末口直徑ハ一尺前後ノモノヲ普通トス。

### 第五章 材積計算法

桐丸太材ノ材積計算ニハ他ノ一般木材ノ如ク石、尺<sup>レ</sup>等ヲ使用スルコト殆ンドナク獨特ノ材積單位ヲ使用ス。今日最モ廣ク使用セラルル單位ハ玉ニシテ一玉トハ末口無皮直徑六寸長サ六尺四寸ノ丸太

材積ヲ稱シ末口六寸以上ハ一寸ヲ増ス毎ニ其ノ丸太材積ノ呼稱一玉ヲ増シ又六寸以下ハ一寸ヲ減ズル毎ニ順次ソノ半數玉トナス。故ニコノ材積計算法ニオイテハ同ジク一玉ト稱スルモ末口五寸ノモノハ二本ヲ以テシ、末口六寸ノモノ一本、末口七寸ノモノハ半本ヲ以テスルガ故ニ一玉ノ實積ハ末口直徑ノ如何ニ依ツテ夫々差異アルモノトス。

桐丸太末口七寸以上ノモノヲ玉上、六寸ノモノヲ玉中、五寸以下ノモノヲ玉下ト稱シ、或ハ六寸以上ノモノヲ玉上五寸以下ノモノヲ玉下ト云フコトアリ。

今玉計算ノ關係ヲ表示スレバ次ノ如シ。

丸太名稱	末口直徑	玉數	備	考
玉上	三寸	1/8	八本ヲ以テ一玉トス	
玉中	四寸	1/4	四本ヲ以テ一玉トス	
玉下	五寸	1/2	二本ヲ以テ一玉トス	
玉上	六寸	1		
玉中	七寸	2		
玉下	八寸	3		
玉上	九寸	4		
玉中	尺	5		
玉下	尺一寸	6		

右ハ長サ六尺四寸ヲ有スル丸太ノ玉數算出法ナルモ六尺四寸以下又ハ以上ニ造材セラレタルモノノ玉計算ハ材長ヲ八寸ノ倍數ト看做シ(端數ハ切捨ツ)先ヅ八ヲ以テ材長ヲ除シテ得タル整數ニ〇・一二五(8寸<sup>64</sup>)ヲ乘ジ末口直徑ニ應ズル玉數ヲ乘ジテ所要ノ玉數ヲ得。

末口直徑ノ測定法ハ最狹部一方指寸止トスベキモ新潟縣地方ノ如ク、最長、最短兩直徑ヲ五分止ニテ測リ算術平均シテ寸未滿切捨テ末口直徑トナス地方アリ、又東京ノ如ク最短直徑三分以上ノ延ナケレバ寸ヲ認メズ(例ヘバ六寸三分アルモノハ六寸トシ六寸二分ノモノハ五寸ト勘定ス)等區々ニシテ必ズシモ一定セズ。

大阪ソノ他關西地方ニ於テハ材積單位トシテ才ヲ用フ。本法ニオイテハ長サ六尺四寸ノ丸太ニ就キ末口最長、最短兩直徑ヲ寸單位ニテ相乘セル數ヲ以テ才數トス即例ヘバ六寸ト五寸ノ場合ハ三〇才、六寸ノ正圓ノ場合ハ三六才トナス。長サ六尺四寸ナラザル丸太ニ對スル才數算出ハ玉數算出ノ場合ト同様材長ヲ八ニテ除シテ得タル整數ニ〇・一二五ヲ乘ジ末口直徑ニ應ズル才數ヲ乘ジテ所要ノ才數ヲ得。今各地方ニ於ケル慣行ノ單位及其ノ材積計算方法ヲ掲記スレバ次ノ如シ。

府 縣	慣行ノ單位	材 積 計 算 方 法
青 森	玉	長サ六尺五寸末口最短直徑六寸ヲ以テ一玉トス

府 縣	慣行ノ單位	材 積 計 算 方 法
岩 手	玉	末口最短直徑六寸、長サ六尺四寸ヲ一玉トシ太物ニアリテハ直徑一寸ヲ増ス毎ニ一玉ヲ増シ細物ニアリテハ一寸ヲ減スル毎ニ一玉ノ本數ハ二ノ等比較數ヲ以テ増加ス
宮 城	玉	長サ六尺五寸、末口直徑六寸四分ノ丸太ヲ一玉トシ直徑一寸増ス毎ニ一玉ヲ増ス
秋 田	玉	長サ六尺四寸乃至六尺五寸ノ丸太ノ末口無皮直徑六寸ノモノヲ一玉トシ直徑一寸ヲ増ス毎ニ一玉ヲ増シ一寸ヲ減ズル毎ニ一玉ノ本數ハ倍加ス
山 形	玉	長サ六尺四寸末口直徑六寸ノモノヲ一玉トス
福 島	玉	長サ六尺四寸末口直徑六寸ノモノヲ一玉トス
茨 城	玉	長サ六尺四寸末口直徑六寸ノモノヲ一玉トス
栃 木	玉又ハ「ファミ」	長サ六尺四寸末口直徑六寸ノモノヲ一玉トス
群 馬	玉	長サ六尺五寸末口直徑六寸ノモノヲ一玉トス
埼 玉	玉	長サ六尺五寸末口直徑六寸ヲ一玉トシ末口短徑六寸以下一寸落毎ニ一玉ノ本數ハ倍加シ六寸以上ハ一寸ヲ増ス毎ニ一玉ヲ増ス
千 葉	玉	長サ六尺四寸ノモノ末口直徑ヲ計リ其ノ六寸ヲ以テ一玉トス、直徑分位ハ切捨ツ
東 京	玉、石、尺	長サ六尺四寸直徑六寸ノモノヲ一玉トス
神 奈 川	玉	長サ六尺四寸直徑六寸ノモノヲ一玉トシ十立方尺ノモノヲ一石、十二立方尺ノモノヲ一尺トナス
新 潟	玉	桐材ノ取引ハ目通り周圍及長サヲ以テシ特ニ材積ノ計算ヲナサズ
富 山	才	長サ六尺五寸末口直徑六寸ノモノヲ一玉トシ直徑六寸以上ノモノヲ玉上以下ノモノヲ玉下ト稱ス
石 川	才	長サ六尺四寸ノ一寸角ヲ一才トス
福 井	才	長サ六尺四寸ノ一寸角ヲ一才トシ丸太ハ長サ六尺四寸ニテ末口直徑ノ自乘ヲ以テ才數トナス
山 梨	石	長サ六尺四寸ノ一寸角ヲ一才トシ丸太ハ末口ノ周圍(寸單位)ニ〇・三ヲ乘ジ直徑ヲ算出シ直徑ヲ自乘シ之ニ全長ヲ六尺四寸ニテ除シタル數ヲ乘ジ才數ヲ算出ス
長 野	玉、口、本、才	末口直徑ノ自乘ニ長サヲ乘ジ算出ス 玉又ハ口ハ長サ六尺四寸末口直徑六寸ノモノヲ單位トシ本ハ高サ五尺ノ直徑及枝下ノ長サヲ測リ一本ノ價格ヲ定ム、才ハ長サ十二尺ノ一寸角ヲ一才トス



地方	慣行ノ單位	材積計算法
岐阜	本、才	〔立木實買ニハ本ヲ以テシ伐採木ニツキテハオヲ用ヒ長サ六尺三寸ニテ直徑ノ自乗數ヲ以テ才數トス〕 太サハ目通り周圍ヲ測リ寸未滿ハ切捨ツ
靜岡	本	長サ六尺五寸ノ一寸角ヲ一オトシ末口長短兩徑ノ平均數ノ自乗ヲ以テ才數トス
愛知	才	〔長サ六尺五寸末口直徑六寸ノモノヲ一玉トシ末口直徑一寸ヲ増ス毎ニ一玉ヲ増シ一寸ヲ減ズル毎ニ一玉ノ本數倍加ス〕オハ一二〇立方寸ヲ單位トス
三重	玉、才	長サ六尺五寸ノ一寸角ノモノヲ一オトシ末口直徑ノ自乗ヲ以テ才數トス
滋賀	才	〔末口直徑ノ自乗數ヲ以テ才數トシ山城地方ニテハ長六尺、兩丹地方ニテハ長サ六尺五寸、末口直徑一寸ヲ以テ一オトス〕
京都	才	長サ六尺四寸ノモノニツキ末口無皮長短兩徑(寸單位)ノ相乘積ヲ以テ才數トス
大阪	才	
兵庫	本	
奈良	才	
和歌山	尺	〔長サ六尺五寸末口周圍二尺ヲ以テ尺ト稱シ「尺上」ハ一寸ヲ寸ト呼ビ「尺下」ハ二寸ヲ以テ寸ト呼ブ〕
鳥取	寸	長サ十二尺ヲ標準トシ目通り周圍ヨリ一尺ヲ引キ殘長一寸ヲ以テ單位トス
島根	才	長サ六尺四寸ノモノニツキ末口直徑ノ自乗ヲ以テ才數ヲ算出ス
岡山	寸	地上四尺五寸ノ個所ニ於ケル周圍尺以上ノ寸ヲ一寸ト稱ヘ材積ハ其ノ延數ニヨリ計算ス
廣島	個	目通り(地上四尺五寸)ノ周圍尺廻リヲ一個ト稱シ尺以上ハ一寸ヲ増ス毎ニ一個ヲ加算ス
山梨	寸	地上四尺ノ周圍一尺一寸ヲ以テ一寸ト稱ヘ其ノ延寸ヲ以テ材積ヲ算出ス
山梨	寸	〔目通(地上五尺)ノ周圍ヲ計リ三尺廻リ以下ノ場合ハ每木一尺ヲ控除シ三尺以上ハ控除セズ其ノ延寸ヲ以テ算定ス〕長サハ枝下十尺ヲ標準トス
徳島	寸	長サ十尺目通周圍一尺一寸ヲ以テ一寸トナシ其ノ延寸ヲ以テ材積ヲ計算ス
香川	寸	

地方	慣行ノ單位	材積計算法
愛媛	寸	長サ十尺目通周圍一尺一寸ヲ以テ一寸トシ其ノ延數ヲ以テ計算ス
高知	本	
福岡	寸	胸高周圍一尺一寸ノモノヲ一寸トシ其ノ延數ヲ以テ計算ス
佐賀	本	
長崎	斤	
熊本	系廻シ寸、才	〔胸高周圍一尺ヲ標準トシ一尺一寸以上ヲ寸増ニ測定シ延寸ヲ以テ計算ス、オハ丸太長サ六尺三寸ヲ標準トシ末口直徑ノ長短相乘積ヲ以テス〕
大分	本、石、才、肩	地上六尺五寸ノ周圍一尺ヲ標準トシ一尺一寸以上ヲ寸毎ニ測定シ延寸ヲ以テ計算ス
宮崎		石オハ末口直徑ノ自乗ニ長サ(利用幹材ノ長サ)ヲ乘ジ算出ス、肩ハ五寸角二間材ヲ一肩トス
鹿兒島		
沖縄		

### 第六章 價格

桐材ハ產地ニヨリ品質ニ上下アリ又年齡切目ノ數ニヨリ價格ニ著シキ相異アリ標準價格ヲトルニ甚ダ困難ナレドモ參考ノタメ生産地並ニ地方市場ニ於ケル相場ヲ見ルニ次ノ如シ。

○新潟縣北魚沼郡塚山村(信越線塚山驛渡)

玉上(一玉) 玉中(一玉) 玉下(一玉)

二〇〇 二・五〇 三・五〇

昭和四年春

同 秋

一・七〇

二・四〇

三・二〇

昭和五年春

一・五〇

二・二〇

三・〇〇

○新潟縣岩船郡猿澤村(立木)

昭和五年春

玉上(一玉)

一・五〇<sup>甲</sup>

玉中(一玉)

二・〇〇

玉下(一玉)

二・五〇

○新潟縣東蒲原郡津川町(立木)

昭和五年春

玉中(一玉)

二・〇〇<sup>甲</sup>

○福島縣河沼郡野澤町(立木)

昭和五年春

玉上(一玉)

一・七〇<sup>甲</sup>

玉中(一玉)

二・〇〇

玉下(一玉)

二・五〇

○福島縣耶麻郡喜多方町(驛着)

昭和五年春

玉上(一玉)

一・五〇<sup>甲</sup>

玉中(一玉)

二・〇〇

玉下(一玉)

三・〇〇

○福島縣若松市(驛着)

(玉上)一玉

玉中(一玉)

玉下(一玉)

大正三年頃

二・〇〇—二・二〇<sup>甲</sup>

二・七〇—二・八〇<sup>甲</sup>

三・二〇—三・三〇<sup>甲</sup>

大正八九年頃

一・二〇〇

一・三〇〇—一・四〇〇

一・六〇〇

昭和五年春

一・七〇—一・八〇

二・五〇

二・〇〇

青森縣八戸市(驛着)

昭和五年春

玉上(一玉)

二・〇〇<sup>甲</sup>

玉中(一玉)

二・五〇

玉下(一玉)

三・五〇

○岩手縣下閉伊郡刈屋村(立木)

昭和五年春

玉中(一玉)

三・〇〇<sup>甲</sup>

玉下(一玉)

四・五〇

○岩手縣盛岡市(驛着)

昭和五年春

玉上(一玉)

二・〇〇<sup>甲</sup>

○栃木縣上都賀郡鹿沼町(驛着)

昭和五年春  
 玉中(一玉) 二・五〇  
 玉下(一玉) 四・〇〇  
 玉中(一玉) 二・〇〇  
 玉下(一玉) 二・五〇

次ニ東京材木問屋同業組合建値ニヨリ東京市場ニオケル近縣産桐材標準相場ヲ見ルニ左ノ如シ。  
 東京市場桐材相場變遷表

年 月	丸 太 (一玉)		板 (坪)					備 考
	玉 上	玉 下	正八分	正七分	正四分	正三分		
大正一三年六月	四・〇〇	七・〇〇	九・五〇	六・〇〇	三・七〇	二・八〇		
同 七 月	〃	〃	八・五〇	五・五〇	三・五〇	二・六〇		
同 八 月	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
同 九 月	三・五〇	六・〇〇	八・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	二・二〇		
同 一〇 月	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
同 一 月	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
同 二 月	〃	〃	〃	〃	〃	〃		

年 月	丸 太 (一玉)	板 (坪)	備 考
大正一四年一月	〃	〃	
同 二 月	〃	〃	
同 三 月	〃	〃	
同 四 月	〃	〃	
同 五 月	〃	〃	
同 六 月	〃	〃	
同 七 月	〃	〃	
同 八 月	〃	〃	
同 九 月	四・〇〇	八・五〇	
同 一〇 月	三・〇〇	七・〇〇	
同 一 月	〃	〃	
同 一 月	三・二〇	〃	
大正一五年一月	〃	〃	
同 二 月	〃	〃	
同 三 月	〃	〃	
同 四 月	三・五〇	七・五〇	
同 五 月	〃	〃	
同 六 月	〃	〃	

同	同	同	昭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	昭	同	同
四	三	二	和	一	一	一	九	八	七	六	五	四	三	和	一
月	月	月	年	一	一	一	月	月	月	月	月	月	三	年	一
月	月	月	一	二	一	〇	月	月	月	月	月	月	一	一	月
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
						二・八〇									二・五〇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
						四・五〇									四・〇〇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
						六・〇〇									五・八五
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
						三・五〇									三・三〇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
						二・二〇									二・〇〇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
						一・八〇									一・六〇



同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	昭	同	同	同	同	大
一	九	八	七	六	五	四	三	二	二	和	一	一	一	九	八
〇	月	月	月	月	月	月	月	月	月	年	一	一	一	〇	月
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	一	二	一	〇	月	七
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
															三・五〇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
															五・五〇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
															七・五〇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
															四・五〇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
															四・七五
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
															二・七〇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
															二・一〇



年 月	丸太(一玉)		板					備 考
	玉 上	玉 下	正 八 分	正 七 分	正 四 分	正 三 分		
昭和四年五月	二・八〇	四・ <sub>四</sub> 〇	六・ <sub>四</sub> 〇	三・ <sub>四</sub> 五〇	二・二〇	一・ <sub>四</sub> 八〇		
同 六 月	二・五〇	四・〇〇	六・〇〇	三・五〇	二・〇〇	一・八〇		
同 七 月	二・五〇	四・〇〇	六・〇〇	三・五〇	二・〇〇	一・八〇		
同 八 月	二・五〇	四・〇〇	六・〇〇	三・五〇	二・〇〇	一・八〇		
同 九 月	二・二〇	三・五〇	五・〇〇	二・九〇	一・八〇	一・五〇		
同 一〇 月	二・二〇	三・五〇	五・〇〇	二・九〇	一・八〇	一・五〇		
同 一 月	二・〇〇	三・二〇	四・五〇	二・六〇	一・六〇	一・三五		
昭和五年一月	二・〇〇	三・二〇	四・五〇	二・六〇	一・六〇	一・三五		
同 二 月	二・〇〇	三・二〇	四・五〇	二・六〇	一・六〇	一・三五		
同 三 月	二・〇〇	三・二〇	四・五〇	二・六〇	一・六〇	一・三五		
同 四 月	二・〇〇	三・二〇	四・五〇	二・六〇	一・六〇	一・三五		
同 五 月	二・〇〇	三・二〇	四・五〇	二・六〇	一・六〇	一・三五		
同 六 月	二・〇〇	三・二〇	四・五〇	二・六〇	一・六〇	一・三五		
同 七 月	二・〇〇	三・二〇	四・五〇	二・六〇	一・六〇	一・三五		
同 八 月	二・〇〇	三・二〇	四・五〇	二・六〇	一・六〇	一・三五		

年 月	丸太(一玉)		板					備 考
	玉 上	玉 下	正 八 分	正 七 分	正 四 分	正 三 分		
昭和六年一月	一・五〇	二・五〇	三・五〇	二・二五	一・三五	一・〇五		
同 二 月	一・五〇	二・五〇	三・五〇	二・二五	一・三五	一・〇五		
同 三 月	一・五〇	二・五〇	三・五〇	二・二五	一・三五	一・〇五		
同 四 月	一・七〇	二・八〇	三・八五	二・五〇	一・五〇	一・二〇		
同 五 月	一・七〇	二・八〇	三・八五	二・五〇	一・五〇	一・二〇		
同 六 月	一・七〇	二・八〇	三・八五	二・五〇	一・五〇	一・二〇		
同 七 月	一・七〇	二・八〇	三・八五	二・五〇	一・五〇	一・二〇		
同 八 月	一・七〇	二・八〇	三・八五	二・五〇	一・五〇	一・二〇		
同 九 月	一・七〇	二・八〇	三・八五	二・五〇	一・五〇	一・二〇		
同 一〇 月	一・五〇	二・五〇	三・五〇	二・二五	一・三五	一・〇五		
同 一 月	一・五〇	二・五〇	三・五〇	二・二五	一・三五	一・〇五		
同 二 月	一・五〇	二・五〇	三・五〇	二・二五	一・三五	一・〇五		
同 三 月	一・五〇	二・五〇	三・五〇	二・二五	一・三五	一・〇五		
同 四 月	一・五〇	二・五〇	三・五〇	二・二五	一・三五	一・〇五		
同 五 月	一・五〇	二・五〇	三・五〇	二・二五	一・三五	一・〇五		
同 六 月	一・五〇	二・五〇	三・五〇	二・二五	一・三五	一・〇五		
同 七 月	一・五〇	二・五〇	三・五〇	二・二五	一・三五	一・〇五		
同 八 月	一・五〇	二・五〇	三・五〇	二・二五	一・三五	一・〇五		
同 九 月	一・五〇	二・五〇	三・五〇	二・二五	一・三五	一・〇五		
同 一〇 月	一・五〇	二・五〇	三・五〇	二・二五	一・三五	一・〇五		

各種木材ノ價格ヲ比較スルニ桐材ハ稍高位ニアリテ特殊用材ト認メラルモノヲ除外セバ一般木材  
 中最高位ニアリト稱スルヲ妨ゲザルナリ即東京市場ニオケル數種ノ木材ニツキ昭和五年中標準相場ノ

平均ヲ採リテ桐材ノ夫ト比較スレバ左ノ如シ。

桐丸太末口六寸長サ六尺五寸	石	九・二六 <sup>円</sup>
秋田杉丸太末口尺上長十三尺(方材)	石	八・一四
同 (並材)	石	六・五四
北海道栓角末口尺三上長六尺上	石	八・二三
同 桂角同	石	六・五二
同 榎角同	石	八・六八
同 檜角同	石	六・四八
南洋材ラワン丸太	石	七・四二

尚参考ノ爲各道府縣生産地山元市場ニ於ケル桐原木丸太相場ノ變遷ヲ示セバ次表ノ如シ。

道府縣	單位	大正三年頃	大正八九年頃	昭和四年	備考
青森	玉	三・六〇〇	四・八〇〇	二・二〇〇	
北海道	玉	五・〇〇〇	七・〇〇〇	三・〇〇〇	

岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	新潟	長野	山梨	三重	廣島	富山
三・〇〇〇	四・八〇〇	一・五〇〇	一・六〇〇	二・〇〇〇	四・〇〇〇	五・〇〇〇	三・〇〇〇	三・五〇〇	三・〇〇〇	三・〇〇〇	二・六七〇	一・七〇〇	九・〇〇〇	一・〇〇〇	一・六六〇	一・〇四〇
六・〇〇〇	六・五〇〇	八・〇〇〇	八・〇〇〇	九・〇〇〇	一・五〇〇	一・二〇〇	五・五〇〇	一・三〇〇	六・〇〇〇	六・〇〇〇	八・三七〇	四・八〇〇	三・四〇〇	二・〇〇〇	一・八五〇	一・一〇〇
二・三〇〇	一・五〇〇	一・六〇〇	一・六〇〇	一・八〇〇	三・〇〇〇	三・〇〇〇	二・〇〇〇	二・五〇〇	一・八〇〇	二・〇〇〇	一・八二〇	一・四〇〇	七・〇〇〇	五・〇〇〇	三・六〇〇	一・〇四〇

道府縣	單位	大正三年頃	大正八九年頃	昭和四年	備考
石川	才	・〇七〇	・二〇〇	・〇五〇	
福井	才	・〇七〇	・二〇〇	・〇四〇	
岐阜	才	・〇八三	・二三六	・〇四一	
愛知	才	・〇四〇	・二五〇	・〇三〇	
滋賀	才	・〇八〇	・二五〇	・〇四九	
京都	才	・〇八五	・二〇六	・〇五〇	
大阪	才	・〇五〇	・二五〇	・〇五〇	
奈良	才	・一〇〇	・三〇〇	・〇八〇	
鳥根	才	・〇四〇	・〇九〇	・〇四〇	
神奈川	本	二・〇〇〇	一・二〇〇	三・五〇〇	目通り周圍二尺五寸、長サ一丈一尺
静岡	本	四・五一〇	一・三〇〇	四・一〇〇	目通り周圍二尺五寸
兵庫	本	二・四〇〇	三・七〇〇	一・三〇〇	地上四尺五寸ノ直徑六寸、長サ十尺乃至十三尺ノモノ
山口	本	二・二五〇	四・二五〇	一・二五〇	地上四尺ニ於ケル直徑五寸ノモノ、二等品
徳島	本	三・二〇〇	九・六〇〇	一・六〇〇	目通り周圍一尺八寸長サ十尺
高知	本	二・〇〇〇	三・一〇〇	一・七〇〇	地上六尺五寸ノ直徑六寸
佐賀	本	一・三〇〇	四・〇〇〇	一・八〇〇	地上六尺五寸ノ直徑七寸

### 第七章 性質

和歌山	鳥取	岡山	香川	愛媛	福岡	熊本	大分	長崎
・四〇〇	・四〇〇	・三五〇	・二五〇	・四〇〇	・三〇〇	・二五〇	・二〇〇	・三五〇〇
・八〇〇	・八〇〇	・七〇〇	・九〇〇	・六五〇	・八〇〇	・七〇〇	・五〇〇	・六〇〇〇
・一五〇	・二〇〇	・二〇〇	・二〇〇	・二〇〇	・二五〇	・二〇〇	・一五〇	・二〇〇〇
長サ六尺五寸、末口周圍二尺以上一寸ニ對スル價格								
目通り周圍尺以上一寸ニ對スル價格								

桐材ノ特質トシテ數ヘラルル點多々アリ左ノ如シ。

(1) 輕キコト。……氣乾比重三〇—三二、生木比重五六。一立方尺ノ重量氣乾材ハ二・二三—二・三七貫、生材四・一六貫ニシテ本邦産木材中最モ輕シ。

(2) 軟キコト。本邦産木材中最モ軟シ。

- (3) 狂ヒ少キコト。寒暖、乾濕ニヨル伸縮極メテ小ナリ。
- (4) 容易ニ濕氣ヲ吸收セザルコト。
- (5) 燃燒シ難キコト。
- (6) 糊着良好ナルコト。接合面極メテヨク密着シ敢テコレヲ離サントセバ反テ木質ヲ破壊スルニ至ル。
- (7) 音響ヲヨク傳導ス。音響ニ對シヨク共鳴シ獨特ノ美音ヲ發ス。
- (8) 木理、材色ニ雅致アリ。

桐材ハ日本及支那各地ニ亘リテ產出サルルハ既ニ述ベタル所ナルガソノ材質ニ至リテハ產地ノ異ナルニ從ヒ可ナリノ優劣アリ、概シテ寒地ニ產スルモノハ材質緻密ニシテ年輪細カク木目太ク色澤良好ナレトモ暖地ニ產スルモノハ脆弱ニシテ軟ク年輪疎ニシテ木目細ク色澤良好ナラズ。今左ニ產地別ニ材質ヲ簡單ニ説明セン。

- (1) 岩手縣地方産……岩手縣下閉伊郡、九戸郡、稗貫郡ソノ他舊南部領各地ヨリ產スルモノ所謂南部桐ニシテ桐材中最モ優良ナルモノトセラル。南部桐ハ樹液比較的少ク能ク雨露ニ曝シテ乾燥スル時ハ銀白色若クハ淡キ紫紅色ヲ帶ビ黑變スルコトナク極メテ優美ニシテ紫桐トモ稱セラ。絹絲光澤ヲ有シ年輪ノ幅略均一ニシテ狭ク木目太ク明瞭ナリ(目生キテ居ルト稱ス)、材緻

密ニシテ硬ク下駄ニ使用シテ磨滅シ難ク且材極メテ輕シ。

岩手縣氣仙郡地方ヨリ產スルモノハ材質稍南部桐ニ及バザルモ尙桐材中優良ナルヲ以テ小南部ト稱シテ取引セラル。

- (2) 福島縣地方産……福島縣北會津、南會津、耶摩、河沼、大沼、各郡及新潟縣東蒲原郡產ノ桐ハ是等各郡ガ舊會津領ナリシ關係上會津桐ト種シテ市場ニ取引セラル。前述ノ南部桐ニ亞イテ優良ニシテ材質硬キタメ磨滅少ク、光澤強クシテ變色スルヒト少シ。材少シク重キコト皮部ニ近ク年輪多キモノ(ヨリ目ト稱ス)多キコト、波狀(奎チデレ目ト稱ス)ヲ有スルモノ多キコト等ヲ多少ノ缺點トス。但シコレ等ハ用途ニヨリ必ズシモ缺點トナラズ。

- (3) 新潟縣地方産……新潟縣ハ本邦有數ノ桐材多產地ニシテ岩船、北蒲原、中蒲原、南蒲原、東蒲原西蒲原、古志、北魚沼、中魚沼、南魚沼、三嶋、刈羽各郡ヲ中心ニ到ル所桐樹ノ栽培ヲ見ザルナリ、材質亦南部桐ニ次イテ優良ニシテ會津桐ニ比適シ、年輪細カク、木目太ク材硬ク、光澤亦良好ナリ。會津桐ト同様ヨリ目ノモノ、チデレ目ノモノ多キモコレ等ハ胴丸火鉢、琴材トシテカヘツテ賞用セラル。

- (4) 栃木、群馬縣地方産……桐材ノ生産多キ地方ニシテ材質ハ前記三者ニ劣ルモ東京地廻リノモノヨリハ概シテ良好ナリ。



- (5) 茨城、千葉縣地方産……産出多量ナルモ樹液多ク赤味甚ダシク後日黒變スルモノ、蟲害ニ罹レルモノ等多ク概シテ劣等品トシテ取引セラル。
- (6) 埼玉縣地方産……埼玉縣秩父地方産桐ハ材質優良ニシテ南部桐ニ酷似シ、硬クシテ木目太ク、光澤アリテ雅致ニ富メリ。
- (7) 東京附近産……東京附近ニ生スルモノハ俗ニ地桐ト稱セラレ（コレニ對シ東北地方産ノモノヲ下リ桐ト稱ス）材質一般ニ良好ナラズ。
- (8) 右ノ外近畿地方以西ニ産スルモノハ東北地方産ノモノニ比シ概シテ材質軟ク、木目細ク（目ネムレリト稱ス）色澤モ良好ナラズ品質劣等トセラル。
- (9) 支那各地産……支那産ノ桐ハ既ニ述ベタルガ如ク本邦産桐ト植物學上ノ種ヲ異ニシ、ソノ種類モ數種ヲ含ミ、且産地關係ニヨリ優劣種々ノモノヲ存シ本邦内地桐ニ比シ毫モ遜色ナキモノモアレド概シテ劣等ナリト稱セラル。
- 山東省産ノ桐ハ從來最モ多量ニ輸入サレシモノニシテ材質ハ芝罘港ニ出廻ルモノ最上等トセラレ、稍南部桐ニ類スト云ハル。山東鐵道沿線ノモノハ材稍輕ク黃色ヲ帶ビ芝罘産ニ劣ル。山東地方ハ早クヨリ盛ンニ伐採セラレシ結果既ニ太キモノハ殆ンドナク、今日伐採セラレツツアルモノハ一旦伐採後植栽ニヨリ成立セルモノニシテ概シテ小サク末口五、六寸ヨリ太キモ一尺内外

ナルヲ普通トスト。

河南省ハ今日支那ニオケル桐材産地ノ中心ヲナセル地方ニシテ本邦ニ輸入サルル桐材ノ八〇迄ハ本省ノ産ナリト云フ。中心地ノ主ナルモノハ歸德、鄭州、洛陽等ナルモ歸德産ノモノハ材軟弱ニ過ギ、逆目アリ、光澤悪ク且目割（年輪割）多クシテ材質劣等ナリ。鄭州方面ノモノハ材軟カキノミナラズ木理判明ヲ缺キ桐材トシテハ下等ナルモ田畑ノ畦畔ニ産シ生産區域廣キヲ以テ河南省産ノ大部分ヲ占ム。洛陽産ノモノハ河南省産中最上等ノモノニシテ本邦内地桐ニ比シ遜色ナク下駄材トシテ好適ナルノミナラズ家具、琴材トシテ歡迎セラル。

右ノ外少量宛直隸省、安徽省、江蘇省、陝西省方面ヨリモ産出サル、ソノ材質安徽、江蘇方面ハ劣等ナルモ直隸ハ硬クシテ比較的良好、陝西ニ至レバ良好ニシテ我會津桐ニ相似タリ。

## 第八章 用 途

桐材ノ用途ハ極メテ多岐ニ亘レドモ今ソノ主ナルモノヲ列舉スレバ左ノ如シ。

- (1) 下駄用材……桐材ノ用途トシテ最モ重要ナルモノハ下駄ニシテ桐材總生産額ノ大部分即七〇乃至八〇%迄ハ下駄用材ニ向ケラルル現狀ニアリ。
- 輓近本邦人服裝ノ變化ト共ニ靴ノ需要大イニ増加シ從テ下駄類ハコレガタメ大イニソノ販路ヲ

蠶喰サルル傾向アリ、殊ニゴム價格下落ト共ニゴム靴、ゴム長靴ノ普及近年頗ル目醒シキモノアリ特ニ小兒ニアリテハコノ傾向顯著ニシテ都會地ニアリテハ小兒ノ下駄ヲ穿ツモノ殆ンド見當ラザルノ状態ニアリ、從來大人下駄採取殘材又ハ小徑材等ヲ利用セシ小兒下駄ノ需要減退ハ桐材利用上可ナリノ打撃タルヲ免レザル所ナリ。

- (2) 指物用材……下駄ニ次ギテ重要ナル用途ニシテ箆筒、長持、ソノ他和風家具例ヘバ本箱、机、火鉢、ソノ他ノ小箱類等ニシテ總テ丸太ヲ一旦板ニ製材シタル後使用セラル。
- (3) 建築及建具用材……天井板、床板、欄間、板戸、障子腰板、襖及屏風ノ骨等。
- (4) 樂器用材……琴、三味線神樂太鼓ノ胴、筑前琵琶ノ腹板、月琴ノ胴及棹、八雲琴、二弦琴。
- (5) 桐胴丸火鉢用材……根株又ハ蟲害材ヲ利用スルモノ多シ。
- (6) 反物ノ卷心用材……普通直徑三寸以下ノ枝條材ヲ利用ス。
- (7) 柄類用材……前者ト同様枝條材ヲ使用スルコト多シ。
- (8) 羽子板用材
- (9) 經木紙用
- (10) 假面彫刻用材……能面、神樂面等。
- (11) 浮子用材……漁網用ノ浮子ニ使用ス。

(12) 飛行機用材

(13) 葬具用材……寢棺、棺ノ擔棒等。

(14) 金庫内部ノ箱用材……金庫内部ノ箱ソノ他火氣ニ對シ保護ヲナスベキ器具ハ總テ桐材ヲ使用ス。

(15) 畫工用桐炭用材……桐ノ枝炭ハ畫工ノ下繪用トシテ使用セラル。

次ニ最近ニ於ケル各地方ノ生産材ノ大サ及其ノ用途別割合ヲ見ルニ次ノ如シ。

府縣別ニ觀タル最近ニ於ケル生産材ノ大サ及用途別割合

道府縣	伐採桐樹ノ平均直徑(寸) (地上約六尺五寸)	下駄木取トナスモノ	板材トナスモノ	丸太ノ儘縣外ヘ送ラルルモノ	其他(胴丸火鉢、琴等)	備考
青森	七・五	六八%	一三%	一八%	一%	但琴材トシテ木取スルモノナシ
岩手	六・〇	五五%	二〇%	二〇%	一%	
宮城	七・〇	四〇%	三〇%	三〇%	一%	
秋田	七・〇	三五%	三四%	三〇%	一%	
山形	五・〇—七・〇	三七%	一五%	三八%	一〇%	
關東	八・〇	七三%	一五%	一一%	一%	
茨城	七・〇	六五%	一五%	一五%	五%	

熊	長	佐	福	高	愛	香	德	山	廣	岡	島	島	和	奈	兵	大	京	
本	崎	賀	岡	知	媛	川	島	口	島	山	根	取	山	良	庫	阪	都	
六・二	五・〇 一七・〇	五・〇	五・〇 一七・〇	六・〇	五・四	五・〇	五・五	四・〇	五・〇	四・三	六・〇	六・〇	六・〇	四・〇	六・〇	五・〇 一八・〇	六・三	
六五	三五	九七	九五	八五	九四	一〇〇	八八	八四	八〇	八七	八〇	四五	九〇	八〇	七五	八五	七四	
二五	一〇	三	五	一四	四	一	三	三	一〇	三	一	〇	五	一〇	八	一五	一〇	
五	四〇						八	一	五	八	一	四	〇	五		一五		一五
五	一五			一	二		一	二	五	二	一	〇	五		一〇	二		一
	其他主トシハテ漁具ニ 使用ス																	

〇 〇 〇 〇 9 9

滋	三	愛	靜	岐	長	山	福	石	富	新	神	東	千	埼	群	栃	
賀	重	知	岡	阜	野	梨	井	川	山	湯	川	京	葉	玉	馬	木	
七・〇 一〇・〇	六・〇 一六・五	六・〇 一七・〇	七・〇 一八・〇	六・〇	八・〇	六・五	七・〇 一八・〇	六・〇	六・〇	五・〇 一八・〇	六・〇 一七・〇	六・〇	六・四	五・〇			
七〇	七九	五〇	六〇	六七	八二	五〇	二〇	五〇	八五	六〇	八三	七三	八〇	八〇	一四	二〇%	
六	六	五	四	一八	一七	五	一〇	一〇	五	三	一	一六	一〇	二〇	七	五〇%	
二	一			一		六	三		八	四	一	一	五		一六	二五%	
二	一			四	一	五	〇	〇	二	一		五			五	五%	

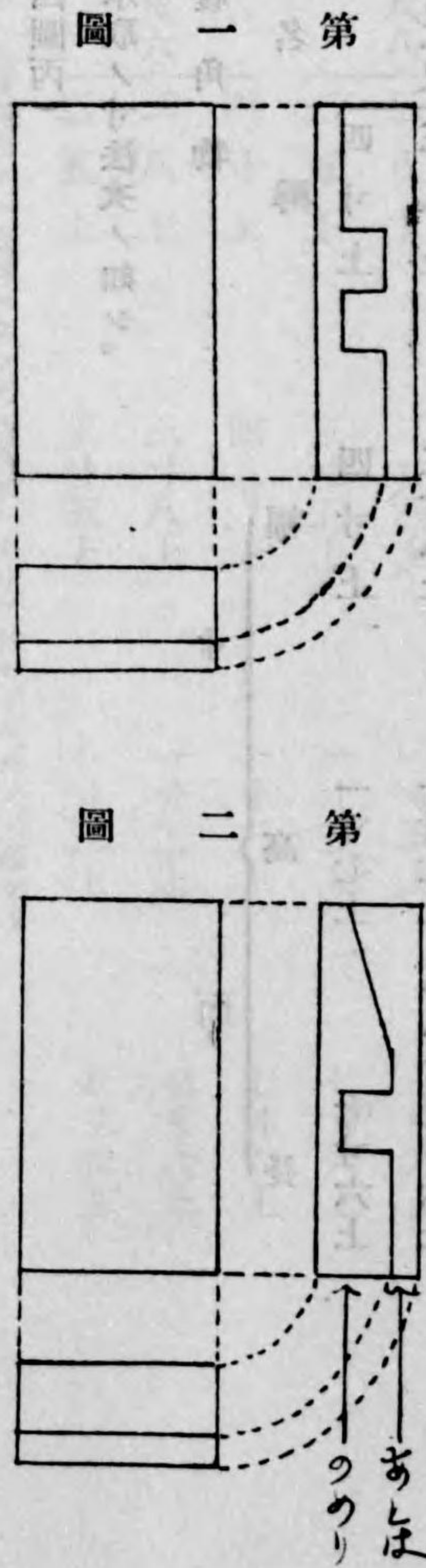
道府縣	伐採 平均 直徑 (寸)	下駄 木取 ト	板材 トナ ス	丸太 ノ儘 送ラ ル	其他 (朋丸 火鉢、 琴等)	備 考
大分	五・〇	九〇%	三%	七%	五%	
宮崎	六・五	八〇%	一%	九〇%	三%	
鹿兒島	六・〇	八七	一	九	三	
神戶						
北海	六・〇—七・〇	六七	八	一	四	其他ハ主トシテ漁業用 浮子

### 第九章 桐 下 駄

下駄ハ既ニ前項ニ於テ述ベタルガ如ク桐材最重要ノ用途ナルヲ以テコレガ木取ノ方法、寸面、製作費、相場等ニ付キ以下少シク述ブル所アラントス。

木取ノ方法トシテハ甲良取、片足取、いとこ取(組取)、棒取、巴取、三角取、屏風取、三ツ取、四ツ取等種々ノモノアリ就中甲良取、片足取、いとこ取ノ三者最モ普通ニ行ハル。巴取以下ハ新式木取法ト稱セラルルモノニシテ或ハ廢材ヲ極度ニ少ナカラシメ或ハ同一材料ヲ以テヨリ高級品ヲ得ントシテ考案セラレタルモノナルモソノ方法大イニ技術ト經驗トヲ必要トスルヲ以テ一般ニハ未ダ普及セラレズ。

(1) いとこ取(組取)。コレハ丸太ヲ玉切り挽割リテ煉瓦狀ノモノヲ作りソノ一個ヲ齒ヲ組合セタル



形ニ挽分ケテ駒下駄一足分ヲ得ル方法ナリ。多クハ第一圖ノ如ク挽分ケテ兩操一足分ヲ得ルモ場合ニヨリテハ第二圖ノ如ク挽分ケテのめり半足、後齒半足ヲ採ルコトアリ。

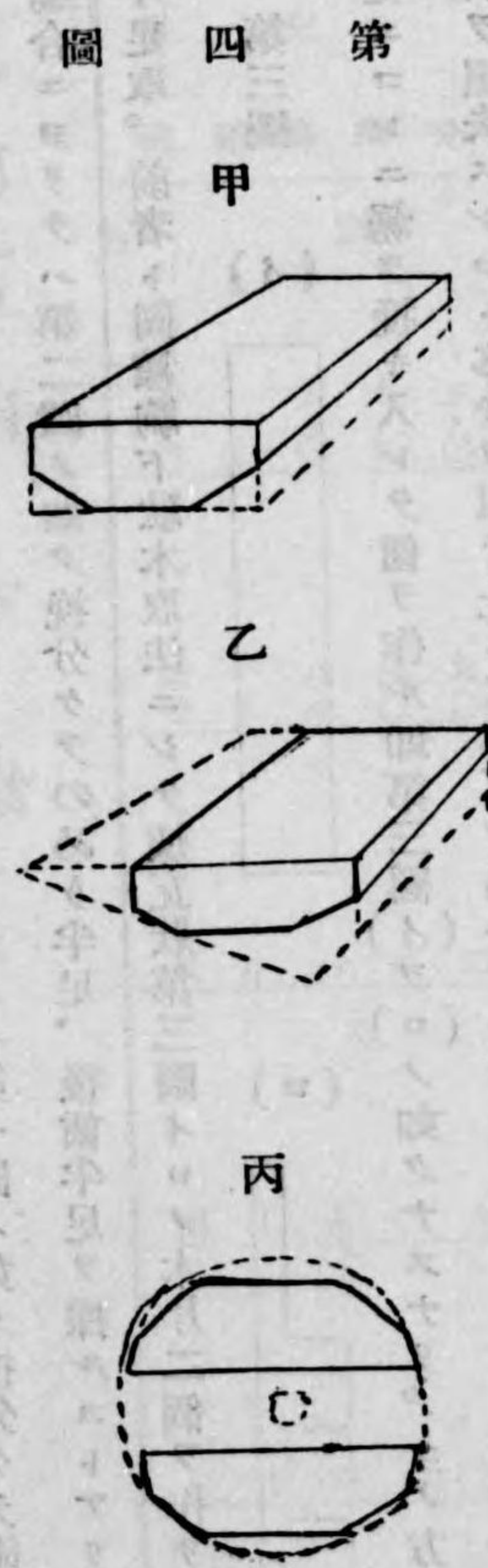
(2) 片足取。前者ト同様駒下駄木取法ニシテ煉瓦狀第三圖イロノ木片二個ヲ作りテ下駄一足分トシ



更ニコレニ鋸ヲ挽キ入レテ齒ヲ作ル即第三圖イヲロノ如クナスナリ。コノ方法ニヨルトキハ材料ヲ損失スルコト多キヲ以テ止ムヲ得ザル場合ノ外行ハレズ。

(3) 甲良取。高下駄ノ甲良トナスモノニシニ特ニコレノミヲ木取ルコトハ少クいとこ取或ハ片足取

ト組合セテ挽割リ比較的幅狭キ、厚サ薄キモノ (第四圖甲) 或ハ三角形トナリシ殘材 (第四圖



乙)ヲコレニ仕向ク、又直徑三寸五分以下ノ小徑材ヲニツ割トシ心ヲ去リテ作ルコトアリ (第四圖丙)

下駄木取ノ寸法次ノ如シ。

○面履一角物

名稱	幅		高		面長
	寸	上	寸	上	
挽分二尺	四寸	四寸上	一寸七上	一寸七上	七寸六上
	三寸八上	三寸八上	一寸七上	一寸七上	七寸六上
三寸五上	三寸五上	三寸五上	一寸七上	一寸七上	七寸六上

名稱	挽分尺八		挽分尺六		面長
	寸	上	寸	上	
四寸上	四寸上	四寸上	四寸上	四寸上	七寸六上
	三寸八上	三寸八上	三寸八上	三寸八上	七寸六上
三寸五上	三寸五上	三寸五上	三寸五上	三寸五上	七寸六上
	四寸上	四寸上	四寸上	四寸上	七寸六上
三寸八上	三寸八上	三寸八上	三寸八上	三寸八上	七寸六上
	三寸五上	三寸五上	三寸五上	三寸五上	七寸六上

備考 面履角物トハ表付ニアラザル四隅ニ丸味ヲ付セザルモノノ義ナリ

○臺物

前者ト同様二尺、尺八、尺六等アルモ取引上ニハ込ニテ分タザルヲ普通トス。幅ハ總テ三寸二分以下ニテ狭シ。

備考 總テ表付ノ下駄トナルモノナリ

○甲良

名稱	幅		厚		面長
	寸	上	寸	上	
三五八	三寸五上	三寸五上	一寸一上	一寸一上	七寸六上

三	三寸二上	一寸上	七寸六上
三	三寸上	八分上	七寸六上
二	二寸八上	八分七分	七寸六上
臺	甲 三寸二	八分上	七寸六上

備考 臺甲ハ表付高下駄ノ甲良ノ義ナリ

桐下駄木取ノ製作ハ先ヅ丸太ヲ長サ八寸宛ニ玉切り、適宜墨掛ケヲナシテいとこ、片足、甲良等ニ挽割リ、鉤掛ケヲナシ、いとこニアリテハ更ニコレヲいとこニ挽分ツコレヲはがしト稱ス、玉切りヨリはがし迄ノ一足當リ製作費(工賃)ヲ示セバ次ノ如シ。

桐下駄工賃調

	大正三年頃	大正十年頃	昭和四年	昭和五年二月	備考
玉切リ	〇・一五	〇・五〇	〇・四〇	〇・四〇	
墨掛ケ	〇・一五	〇・五〇	〇・四〇	〇・四〇	
木挽	〇・三三	一・二〇	〇・八〇	〇・七五	
削リ	〇・三三	一・二〇	〇・八〇	一・八〇	幅四―四・五寸ノモノ
はがし	〇・六五	二・五〇	一・五〇	一・六〇	幅三・三寸ノモノ

前記各作業ノ一人一日出來高ハ大體次ノ如シ。

玉切リ	四〇〇足
墨掛ケ	四〇〇足
木挽	二〇〇足
削リ	二〇〇足
はがし	一〇〇足
	一三〇足

桐丸太一玉ヨリ下駄木取ノ出來數ハ玉上丸太、玉下丸太ニヨリ大差アリ。玉下ハ玉上ヨリ數多キヲ普通トス。コレ同ジク一玉ト稱スルモ玉下丸太ハ實材積大ナル上ニ甲良又ハ並物ヲ採ルコト多キニヨリ下駄ノ出來數從テ多ク、玉上丸太ハ實材積小ナルノミナラズ柁物ヲ作ルコト多キガタメ下駄ノ出來數ハ少クナルナリ。即一玉當リ出來數ヲ示セバ左ノ如シ。

玉下丸太	三五―四〇足	(甲良及下駄込)
玉中丸太	三〇足	( )
玉上丸太(七八寸ノモノ)	二五足	( )
玉上丸太(尺ノモノ)	一七―一八足	( )

内地桐下駄値段ノ變遷狀態次表ノ如シ。

會津桐下駄値段變遷表 (東京店着) 但シ十足當リ

年	月	天柁十上	味面四寸	横柁五上	柁甲十上	三五八並	臺	備考
大正三年	三月	三・〇〇	二・〇〇	一・四〇	二・二〇	一・〇〇	一・四〇	一、天柁十上トハ男用下駄幅四寸以上ノモノニテ表面ニ柁目十本以上ノモノヲ云フ 一、味面(身面)トハ表面ニ木目ヲ出セルニシテ味面四寸ハ其ノ幅四寸ノモノノ義ナリ 一、横柁五上トハ木取ノ關係上柁目ガ側面ニアルモノニシテ其ノ五本以上ノ意ナリ 横柁目ノモノハ表付臺物トシテ用フ 一、柁甲十上トハ甲良ニテ表面ニ柁目十本以上アルモノヲ云フ 一、三五八トハ甲良ニテ表面ノ幅三寸五分乃至三寸八分ノモノヲ云フ 一、並臺トハ表付臺物ノ並物ノ意ナリ
同	一月	三・二〇	一・八〇	一・六五	一・七〇	・八八	一・二五	
大正四年	三月	三・四〇	一・八〇	一・七〇	一・六五	・九〇	一・三〇	
同	一月	三・五〇	二・〇〇	一・六〇	一・六五	・八八	一・二五	
大正五年	三月	三・七〇	二・〇〇	一・七〇	一・七〇	・九〇	一・二五	
同	一月	四・五〇	二・四〇	二・〇〇	二・〇〇	・〇〇	一・三五	
大正六年	三月	四・九〇	二・六〇	二・三〇	二・三〇	一・〇五	一・五〇	
同	一月	六・〇〇	三・〇〇	二・八〇	三・〇〇	一・三〇	一・八五	
大正七年	三月	六・五〇	三・〇〇	三・五〇	四・二〇	一・九〇	二・二〇	
同	一月	八・〇〇	四・〇〇	三・八〇	四・四〇	一・九〇	二・〇〇	
大正八年	三月	八・七〇	四・五〇	三・八〇	四・六〇	一・九〇	二・三〇	
同	一月	一二・五〇	六・〇〇	四・八〇	七・二〇	二・六〇	二・八〇	
大正九年	三月	一五・〇〇	七・〇〇	五・三〇	九・〇〇	三・〇〇	三・三〇	
同	一月	一四・〇〇	六・三〇	四・八〇	七・五〇	二・三〇	二・八〇	

大正一〇年	三月	一四・〇〇	五・八〇	四・七〇	六・五〇	二・〇〇	二・七〇
同	一月	一二・〇〇	四・七〇	四・二〇	六・七〇	一・九五	二・二〇
大正一一年	三月	一〇・〇〇	四・七〇	四・二〇	六・七〇	一・九五	二・二〇
同	一月	一〇・〇〇	三・六〇	三・三〇	四・八〇	一・七〇	一・九〇
大正一二年	三月	一〇・〇〇	三・二〇	三・〇〇	四・〇〇	一・二五	一・六〇
同	一月	九・五〇	四・〇〇	三・一〇	五・五〇	一・六〇	一・八〇
大正一三年	三月	一〇・〇〇	三・七〇	二・七〇	五・五〇	一・五五	一・九〇
同	一月	一〇・〇〇	三・四〇	二・七〇	四・五〇	一・〇五	一・六〇
大正一四年	三月	八・五〇	二・四五	二・三〇	四・五〇	一・〇五	一・三〇
同	一月	八・〇〇	二・三〇	一・七五	三・五〇	一・一〇	一・三〇
大正一五年	三月	八・三〇	二・四〇	一・七五	三・五〇	一・一〇	一・三〇
同	一月	七・五〇	二・五〇	一・七〇	三・三〇	一・二〇	一・三〇
昭和二年	三月	六・〇〇	一・九〇	一・三五	二・二〇	・七五	・九五
同	一月	五・八〇	二・〇〇	一・三五	二・四〇	・九〇	一・一〇
昭和三年	三月	五・五〇	一・九五	一・四〇	二・〇〇	・七五	一・〇〇
同	一月	五・九〇	二・〇〇	一・四〇	二・三〇	・九五	一・一〇
昭和四年	三月	五・〇〇	一・六〇	一・三〇	二・三〇	・七五	一・〇五
同	一月	三・八〇	一・七〇	一・四〇	一・四〇	・七五	一・〇〇
昭和五年	三月	三・五〇	一・五〇	一・三〇	一・五〇	・六五	・九〇

次ニ大阪市場ニオケル支那桐下駄ノ相場（五年三月）ヲ見ルニ次ノ如シ（但シ一足當リ）。

天 柁 十 上	〇・三五
味 面 四 寸	〇・一九
横 柁 七 上	〇・二〇
柁 甲 十 上	〇・二〇
三 五 八	〇・〇七五
並 臺	〇・一〇

即内地桐下駄ト殆ンド同値ナルヲ知ルナリ。而シテ大阪ニオケル桐下駄需要ノ實狀ヲ見ルニ前記標準モノニアリテハ内地モノ、支那モノ互ニ入り込ミテ競争ヲナセルモ標準ヨリ上等ノモノハ殆ンド内地品ノ姿ヲ見ズ支那品ノ獨リ舞臺ノ觀ヲ呈シ、下級ノモノハコレニ反シ内地品ノ獨占スル所トナレリ。コレ上等モノニアリテハ支那品ハ等級ノ高低ニヨル値ノ開キ比較的少ク從テ上等モノナル程格安トナリ内地品ハ到底競争スル能ハズ、下級品ニアリテハ支那品ハ運賃、關稅等ノ諸掛リ上等品ト差異ナク從テソノ價格ヲ品等ノ割合ニ從テ安カラシムル能ハザルニ反シ内地品ハ極メテ廉價ニ供給サルヲ以テナリ。新潟、福島ソノ他各桐下駄産地ニ就キ調査スルモ關西向ハ下物ニ限ラレ天柁十上以上ノモノハ殆ンド出デズト稱シ居レリ。

### 附 錄 各地方桐樹栽培收支實例

（昭和四年末現在、一反步當）

#### 一、北海道後志國積丹郡地方

支出 百九圓參拾五錢參厘

内 譯

種 目	數 量	單 價	金 額	伐期十五年ニ於ケル年利五分ノ元利後價	摘 要
苗 木 代	五〇本	一・〇〇	五・〇〇〇	一〇・三九四	
植 栽 費	五人	一・五〇〇	七・五〇〇	一五・五九三	除草費ハ一般ニ間作ニヨリ回收サルル場合多シ
除 草 費	年二人トシテ 年一五五分	一・〇〇〇	三・〇〇〇	四五・三一六	
肥 料 代	年一回トシテ 植付後五年分	三・〇〇〇	一五・〇〇〇	一七・二六〇	初年目ニ根曲竹ニテ根ノ廻リニ 卷キテ之ヲ防グ、材料ハ十五年 利用シ得ベキモノトス
野 鼠 驅 除 費	初年目ニ行フ 五十本ニ行フ	二・〇〇	一・〇〇〇	二〇・七九〇	
計			八四・〇〇〇	一〇九・三五三	

收入 參百六拾圓



種目	數量	單價	金額	摘	要
桐材	一二〇玉	三・〇〇〇	三六〇・〇〇〇	伐採本數三十本、一本平均四玉	

收支計算 純收入貳百五拾圓六拾四錢七厘

二、青森縣上北郡七戸町地方

(一) 桐樹栽培收支

支出 貳百六圓參拾九錢四厘

內譯

年次	種目	數量	單價	金額	於元利後價合計	備考
初年	苗木代	五〇本	〇・三〇	一・五〇〇		
	植付費	二人	一・〇〇〇	二・〇〇〇		基肥施肥ヲ含ム
	基肥代	二〇〇貫	〇・二〇	四・〇〇〇		厩肥苗木一本ニ付四貫目宛ノ
	追肥代	五荷	・六〇〇	三・〇〇〇		人糞尿水肥苗木一本ニ付三升宛一回分、一荷凡三斗
	施肥人夫賃	〇・五人	一・〇〇〇	・五〇〇		
	措地料			三・〇〇〇		
	合計			一四・〇〇〇		

年次	種目	數量	單價	金額	於元利後價合計	備考
二年	補植苗木代	一〇本	〇・三〇	・三〇〇		
	植付費	〇・四人	一・〇〇〇	・四〇〇		
	臺切費	〇・四人	一・〇〇〇	・四〇〇		
	萌芽手入費	〇・二五人	一・〇〇〇	・二五〇		
	肥料代	一五〇貫	〇・二〇	三・〇〇〇		厩肥
	施肥人夫賃	一人	一・〇〇〇	・一〇〇〇		
	病蟲害手入費	二人	一・〇〇〇	・二〇〇〇		
	借地料			三・〇〇〇		
三年	芽播手入費	一人	一・〇〇〇	・一〇〇〇		
	肥料代	五荷	・六〇〇	三・〇〇〇		人糞尿
	施肥人夫賃	〇・五人	一・〇〇〇	・一〇〇〇		
	病蟲害手入費	三人	一・〇〇〇	・三〇〇〇		
	借地料			一・〇〇〇		
四年	芽播手入費	〇・五人	一・〇〇〇	・五〇〇		
合計				二九・一〇四		

計			計			計			計			計		
十四年	十三年	計	十二年	十一年	計	十年	九年	計	八年	七年	計	六年	五年	計
肥料代	耕種費	借地料	肥料代	耕種費	借地料	肥料代	耕種費	借地料	肥料代	耕種費	借地料	肥料代	耕種費	借地料
五〇〇	二〇〇	一	五〇〇	二〇〇	一	五〇〇	二〇〇	一	五〇〇	二〇〇	一	五〇〇	二〇〇	一
一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇
一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇
一	三・四七二	一九・四四八	一	三・八二八	二一・四四一	一	四・二二一	二一・四四一	一	二・六四〇	四・二二一	一	三・六四〇	二・三・六四〇
厩肥			厩肥			厩肥			厩肥			厩肥		

五

計			計			計			計			計			年次
八年	七年	計	六年	五年	計	四年	三年	計	二年	一年	計	零年	合計	種目	
肥料代	耕種費	借地料	肥料代	耕種費	借地料	肥料代	耕種費	借地料	肥料代	耕種費	借地料	肥料代	耕種費	借地料	
五〇〇	二〇〇	一	五〇〇	二〇〇	一	五〇〇	二〇〇	一	五〇〇	二〇〇	一	五〇〇	二〇〇	一	
一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	
一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇	
	九・三〇七			九・七七三			一〇・二六一			九・八七七					
厩肥、 ヲ施ス															

厩肥、八年以後ハ隔年ニ肥料ヲ施ス

四

伐期(十五年)ニ於ケル元利後價合計

年次	種目	數量	單價	金額	備考
計	施肥人夫賃	一人	一・〇〇〇	一・〇〇〇	伐期(十九年)ニ於ケル年利五分ノ元利後價合計
	借地料			三・〇〇〇	
十五年	借地料			一六・〇〇〇	一七・六四〇
	計			三・一五〇	
合計				二〇六・三九四	

收入 參百六拾七圓五拾錢

種目	數量	單價	金額	摘	要
桐材	一〇五玉	三・五〇〇	三六七・五〇〇	枯損三割成木本數三五本、一本平均三玉	

收支計算 純收入 百六拾壹圓拾錢六厘

(二) 間作收支

間作ハ地力維持ノ爲メ桐樹植栽後七ケ年馬鈴薯大豆ノ輪作ヲ行フ。  
イ、馬 鈴 薯  
支出 貳拾六圓九拾五錢

內 譯

種目	數量	單價	金額	摘	要
種子代	三〇貫	一・三五	四・〇五〇		
耕 耘 費	一・五人	一・〇〇〇	一・五〇〇		
播種人夫賃	一人	一・〇〇〇	一・〇〇〇		
基 肥 代	五〇〇貫	〇・二〇	一〇・〇〇〇	厩肥	
施肥人夫賃	二人	一・〇〇〇	二・〇〇〇		
追 肥 代	一・五荷	〇・六〇〇	九〇〇	人糞尿	
施肥人夫賃	〇・五人	一・〇〇〇	五〇〇		
中耕人夫賃	二人	一・〇〇〇	二・〇〇〇		
除草人夫賃	二人	一・〇〇〇	二・〇〇〇		
收穫人夫賃	三人	一・〇〇〇	三・〇〇〇		
計			二六・九五〇		

收入 貳拾圓

種目	數量	單價	金額	摘	要
馬鈴薯	二〇〇貫	一・〇〇	二〇・〇〇〇		

收支計算 差引損 六圓九拾五錢

右ハ勞働賃金ヲ普通人夫賃トシテ計算セルモノナルモ實際ニ於テハ自家勞働ノ餘暇ヲ利用シ耕作スルモノナレバ大體ニ於テ收支相償フモノノ如シ。

支出 拾九圓七拾錢  
内譯

種目	數量	單價	金額	摘	要
種子代	四升	・二〇〇	・八〇〇		
耕耨費	一・五人	一〇〇〇	一・五〇〇		
播種人夫賃	一人	一〇〇〇	一〇〇〇		
基肥代	三〇〇貫	・二〇	六〇〇〇	厩肥	
基肥代	一・五荷	・六〇〇	・九〇〇	人糞尿	
施肥人夫賃	一・五人	一〇〇〇	一・五〇〇		
中耕除草人夫賃	三人	一〇〇〇	三〇〇〇		
收穫人夫賃	二人	一〇〇〇	二〇〇〇		
調製人夫賃	三人	一〇〇〇	三〇〇〇		
計			一九・七〇〇		

收支 拾四圓

種目	數量	單價	金額	摘	要
大豆	一〇斗	一・四〇〇	一四・〇〇〇		
計			一四・〇〇〇		

收支計算 差引損 五圓七拾錢

右ハ馬鈴薯間作ニ於ケルト同様勞働賃金ヲ普通人夫賃トシテ計算セルモノナルモ實際ニ於テハ自家勞働ノ餘暇ヲ利用シ耕作スルモノナレバ大體ニ於テ收支相償フモノノ如シ。

三、青森縣下北郡大湊町地方

(一) 桐樹栽培收支

支出 百貳拾七圓參拾九錢參厘

内譯

初年	年次	種目	數量	單價	金額	伐期(十五年)ニ於ケル年利五分ノ元利後價合計	備考
苗木代			五〇本	・一七〇	八・五〇〇	—	

年次	二年計		三年計		四年計	
	種目	數量	單價	金額	種目	數量
植付費	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇	借地料	〇・五人
	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇		〇・五人
基地代	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇	芽搔手入費	〇・五人
	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇		〇・五人
補植苗木代	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇	借地料	〇・五人
	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇		〇・五人
臺切費	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇	借地料	〇・五人
	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇		〇・五人
萌芽手入費	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇	借地料	〇・五人
	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇		〇・五人
借地料	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇	借地料	〇・五人
	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇		〇・五人
計	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇	計	〇・五人
	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇	計	〇・五人
備考		基肥施肥ヲ含ム 鱧メ柏一本ニ付二十匁ノ割		於元利後價合計		六・五五五

年次	五年計		六年計		七年計		八年計		九年計		
	種目	數量	單價	金額	種目	數量	單價	金額	種目	數量	
保護管理費	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇	保護管理費	〇・五人	一・三〇〇	〇・六五〇	病蟲害驅除費	〇・五人	
	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇		〇・五人	一・三〇〇	〇・六五〇		〇・五人	
借地料	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇	借地料	〇・五人	一・三〇〇	〇・六五〇	病蟲害驅除費	〇・五人	
	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇		〇・五人	一・三〇〇	〇・六五〇		〇・五人	
計	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇	計	〇・五人	一・三〇〇	〇・六五〇	計	〇・五人	
	一貫目	一・五人	一・三〇〇	一・九五〇	計	〇・五人	一・三〇〇	〇・六五〇	計	〇・五人	
備考				於元利後價合計		六・二四二		六・三三三		六・六七〇	

年次	種目	數量	單價	金額	備考
十年計	借地料			三〇〇〇	伐期(十五年)於元利後價合計
	病蟲害驅除費	〇・五人	一・三〇〇	五・六〇〇	
十一年計	借地料			三〇〇〇	七・五〇四
	病蟲害驅除費	〇・五人	一・三〇〇	五・六〇〇	
十二年計	借地料			三〇〇〇	七・一四七
	病蟲害驅除費	〇・五人	一・三〇〇	五・六〇〇	
十三年計	借地料			三〇〇〇	六・八〇六
	病蟲害驅除費	〇・五人	一・三〇〇	五・六〇〇	

收入 四百圓 內譯

合計	十五年計	十四年計	合計
枯枝及側枝切取	保護管理費	借地料	病蟲害驅除費
借地料	借地料	借地料	借地料
一・三五〇	二・六〇〇	一・三五〇	一・三五〇
一・九五〇	三・〇〇〇	一・三五〇	一・三五〇
三・〇〇〇	二・六〇〇	一・三五〇	一・三五〇
五・六〇〇	三・〇〇〇	一・三五〇	一・三五〇
一・三五〇	二・六〇〇	一・三五〇	一・三五〇
六・四八二	五・六〇〇	一・三五〇	一・三五〇
六・八〇六	五・六〇〇	一・三五〇	一・三五〇
一二七・三九三	五・八八〇	六・一七四	六・一七四

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	二〇〇玉	二・〇〇〇	四〇〇・〇〇〇	枯損一割成木本數四〇本、一本平均五玉ノ割

收支計算 純收入 貳百七拾貳圓六拾錢七厘

(二) 間作收支

間作ハ桐樹植栽後七ヶ年馬鈴薯大豆ノ輪作ヲ行フ。

イ、馬鈴薯

支出 參拾五圓九拾五錢

内譯

種目	數量	單價	金額	摘要
種子代	三〇貫	一・三五	四・〇五〇	
耕耘費	一人	一・三〇〇	一・三〇〇	
播種人夫賃	一人	一・三〇〇	一・三〇〇	
基肥代	二〇〇貫	〇・二〇	四・〇〇〇	厩肥
基肥代	三貫	二・〇〇	六・〇〇	過磷酸石灰
施肥人夫賃	一人	一・三〇〇	一・三〇〇	
追肥代	一三荷	六・〇〇	七・八〇〇	
施肥人夫賃	二人	一・三〇〇	二・六〇〇	
中耕人夫賃	二人	一・三〇〇	二・六〇〇	
計			二・六〇〇	

收入 參拾貳圓

除草人夫賃	二人	一・三〇〇	二・六〇〇
病蟲害驅除費	一人	一・三〇〇	一・三〇〇
收穫人夫賃	五人	一・三〇〇	六・五〇〇
計			三五・九五〇

種目	數量	單價	金額	摘要
馬鈴薯	三二〇貫	一・〇〇	三二・〇〇〇	

收支計算 差引損 參圓九拾五錢

右ハ勞働賃金ヲ普通人夫賃トシテ計算セルモノナルモ實際ニ於テハ自家勞働ノ餘暇ヲ利用シ耕作スルモノナレバ大體ニ於テ收支相償フモノノ如シ。

ロ、大豆

支出 拾四圓八拾錢

内譯

種目	數量	單價	金額	摘要
種子代	四升	・二〇〇	・八〇〇	
耕耘費	一人	一・三〇〇	一・三〇〇	
播種人夫賃	一人	一・三〇〇	一・三〇〇	
基肥代	一〇〇廿	・〇二〇	二・〇〇〇	厩肥
基肥代	一五貫	・二〇〇	・三〇〇	過燐酸石灰
施肥人夫賃	〇・五人	一・三〇〇	・六五〇	
中耕除草人夫賃	三人	一・三〇〇	三・九〇〇	
收穫人夫賃	一人	一・三〇〇	一・三〇〇	
調製人夫賃	二・五人	一・三〇〇	三・二五〇	
計			一四・八〇〇	

收入 拾圓五拾錢

收支計算 差引損 四圓參拾錢

種目	數量	單價	金額	摘要
大豆	七斗	一・五〇〇	一〇・五〇〇	

右ハ馬鈴薯間作ニ於ケルト同様勞働賃金ヲ普通人夫賃トシテ計算セルモノナルモ實際ニ於テハ自家勞働ノ餘暇ヲ利用シ耕作スルモノナレバ大體ニ於テ收支相償フモノノ如シ。

支出 六拾圓八拾貳錢七厘

内譯

年次	種目	數量	單價	金額	備考
初年	苗木代	四五本	・一〇〇	四・五〇〇	一本當厩肥五貫目
	基肥代	二二五貫	・〇二〇	四・五〇〇	
	施肥人夫賃	四人	一・二〇〇	四・四〇〇	
	植付費	二人	一・二〇〇	二・二〇〇	
	手入費	一・五人	一・二〇〇	一・六五〇	
計				一七・二五〇	三五・八六一
二年	補植苗木代	五本	・二〇〇	・五〇〇	枯損一割
	補植及手入費	二人	一・二〇〇	二・二〇〇	
計				二・七〇〇	五・三四六



年次	種目	數量	單價	金額	摘	要
三年	手入費	一・五人	一・二〇〇	一・六五〇	伐期(十五年) 於ケル年利五分 ノ元利後價合計	芽搔其他
四年	手入費	一・五人	一・二〇〇	一・六五〇		
五年	手入費	一・五人	一・二〇〇	一・六五〇		
合計	賃租		四九七	七・四五七		地租、國稅〇・一六六、縣稅〇・二二九、村稅〇・四九七

備考

- 一、當地方ハ切替畑ノ植栽ナルヲ以テ整地費ヲ要セズ
- 一、當地方ハ基肥ノミヲ用ヒ追肥ヲ施サズ
- 一、當地方ハ植付後五ヶ年位芽搔其他ノ手入ヲ行フノミ

収入 百六拾圓

種目	數量	單價	金額	摘	要
桐材	八〇玉	二・〇〇〇	一六〇・〇〇〇	伐期迄約一割枯損 伐採本數四〇本 一本平均二玉	

收支計算 純收入 九拾九圓拾七錢參厘

五、宮城縣黒川郡大谷村地方

支出 百參圓四拾七錢六厘

内譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期(十五年) 於ケル年利五分 ノ元利合計	摘	要
初年	苗木代	七〇本	一・一五〇	一〇・五〇〇		厩肥、植付ノ際施ス	
	植付人夫賃	三人	一・二〇〇	三・六〇〇			
計	肥料代	二八〇貫	〇・三〇〇	八・四〇〇		人糞尿	
	施肥人夫賃	四人	一・二〇〇	四・八〇〇			
二年	肥料代	二石	一・二〇〇	二・四〇〇	五九・二四八	人糞尿	
	施肥人夫賃	一人	一・二〇〇	一・二〇〇			
計	手入人夫賃	一人	一・二〇〇	一・二〇〇	一一・八七九	人糞尿	
	肥料代	二石	一・二〇〇	二・四〇〇			
三年	肥料代	二石	一・二〇〇	二・四〇〇		人糞尿	
計	施肥人夫賃	二人	一・二〇〇	二・四〇〇			

年次	種目	數量	單價	金額	摘	摘要
四年計	肥料代	二石	一・二〇〇	二・四〇〇		
四年計	施肥人夫賃	二人	一・二〇〇	二・四〇〇		
四年計	手入人夫賃	一人	一・二〇〇	一・二〇〇		
五年計	肥料代	二石	一・二〇〇	二・四〇〇		
五年計	施肥人夫賃	二人	一・二〇〇	二・四〇〇		
五年計	手入人夫賃	一人	一・二〇〇	一・二〇〇		
合計				六・〇〇〇	一〇・七七五	
合計				六・〇〇〇	一〇・二六一	
合計				一・二〇〇	一〇・三・四七六	

收入 貳百六拾貳圓五拾錢

種目	數量	單價	金額	摘	摘要
桐材	一七五玉	一・五〇〇	二六二・五〇〇		

收支計算 純收入 百五拾九圓貳錢四厘

六、山形縣北村山郡尾花澤町地方

(一) 桐樹栽培收支

支出 七百四拾圓參拾錢四厘

內譯

年次	種目	數量	單價	金額	於期(十五年)ニ 於ケル年利六分 ノ元利後價合計	摘要
初年計	苗木代	五〇本	一・〇七〇	三・五〇〇		第七年目及第十三年目、 九年目ニ伐採ヲ行ヒイ モ萌芽更新ニヨル
	地拵費	三人	一・〇〇〇	三・〇〇〇		米 糠
	肥料代	五斗	三・〇〇〇	一・五〇〇		堆 肥
	肥料代	一五〇貫	〇・二五〇	三・七五〇		施肥人夫賃ヲ含ム
	植付費	一・五人	一・〇〇〇	一・五〇〇		間作ノ手入ト同時ニ行フ
	手入費			一・五〇〇		普通大豆一斗二升ヲ以テス
	保護管理費			二・〇〇〇		
	借地料			一六・七五〇	七一・八八九	

年次	種目	數量	單價	金額	於期二十五年ニ 元利後價合計	摘要
二年	補植苗木代	五本	〇・七〇	三・五〇		補植手間共
	臺	〇・五人	一・〇〇	五・〇〇		大豆粕
	肥料代	三斗	一・〇〇	三・〇〇		除草、施肥共
	手入費	二人	一・〇〇	二・〇〇		巡視、芽振、コルタール塗付
三年計	肥料代	六斗	一・〇〇	六・〇〇		大豆粕
	手入費	六人	一・〇〇	六・〇〇		中耕、施肥共
	保護管理費			二・〇〇		第二年ニ同ジ
	借地料			二・〇〇		
四年計	肥料代	六斗	一・〇〇	六・〇〇		大豆粕
	手入費	六人	一・〇〇	六・〇〇		第二年ニ同ジ
	保護管理費			二・〇〇		
	借地料			二・〇〇		
計	肥料代	三斗	一・〇〇	三・〇〇		除草、施肥共
	手入費	二人	一・〇〇	二・〇〇		
	保護管理費			二・〇〇		
	借地料			二・〇〇		
計				八・一〇〇	二二・三一九	
九年				八・一〇〇	二一・八一	支出經費前年ニ同ジ
十年				一四・二〇〇	四八・二七四	支出經費前年ニ同ジ
十一年				一四・二〇〇	四五・五四〇	同
十二年				一四・二〇〇	四二・九六三	同 冬季第一回伐採ヲ行フ
十三年				一四・二〇〇		
十三年				一四・二〇〇	三四・〇三一	同
十四年				一四・二〇〇	三二・一〇四	同
十四年				一四・二〇〇	三〇・二八七	同 冬季第二回伐採ヲ行フ
十五年				八・一〇〇	一六・二九八	支出經費八年ニ同ジ
十五年				八・一〇〇	一五・三七六	同
十六年				一四・二〇〇	二五・四二九	支出經費四年ニ同ジ

年次	種目	數量	單價	金額	於期二十五年ニ 元利後價合計	摘要
二年	補植苗木代	五本	〇・七〇	三・五〇		補植手間共
	臺	〇・五人	一・〇〇	五・〇〇		大豆粕
	肥料代	三斗	一・〇〇	三・〇〇		除草、施肥共
	手入費	二人	一・〇〇	二・〇〇		巡視、芽振、コルタール塗付
三年計	肥料代	六斗	一・〇〇	六・〇〇		大豆粕
	手入費	六人	一・〇〇	六・〇〇		中耕、施肥共
	保護管理費			二・〇〇		第二年ニ同ジ
	借地料			二・〇〇		
四年計	肥料代	六斗	一・〇〇	六・〇〇		大豆粕
	手入費	六人	一・〇〇	六・〇〇		第二年ニ同ジ
	保護管理費			二・〇〇		
	借地料			二・〇〇		
計	肥料代	三斗	一・〇〇	三・〇〇		除草、施肥共
	手入費	二人	一・〇〇	二・〇〇		
	保護管理費			二・〇〇		
	借地料			二・〇〇		
計				八・一〇〇	二二・三一九	
九年				八・一〇〇	二一・八一	支出經費前年ニ同ジ
十年				一四・二〇〇	四八・二七四	支出經費前年ニ同ジ
十一年				一四・二〇〇	四五・五四〇	同
十二年				一四・二〇〇	四二・九六三	同 冬季第一回伐採ヲ行フ
十三年				一四・二〇〇		
十三年				一四・二〇〇	三四・〇三一	同
十四年				一四・二〇〇	三二・一〇四	同
十四年				一四・二〇〇	三〇・二八七	同 冬季第二回伐採ヲ行フ
十五年				八・一〇〇	一六・二九八	支出經費八年ニ同ジ
十五年				八・一〇〇	一五・三七六	同
十六年				一四・二〇〇	二五・四二九	支出經費四年ニ同ジ

年次	種目	數量	單價	金額	後價	摘要
十七年				一四・二〇〇	二二・四二二	同
十八年				一四・二〇〇	二二・六三一	同
十九年				一四・二〇〇	二一・三五一	同 冬季第三回伐採ヲ行フ
二十年				八・一〇〇	一一・四八九	支出經費八年ニ同ジ
二十一年				八・一〇〇	一〇・八三九	同
二十二年				一四・二〇〇	一八・九二七	支出經費八年ニ同ジ
二十三年				一四・二〇〇	一六・九一一	同
二十四年				一四・二〇〇	一五・八四一	同
二十五年				一四・二〇〇	一五・〇五二	同 第四回伐採ヲ行フ
合計				七四〇・三〇四		

收入 六百參拾參圓七拾參錢七厘

内譯

年次	種目	數量	單價	金額	後價	摘要
第七年	長六尺五寸、末口五寸ノモノ	四五本	一・二五〇	五六・二五〇		
計	同 末口三寸ノモノ	四五本	・三〇〇	一三・五〇〇	一九九・〇八七	
第十三年	長六尺五寸、末口六寸ノモノ	四五本	一・六〇〇	七二・〇〇〇		
計	同 末口四寸ノモノ	四五本	・五八〇	二六・〇〇〇		
第十九年	第十三年ニ同ジ			九八・一〇〇	一九七・三九六	
第二十五年	同			九八・一〇〇	一三九・一五四	
合計				六三三・七三七		

收支計算 差引損 百六圓五拾六錢七厘

(二) 間作收支

間作ハ大豆ニシテ桐樹植栽ノ當年ヨリ第四回伐採ニ至ル二十五年間ニ於テ第一年、第二年、第八、第九、第十四、第十五、第二十、第二十二年ノ八回ニ亘リ行フ。

支出 拾參圓貳拾壹錢

内譯

種目	數量	單價	金額	摘要
種子代	二升	一五〇	三〇〇	木灰 整地、播種、施肥共
肥料代	七貫	一三〇	九一〇	
播種費	三人	一〇〇〇	三〇〇〇	
中耕、除草其他費	六人	一〇〇〇	六〇〇〇	
收穫及調製費	三人	一〇〇〇	三〇〇〇	
計			一三・二一〇	

收入 拾貳圓  
內譯

種目	數量	單價	金額	摘要
大豆	二俵	五〇〇〇	一〇・〇〇〇	一俵ハ三斗八升入 燃料
計			一二・〇〇〇	

收支計算 差引損 壹圓貳拾壹錢

七、福島縣河沼郡野澤町地方

支出 參百四拾貳圓四拾貳錢參厘

內譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期二十年ニ於ケル年利後價合計	摘要			
初年	開墾費	二〇人	一・二〇〇	二四・〇〇〇	七六・九七〇	伐期二十年			
	苗木代	一五本	一・五〇〇	二二・五〇〇					
	植付人夫	〇・五人	一・二〇〇	六〇〇					
	肥料代	四斗五升	〇・二〇〇	九〇〇					
	除草中耕	四人	一・二〇〇	四・八〇〇					
	雪圍	一人	一・二〇〇	一・二〇〇					
	計			九・七五〇					
	三年	肥料代	五斗三升	〇・二〇〇			一・〇六〇	二九・四九九	糠 年二回
	計			六・〇〇〇					
	除草中耕	四人	一・二〇〇	四・八〇〇					
臺切	〇・二人	一・二〇〇	二・四〇〇						
四年	肥料代	六斗	〇・二〇〇	一・二〇〇	一九・一二三	糠 秋季行フ 補植ハ保護撫育ニ充分注意 スルヲ以テ行ハズ			
計			六・七〇〇						
計				一・二〇〇					

年次	種目	數量	單價	金額	伐期二十年ニ於ケル利率六分ノ元利後價合計	摘要
計	施肥人夫	〇・五人	一・二〇〇	六・〇〇		
	除草中耕	四人	一・二〇〇	四・八〇		
	雪圍	一人	一・二〇〇	一・二〇〇		
五年				七・八〇〇	二一・〇〇三	
六年				七・八〇〇	一九・八一五	
七年				七・八〇〇	一八・六九三	
八年				七・八〇〇	一七・六三五	
九年				七・八〇〇	一六・六三六	
十年				六・九〇〇	一三・八八四	雪圍ヒナク肥料增加ス
十一年				六・九〇〇	一三・〇九八	
十二年				六・九〇〇	一二・三五六	
十三年				六・九〇〇	一一・三八一	
十四年				六・九〇〇	一〇・九九七	
十五年				六・九〇〇	一〇・三七四	
十六年				六・九〇〇	九・七八七	
十七年				六・九〇〇	九・二三三	
合計				一六二・二五〇	三四二・四二三	

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材、目モノ	一四二・五 <sup>五</sup>	五・〇〇〇	七一二・五〇〇	伐採本數十五本
同 駄モノ	四五	二・〇〇〇	九〇・〇〇〇	一本ニ付目モノ九・五玉、駄モノ三玉
計	一八七・五		八〇二・五〇〇 (四八一・五〇〇)	收入ハ分収契約ニヨリ地主四分、造林者六分ノ割合ニテ分収ス

收入 四百八拾壹圓五拾錢

備考 目モノトハ根元長サ六尺五寸直徑尺二寸内外ノモノ及ビ枝下長サ三尺三寸直徑尺内外ノモノヲ稱シ駄モノトハ枝上其他ノモノヲ稱ス。

八、福島縣大沼郡西川村地方  
 收支計算 純收入 百參拾九圓七錢七厘  
 支出 參百七拾六圓六拾五錢壹厘

内 譯

年次	腫目	數	單	價	金	額	伐期二十年ニ於ケル年利後價合計	摘	要
初年	開墾費	一〇人		一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	三八・四八六	伐期二十年	
二年	苗木代	三〇本		一・〇〇〇	三・〇〇〇	三・〇〇〇			
	植付人夫賃	二人		一・二〇〇	二・四〇〇	二・四〇〇			
	肥料代	三荷		五〇〇	一・五〇〇	一・五〇〇		人糞尿	
	除草中耕費	六人		一・二〇〇	七・二〇〇	七・二〇〇		年二回施行	
	雪圍費	一人		一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	四六・二九一		
計		〇・五人			一五・三〇〇	一五・三〇〇			
三年	臺切費	〇・五人		一・二〇〇	六〇〇	六〇〇		人糞尿	
	肥料代	三荷		五〇〇	一・五〇〇	一・五〇〇			
	施肥人夫賃	一人		一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇		年二回施行	
	除草中耕費	六人		一・二〇〇	七・二〇〇	七・二〇〇			
	雪圍費	一人		一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	三三・三九五		
計		〇・五人			一・七〇〇	一・七〇〇			
四年	雪圍除去			一・二〇〇	六〇〇	六〇〇			

年次	腫目	數	單	價	金	額	摘	要
初年	肥料代	三荷		五〇〇	一・五〇〇	一・五〇〇		人糞尿
	施肥人夫賃	一人		一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇		年二回施行
	除草中耕費	六人		一・二〇〇	七・二〇〇	七・二〇〇		
	雪圍費	一人		一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇		
計					一一・七〇〇	一一・七〇〇		
五年					一一・七〇〇	一一・七〇〇		
六年					一一・七〇〇	一一・七〇〇		
七年					九・〇〇〇	九・〇〇〇		肥料ヲ施サズ
八年					九・〇〇〇	九・〇〇〇		同
九年					七・八〇〇	七・八〇〇		雪圍セズ
十年					七・二〇〇	七・二〇〇		雪圍除去費ナシ
十一年					七・二〇〇	七・二〇〇		
十二年					七・二〇〇	七・二〇〇		
十三年					七・二〇〇	七・二〇〇		
十四年					七・二〇〇	七・二〇〇		
十五年					七・二〇〇	七・二〇〇		
十六年					七・二〇〇	七・二〇〇		
十七年					七・二〇〇	七・二〇〇		

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
十八年				七・二〇〇	
十九年				七・二〇〇	
二十年				七・二〇〇	
合計				一七九・一〇〇	
					伐期二十年ニ於ケル元利後價合計
					八・五七五
					八・〇三二
					七・六三二
					三七六・六五一

收入 四百參拾貳圓

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材、目モノ	二〇〇玉	三・二〇〇	六四〇・〇〇〇	伐採本數二十五本一本ニ付目モノ八玉
同 駄モノ	五〇玉	一・六〇〇	八〇〇・〇〇〇	駄モノ二玉
計	二五〇玉		一・四三二・〇〇〇	

收支計算 純收入 五拾五圓參拾四錢九厘

一〇、茨城縣新沼郡石岡町地方及西茨城郡岩間町地方  
(一) 桐樹栽培收支

支出 九拾七圓九拾五錢參厘

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
初年	苗木代	六〇本	一・二二〇	七・二〇〇	
	植付人夫賃	三人	一・五〇〇	四・五〇〇	堆肥、厩肥、苗木一本當二十錢
	肥料代			一二・〇〇〇	
	除草人夫賃	三人	一・〇〇〇	三・〇〇〇	
	芽搔人夫賃	二人	一・〇〇〇	二・〇〇〇	
	肥料代			三・〇〇〇	追肥、人糞尿、年二回施用
	地租代			五七〇	地租〇・一九〇、縣稅地租附加稅
	地租代			七〇〇〇	〇・二五〇、町村稅地租附加稅
	計			三九・二七〇	
二年	肥料代			三・〇〇〇	人糞尿
	地租代			五七〇	
	計			一〇・五七〇	
三年	肥料代			三・〇〇〇	
	計			一二・八四七	



年次	種目	數量	單價	金額	摘要
計	地租			七・〇〇〇	
	代稅			一〇・五七〇	
	合計			一七・五七〇	
四年				一〇・五七〇	
五年				一〇・五七〇	
合計				一〇・五七〇	
				九七・九五三	

伐期五年ニ於ケル年利五分ノ元利後價合計

摘要：支出費目前年ニ同ジ

収入 百六拾圓

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	四〇玉	四・〇〇〇	一六〇〇〇	

收支計算 純收入 六拾貳圓四錢七厘

(二) 間作 收支

間作ニハ初年及二年目ニ於テ陸稻ヲ栽培シ三年目ニ於テ薤ヲ栽培ス

イ、陸稻

支出 拾六圓五拾五錢

内譯

種目	數量	單價	金額	摘要
粗代	四升	二〇〇	八〇〇	
肥料代			四〇〇〇	基肥及追肥共
中耕除草費	六人	一〇〇〇	六〇〇〇	
收穫調製費	五人	一〇〇〇	五〇〇〇	
依及繩代	三俵分	二五〇	七五〇	
計			一六・五五〇	

収入 參拾圓

種目	數量	單價	金額	摘要
陸稻米	一二石	二五・〇〇〇	三〇〇〇〇	二年目ニ於テハ收穫八斗内外收入二十圓内外トナル

收支計算 純收入 拾參圓四拾五錢

口、薤

支出 八圓七拾五錢  
内譯

種目	數量	單價	金額	摘要
種子代	二斗五升	〇・五〇	一・二五〇	
肥料代	三人	一・〇〇〇	三・〇〇〇	
中耕除草費	三人	一・〇〇〇	三・〇〇〇	
收穫人夫費	三人	一・〇〇〇	三・〇〇〇	
計			八・七五〇	

收支計算 純收入 壹圓貳拾五錢

種目	數量	單價	金額	摘要
收入	拾圓		一〇・〇〇〇	
支出	四俵	二・五〇〇	一〇・〇〇〇	一俵八五斗八
計			壹圓貳拾五錢	

一、栃木縣下都賀郡石橋町地方  
支出 四拾壹圓拾錢四厘

内譯

年次	種目	數量	單價	金額	摘要	
初年	苗木代	六〇本	〇・三五	二・一〇〇	五坪一本植	
	肥料代	三荷	二・〇〇	六・〇〇	人糞尿、一本當四升、一荷八斗ノ割	
	同	一斗二升	〇・八〇	九・六〇	一本當二升	
	植付施肥人夫賃	男四人	一・二〇〇	四・八〇〇	除草年三回施行	
	除草費	女三人	〇・八〇〇	二・四〇〇		
	租			四・〇〇		
	計			一一・二六〇	一八・三三一	
	二年	肥料代	三荷	二・〇〇	六・〇〇	人糞尿、一本當四升
		同	一斗二升	〇・八〇	九・六〇	大豆粕、一本當二升
		施肥人夫賃	男一人	一・二〇〇	一・二〇〇	年三回施行
		除草人夫賃	女三人	〇・八〇〇	二・四〇〇	
		租			四・〇〇	
計				一八・六二五	年三回施行	
三年		租	女三人	〇・八〇〇	二・四〇〇	
		除草人夫賃			四・〇〇	
		計			六・四〇〇	
		租	女三人	〇・八〇〇	二・四〇〇	
		除草人夫賃			四・〇〇	
		計			六・四〇〇	
	租	女三人	〇・八〇〇	二・四〇〇		
	除草人夫賃			四・〇〇		
	計			六・四〇〇		
	租	女三人	〇・八〇〇	二・四〇〇		
	除草人夫賃			四・〇〇		
	計			六・四〇〇		

年次	計									
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
種目										
數量										
單價										
金額										
摘要	伐期十年ニ於ケル年利五分ノ元 利後價合計									
摘要	前年ニ同ジ 同 租稅ノミ									

收入 四拾貳圓  
收支計算 純收入 八拾九錢六厘  
一一、群馬縣多野郡藤岡町地方

(一) 桐樹栽培收支

支出 參百七拾壹圓參拾參錢參厘

內譯

年次	計									
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
種目	借地料	苗木代	植付費	肥料代	施肥人賃	除草人賃	借地料	肥料代	施肥人賃	除草人賃
數量	一反步	一〇〇本	二人	一五〇貫	一人	七・五人	一反步	八貫	一人	七・五人
單價	一五・〇〇〇	〇・五〇	一・三〇〇	〇・五〇	一・三〇〇	一・〇〇〇	一五・〇〇〇	三・五〇〇	一・三〇〇	一・〇〇〇
金額	一五・〇〇〇	五・〇〇〇	二・六〇〇	七・五〇〇	一・三〇〇	七・五〇〇	一五・〇〇〇	二・八〇〇	一・三〇〇	七・五〇〇
摘要	伐期十年ニ於ケル年利五分ノ元 利後價合計	植栽本數百本(三坪一本)ナ ルモ除伐ヲ行ヒ六十本立ト ス 一人當植栽本數五〇本 苗木一本ニ付堆肥一貫五百 匁	一人功程一二〇坪、芽掻共	一人功程一二〇坪、芽掻共	一株ニ付大豆粕五十匁宛	一人功程一二〇坪、芽掻共	六三・三六四	四一・二六五	二六・六〇〇	七・五〇〇

年次	收入										摘要	
	合計	十一年	九年	八年	七年	六年	五年	四年	三年	二年		
種目	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
數量	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
單價	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
金額	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
摘要	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

收入 貳百四拾圓

伐期十年ニ於ケル年利五分ノ元利後價合計

收支計算 差引損 百參拾壹圓參拾參錢參厘  
尙桐材單價最近十ヶ年平均玉上三圓、玉下五圓トスルトキハ純收入六拾參圓六拾六錢七厘トナ

(二) 陸間作收支

支出 初年 參拾六圓參拾七錢  
二年目 貳拾九圓八錢

內譯

年次	種目										摘要
	初年	...	...	...	...	...	...	...	...	...	
種目	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
數量	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
單價	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
金額	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
摘要	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

人力 一・二・六人  
畜力 〇・四人

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
初年	肥料代			一〇・九一〇	
初年	撰種費			〇・六〇	
初年	病虫害驅除費			二・一〇	
初年	依代			・八四〇	
初年	勞力賃銀			一六・二八〇	
初年	計			二九・〇八〇	
初年	主收入	一・二八	三二・三八〇	四一・四五〇	桐樹
初年	副收入			五・〇〇〇	藥、枳殼賣上代
初年	計			四六・四五〇	
二年	主收入	一・〇二	三二・三八〇	三三・〇三〇	桐樹
二年	副收入			四・〇〇〇	同
二年	計			三三・〇三〇	

收入 初年 四拾六圓四拾五錢  
二年目 參拾七圓參錢

內譯

計	三七・〇三〇
---	--------

收支計算 初年純收入 拾圓八錢

二年目純收入 七圓九拾五錢

一、群馬縣山田郡大間々町地方

支出 七百四拾壹圓六拾四錢參厘

內譯

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
初年	借地料	一反歩	二〇・〇〇〇	二〇・〇〇〇	植栽本數百本(三坪一本)ナ ルモ除伐ヲ行ヒ六十本立ト ス
初年	苗木代	一〇〇本	〇・五〇	五〇・〇〇〇	苗木一本ニ付堆肥一貫五百 匁
初年	植付費	二人	一・三〇〇	二・六〇〇	
初年	肥料代	一五〇貫	〇・五〇	七・五〇〇	
初年	施肥人夫賃	一人	一・三〇〇	一・三〇〇	
初年	除草人夫賃	七・五人	一・〇〇〇	七・五〇〇	一人功程一二〇坪、芽搔共
初年	借地料	一反歩	二〇・〇〇〇	二〇・〇〇〇	
初年	計			二〇・〇〇〇	
二年	借地料	一反歩	二〇・〇〇〇	二〇・〇〇〇	
二年	計			二〇・〇〇〇	

伐期十五年  
於ケル年  
利五分後價

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
計	肥料代	八貫	・三五〇	二・八〇〇	
	施肥人夫賃	一人	一・三〇〇	一・三〇〇	
	除草人夫賃	七・五人	一・〇〇〇	七・五〇〇	
三				三一・六〇〇	
四				三一・六〇〇	
五				三一・六〇〇	
六				三一・六〇〇	
七				三一・六〇〇	
八				三一・六〇〇	
九				三一・六〇〇	
十				三一・六〇〇	
十一				三一・六〇〇	
十二				三一・六〇〇	
十三				三一・六〇〇	
十四				三一・六〇〇	
十五年				三一・六〇〇	
合計				四八六・三〇〇	

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材、玉上	二四〇玉	一・五〇〇	三六〇・〇〇〇	主伐收入
同 玉下	六〇玉	二・〇〇〇	一二〇・〇〇〇	同
計			四八〇・〇〇〇	
合計			四八六・三〇〇	

收入 四百八拾圓

收支計算 差引損 貳百六拾壹圓六拾四錢參厘

尙桐材單價最近十ヶ年、平均玉上參圓、玉下四圓トシテ計算スレバ純收入貳百拾八圓參拾五錢七厘トナル。

一三、埼玉縣南埼玉郡内牧村地方

(一) 桐樹栽培收支

支出 百參拾九圓四拾六錢五厘

年次	種目	数量	単價	金額	伐期十年ニ於ケル後價合計	摘要
初年	苗木代	九〇本	一・一五〇	一三・五〇〇		基肥施肥人夫賃共 厩肥一本ニ付四貫目宛 人糞一本ニ付二升宛一回施
	植栽費	三人	一・〇〇〇	三・〇〇〇		
	基肥代	三六〇貫	〇・五〇〇	一八・〇〇〇		
二年	追肥代	六荷	二・〇〇〇	一・二〇〇		年一回施行
	施肥人夫賃	〇・五人	一・〇〇〇	〇・五〇〇		
	除草中耕人夫賃	一・八八人	一・〇〇〇	一・八八〇		
計	租			一・一一〇		年一回施行
	肥料代	二七〇貫	〇・五〇〇	一三・五〇〇		
	同	六荷	二・〇〇〇	一・二〇〇		
三年	肥料代	二七〇貫	〇・五〇〇	一三・五〇〇		厩肥、一本ニ付三貫目宛施 用 人糞尿、一本ニ付二升宛施
	租			一・一一〇		
	除草中耕人夫賃	一・八八人	一・〇〇〇	一・八八〇		
計	肥料代	二七〇貫	〇・五〇〇	一三・五〇〇	二八・〇九四	

年次	種目	数量	単價	金額	伐期十年ニ於ケル後價合計	摘要
初年	同	六荷	一・二〇〇	一・二〇〇		人糞尿一本ニ付二升宛
	施肥人夫賃	一・五人	一・〇〇〇	一・五〇〇		
	除草中耕人夫賃	一・八八人	一・〇〇〇	一・八八〇		
四年	肥料代	一二荷	二・〇〇〇	二・四〇〇		人糞尿一本ニ付二升宛二回 施用
	施肥人夫賃	一人	一・〇〇〇	一・〇〇〇		
	除草中耕人夫賃	一・八八人	一・〇〇〇	一・八八〇		
計	租			一・一一〇		年一回施行
	肥料代	一二荷	二・〇〇〇	二・四〇〇		
	施肥人夫賃	一人	一・〇〇〇	一・〇〇〇		
五年	保護管理費	二人	一・〇〇〇	二・〇〇〇		前年ニ同ジ
	租			一・一一〇		
	除草中耕人夫賃	一・八八人	一・〇〇〇	一・八八〇		
計	租			一・一一〇		前年ニ同ジ
	保護管理費	二人	一・〇〇〇	二・〇〇〇		
	除草中耕人夫賃	一・八八人	一・〇〇〇	一・八八〇		
六年	同			二・二一〇		前年ニ同ジ
	同			二・二一〇		
	同			二・二一〇		
計	同			二・二一〇		前年ニ同ジ
	同			二・二一〇		
	同			二・二一〇		
七年	同			二・二一〇		前年ニ同ジ
	同			二・二一〇		
	同			二・二一〇		
計	同			二・二一〇		前年ニ同ジ
	同			二・二一〇		
	同			二・二一〇		
八年	同			二・二一〇		前年ニ同ジ
	同			二・二一〇		
	同			二・二一〇		
計	同			二・二一〇		前年ニ同ジ
	同			二・二一〇		
	同			二・二一〇		
九年	同			二・二一〇		前年ニ同ジ
	同			二・二一〇		
	同			二・二一〇		
計	同			二・二一〇		前年ニ同ジ
	同			二・二一〇		
	同			二・二一〇		

年次	種目	數量	單價	金額	摘
十年				二・四一〇	伐期十年ニ於ケル年利五分ノ後價合計
合計				一三九・四六五	

收入 百拾貳圓

種目	數量	單價	金額	摘	要
桐材	四四・五八	二・五〇〇	一一二・〇〇〇	伐採本數 七六本、主伐收入	

收支計算 差引損 貳拾七圓四拾六錢五厘

(二) 間作收支

菜 菘 支出 九圓九拾錢

種子代	種目	數量	單價	金額	摘	要
三合			三・〇〇〇	九・九〇〇		

耕耘人夫賃	肥料代	同 肥	施肥人夫賃	除草中耕人夫賃	收穫費	計
〇・八人	一枚	四荷	一・五人	二・〇人	二・〇人	
一・〇〇〇	一・九〇〇	二・〇〇	一・〇〇〇	一・〇〇〇	一・〇〇〇	九・九〇〇
大豆粕	人糞尿	播種人夫賃ヲ含ム				

收入 六圓七拾五錢

種目	數量	單價	金額	摘	要
種子	一五升	四・五〇	六・七五〇		

收支計算 差引損 參圓拾五錢

一四、千葉縣印旛郡八街町地方

支出 百參拾貳圓七拾貳錢九厘

內 譯



年次	種目	數量	單價	金額	伐期十年ニ於ケル年利八分ノ元利後價合計	摘要
初年	苗木代	八〇本	一・一五〇	一二・〇〇〇		
	植栽費	一人	一・〇〇〇	一・〇〇〇		
	肥料代			五・〇〇〇		
	保護管理費			一・〇〇〇		
	地代			五・〇〇〇		
計				二四・〇〇〇	五一・八一三	
二年	保護管理費			一・〇〇〇		
	地代			五・〇〇〇		
計				六・〇〇〇	一一・九九四	
三年				六・〇〇〇		前年ニ同ジ
四年				六・〇〇〇		同
五年				六・〇〇〇		同
六年				六・〇〇〇		同
七年				六・〇〇〇		同
八年				六・〇〇〇		同
九年				六・〇〇〇		同

十年計	金額	摘要
六・〇〇〇	六・四八〇	同
一三二・七二九		

収入 七拾貳圓

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	四〇玉	一・八〇〇	七二・〇〇〇	主伐收入

收支計算 差引損 六拾圓七拾貳錢九厘

但シ間作トシテ茶ヲ栽培スルトキハ反當リ九拾圓内外ノ收入アルヲ以テ前記ノ損失ハ此ノ間作ニ依リ收支相償ヒ得ルモノノ如シ。

一五、東京府西多摩郡五日市町地方

支出 六百參拾七圓九拾八錢

内譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期二十年ニ於ケル年利五分ノ元利後價合計	摘要
初年	苗木代	七五本	〇・八〇	六・〇〇〇	四・五〇〇	
	植栽費					

一六、神奈川縣津久井郡内郷村地方  
 收支計算 差引損 七圓九拾八錢

種 目	種 目	收 入 六百參拾圓																				
		合 計	十 二 年	十 三 年	十 四 年	十 五 年	十 六 年	十 七 年	十 八 年	十 九 年	二 十 年	合 計										
材	二一〇玉																					
	三・〇〇〇																					
	六三〇・〇〇〇																					
摘	伐採木數六〇本、主伐收入		一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・〇〇〇
要																						

年 次	種 目	數 量	單 價	金 額	伐期二十年ニ於 ケル年利五分ノ 元利後價合計	摘	要
計	地手入			一五・〇〇〇	九二・八六五		
計	地手入			二・〇〇〇			
二 年	地手入			一五・〇〇〇			
三 年	地手入			一七・〇〇〇			
四 年	地手入			一七・〇〇〇			
五 年	地手入			一七・〇〇〇			
六 年	地手入			一七・〇〇〇			
七 年	地手入			一七・〇〇〇			
八 年	地手入			一七・〇〇〇			
九 年	地手入			一七・〇〇〇			
十 年	地手入			一七・〇〇〇			
十 一 年	地手入			一七・〇〇〇			
計	地手入			一七・〇〇〇	四二・九五九		
計	地手入			一五・〇〇〇			
二 年	地手入			一五・〇〇〇			
三 年	地手入			一七・〇〇〇			
四 年	地手入			一七・〇〇〇			
五 年	地手入			一七・〇〇〇			
六 年	地手入			一七・〇〇〇			
七 年	地手入			一七・〇〇〇			
八 年	地手入			一七・〇〇〇			
九 年	地手入			一七・〇〇〇			
十 年	地手入			一七・〇〇〇			
十 一 年	地手入			一七・〇〇〇			
計	地手入			一七・〇〇〇	四〇・九一二		前年ニ同ジ
計	地手入			一七・〇〇〇			
二 年	地手入			一七・〇〇〇			
三 年	地手入			一七・〇〇〇			
四 年	地手入			一七・〇〇〇			
五 年	地手入			一七・〇〇〇			
六 年	地手入			一七・〇〇〇			
七 年	地手入			一七・〇〇〇			
八 年	地手入			一七・〇〇〇			
九 年	地手入			一七・〇〇〇			
十 年	地手入			一七・〇〇〇			
十 一 年	地手入			一七・〇〇〇			
計	地手入			一七・〇〇〇	三三・六五八		
計	地手入			一七・〇〇〇			
二 年	地手入			一七・〇〇〇			
三 年	地手入			一七・〇〇〇			
四 年	地手入			一七・〇〇〇			
五 年	地手入			一七・〇〇〇			
六 年	地手入			一七・〇〇〇			
七 年	地手入			一七・〇〇〇			
八 年	地手入			一七・〇〇〇			
九 年	地手入			一七・〇〇〇			
十 年	地手入			一七・〇〇〇			
十 一 年	地手入			一七・〇〇〇			
計	地手入			一七・〇〇〇	三〇・五三〇		
計	地手入			一七・〇〇〇			
二 年	地手入			一七・〇〇〇			
三 年	地手入			一七・〇〇〇			
四 年	地手入			一七・〇〇〇			
五 年	地手入			一七・〇〇〇			
六 年	地手入			一七・〇〇〇			
七 年	地手入			一七・〇〇〇			
八 年	地手入			一七・〇〇〇			
九 年	地手入			一七・〇〇〇			
十 年	地手入			一七・〇〇〇			
十 一 年	地手入			一七・〇〇〇			
計	地手入			一七・〇〇〇	二九・〇七五		
計	地手入			一七・〇〇〇			
二 年	地手入			一七・〇〇〇			
三 年	地手入			一七・〇〇〇			
四 年	地手入			一七・〇〇〇			
五 年	地手入			一七・〇〇〇			
六 年	地手入			一七・〇〇〇			
七 年	地手入			一七・〇〇〇			
八 年	地手入			一七・〇〇〇			
九 年	地手入			一七・〇〇〇			
十 年	地手入			一七・〇〇〇			
十 一 年	地手入			一七・〇〇〇			
計	地手入			一七・〇〇〇	二七・六九一		

支出 百八拾圓九拾六錢壹厘

内譯

年次	種別	數量	單價	金額	於期十五年 元利後價	摘要
初年	苗木代	一〇〇本	・一五〇	一五・〇〇〇		
	植栽費	二人	・四五〇	・九〇〇		
	除草人夫賃	五人	・五三〇	二・六五〇		
	肥料代	四〇荷	・〇六二	二・四八〇		
	施肥人夫賃	四人	・五三〇	二・一二〇		
	地代			八・〇〇〇		
計	除草人夫賃	五人	・五三〇	二・六五〇		
	肥料代	四〇荷	・〇六二	二・四八〇		
	施肥人夫賃	四人	・五三〇	二・一二〇		
	地代			八・〇〇〇		
	臺切費	一人	・八〇〇	一六・〇五〇		
計				三一・七七七		人糞尿

年次	種別	數量	單價	金額	於期十五年 元利後價	摘要
三年	除草人夫賃	五人	・五三〇	二・六五〇		
	肥料代	四〇荷	・〇六二	二・四八〇		
	施肥人夫賃	四人	・五三〇	二・一二〇		
	地代			八・〇〇〇		
計				一五・二五〇		
四年				一五・二五〇	二七・三八七	前年ニ同ジ
五年				一五・二五〇	二六・〇八二	
六年	間伐人夫賃	〇・四人	・八〇〇	・三二〇	・五二一	
七年	保護管理費			・一六〇	・二四八	
八年				・一六〇	・二三六	
九年				・一六〇	・二二五	
十年				・一六〇	・二一四	
十一年				・一六〇	・二〇四	
十二年				・一六〇	・一九四	
十三年				・一六〇	・一八五	
十四年				・一六〇	・一七六	
十五年				九四・五五〇	一八〇・九六一	
合計						

收支 貳百圓貳拾錢

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	七〇本	二・八六〇	二〇〇・二〇〇	主伐收入

收支計算 純收入拾九圓貳拾參錢九厘

一七、新潟縣岩船郡猿澤村地方

當地方ニ於ケル桐林造成ハ普通材生産ヲ主トシ植付後第一回ハ十年目、第二、第三、第四回ハイブレモ萌芽ニヨリ仕立テ夫々七年目位ニテ伐採スルヲ例トス。

(イ) 植付第一回目(伐期十年)

支出 百貳拾四圓九拾七錢六厘

内譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期十年ニ於ケル年利六分ノ元利後價	摘要
初年	苗木代	五〇本	一・五〇〇	五・〇〇〇		
	借地料	一反歩	一・五〇〇	一・五〇〇		
	肥料代	一〇〇貫	一・〇〇〇	一〇〇・〇〇〇		堆肥、基肥、施肥人夫賃ヲ含ム、追肥、施肥人夫賃ヲ含ム
	同栽費	五〇貫	一・〇〇〇	五〇・〇〇〇		地拵費ヲ含ム
	除草耕耨費	四人	一・〇〇〇	四・〇〇〇		年二回施行
	借地料	五〇貫	一・〇〇〇	五〇・〇〇〇		人糞尿
	肥料代	四人	一・〇〇〇	四・〇〇〇		
	除草耕耨費	四人	一・〇〇〇	四・〇〇〇		
計				二八・〇〇〇	五〇・一四二	
三年				八・〇〇〇	一三・一九六	
四年				一・五〇〇	一二・七五〇	支出費目前年ニ同ジ
計				一〇・〇〇〇	八・二六九	前年ニ同ジ
五年				五・五〇〇	七・八〇一	
六年				五・五〇〇	七・三六〇	
七年				五・五〇〇	六・九四三	
八年				五・五〇〇	六・五五〇	

年次	種目	數量	單價	金額	伐期十年ニ於ケル年利六分ノ元利後價	摘要
初年	苗木代	五〇本	一・五〇〇	五・〇〇〇		
	借地料	一反歩	一・五〇〇	一・五〇〇		
	肥料代	一〇〇貫	一・〇〇〇	一〇〇・〇〇〇		堆肥、基肥、施肥人夫賃ヲ含ム、追肥、施肥人夫賃ヲ含ム
	同栽費	五〇貫	一・〇〇〇	五〇・〇〇〇		地拵費ヲ含ム
	除草耕耨費	四人	一・〇〇〇	四・〇〇〇		年二回施行
	借地料	五〇貫	一・〇〇〇	五〇・〇〇〇		人糞尿
	肥料代	四人	一・〇〇〇	四・〇〇〇		
	除草耕耨費	四人	一・〇〇〇	四・〇〇〇		
計				二八・〇〇〇	五〇・一四二	
三年				八・〇〇〇	一三・一九六	
四年				一・五〇〇	一二・七五〇	支出費目前年ニ同ジ
計				一〇・〇〇〇	八・二六九	前年ニ同ジ
五年				五・五〇〇	七・八〇一	
六年				五・五〇〇	七・三六〇	
七年				五・五〇〇	六・九四三	
八年				五・五〇〇	六・五五〇	

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
九年				五・五〇〇	伐期十五年ニ於ケル年利五分ノ元利後價計
十年				五・五〇〇	
合計				一一・〇〇〇	

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材、上玉	一〇玉	一・五〇〇	一五・〇〇〇	伐採本數五〇本
同 中玉	一五玉	二・〇〇〇	三〇・〇〇〇	
同 下玉	二〇玉	二・五〇〇	五〇・〇〇〇	
計			九五・六二五	

(口) 萌芽仕立第二回(伐期七年)  
支出 七拾四圓五拾七錢五厘  
内譯

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
初年	借地料	一反歩	一・五〇〇	一・五〇〇	堆肥
計	借地料	一〇〇貫	一・〇〇〇	一〇〇・〇〇〇	人糞尿
二年	借地料	五〇貫	二・〇〇〇	一〇〇・〇〇〇	
計	借地料	四〇貫	二・五〇〇	一〇〇・〇〇〇	
三年	借地料	四〇貫	二・〇〇〇	八〇・〇〇〇	
計	借地料	四〇貫	二・〇〇〇	八〇・〇〇〇	
四年	借地料	四〇貫	一・〇〇〇	四〇・〇〇〇	
計	借地料	四〇貫	一・〇〇〇	四〇・〇〇〇	
五年	除草耕転費		一・〇〇〇	五・五〇〇	
計	除草耕転費		一・〇〇〇	五・五〇〇	
六年				五・五〇〇	
七年				五・五〇〇	
計				五・五〇〇	
合計				五八三・〇〇〇	

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
計			円	五六・〇〇〇	伐期七年ニ於ケル年利六分ノ元利後價
				七四・五七五	

收入 九拾五圓六拾貳錢五厘、第一回收入ニ大差ナシ

次ニ第三回及第四回目ニ於ケル收支關係ヲ見ルニ大體第二回ニ於ケル收支ト大差ナキガ如シ。今植栽ヨリ第四回伐採迄ニ至ル三十一ヶ年後ノ收支關係ヲ見ルニ次ノ如シ。

年次	支		收入	差引	摘要
	前價	後價			
第一回(十年)	八二・五〇〇	一二四・九七六	九五・六二〇	損 二九・三五六	表中括弧内ノ數字ハ三十一年度ノ後價ヲ示ス
第二回(七年)	五六・〇〇〇	七四・五七五	九五・六二〇	損(九九・七九九)	
第三回(七年)	五六・〇〇〇	七四・五七五	九五・六二〇	益 二一・〇四五	
第四回(七年)	五六・〇〇〇	七四・五七五	九五・六二〇	益(四七・三八一)	
				益(三一・六四四)	
				益 二一・〇四五	
				益(九五・六二〇)	
				益(七四・五七五)	
				益(七八〇・三七九)	

即チ右ノ計算ニヨレバ植付後三十一年目ニ於ケル收入僅ニ貳拾七錢壹厘ニ過ギズ。

一八、新潟縣東蒲原郡津川町地方

津川地方ニ於ケル桐材造成ハ普通上畑ヲ用ヒ伐期二十年前後ニシテ臺ノ萌芽ニヨリ回ヲ重ネルコトナク伐採後ハ更ニ新植ヲ爲シツツアリ。

支出 參百六拾貳圓參拾錢參厘

内譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期二十年ニ於ケル年利六分ノ元利後價	摘要
初年	借地料	一反歩	五・〇〇〇	五・〇〇〇		
	苗木代	三〇本	一・〇〇〇	三・〇〇〇		地拵共
	植栽費	一人	一・五〇〇	一・五〇〇		厩肥一本ニ付一貫匁、施肥人夫賃共
	肥料代	三〇貫	一・〇〇〇	三・〇〇〇		人糞尿、施肥人夫賃共
	同	六〇貫	〇・二二二	一・三三二		女人夫
	除草耕耘費	四人	・八〇〇	三・二〇〇		
二年	借地料			一七・〇二〇	五四・五八五	
計				五・〇〇〇		

年次	種目	數量	單價	金額	伐期二十年=於ケル年利六分ノ元利後價	摘要
計	肥料代	六〇貫	〇・二二	一・三二〇		人糞尿
	除草耕耘費	四人	・八〇〇	三・二〇〇		女人夫
三				九・五二〇	二八・八〇四	
四				九・五二〇	二七・一七三	前年=同ジ
五				九・五二〇	二五・六三五	
六	借地料			五・〇〇〇	二四・一八五	
計	除草耕耘費			三・二〇〇		
七				八・二〇〇	一九・六五二	
八				八・二〇〇	一八・五三九	前年=同ジ
九				八・二〇〇	一七・四九〇	
十				八・二〇〇	一六・五〇〇	
十一				八・二〇〇	一五・五六六	
十二				八・二〇〇	一四・六八五	
十三				八・二〇〇	一三・五二六	
計				八・二〇〇	一三・〇六九	同

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
十四年				八・二〇〇	一二・三三〇
十五年				八・二〇〇	一一・六三二
十六年				八・二〇〇	一〇・九七三
十七年				八・二〇〇	一〇・三五三
十八年				八・二〇〇	九・七六六
十九年				八・二〇〇	九・一四八
二十年				八・二〇〇	八・六九二
合計				一七八・一〇〇	三六二・三〇三

收入 百八拾七圓四拾五錢

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	八一・五玉	二・三〇〇	一八七・四五〇	伐探本數十五本、上玉六九玉、中玉五玉、下玉七、五玉

收支計算 差引損 百七拾四圓八拾五錢參厘

一九、富山縣東礪波郡井波村地方

支出 六百八拾壹圓六拾九錢五厘

內譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期十三 年利五分 於後	摘要
初年	苗木代	九〇本	一・二〇	一〇・八〇〇		人糞尿使用
	肥料及施肥代		一・三〇〇	六・五〇〇		
	植栽費	五人	一・三〇〇	六・五〇〇		間作トシテ ハ桐樹ト同時ニ 行フ
	手入人夫費	男二人 女六人	・七〇〇	二・六〇〇		以下肥料及手入 費ハ路ノ分 ヲモ合ムモノトス
	同			四・二〇〇		防雪費其他
	雜費			八・一〇〇		
	地代			一三・五〇〇		
計				五二・二〇〇	八九・四二八	
二年	肥料及施肥代			六・五〇〇		
	手入人夫費			六・八〇〇		前年ニ同ジ
	雜費			八・一〇〇		
	地代			一三・五〇〇		
計				三四・九〇〇	六二・六七六	
三年				三四・九〇〇	五九・六八九	
四年				三四・九〇〇	五六・八四八	
五年				三四・九〇〇	五四・一四〇	

二〇、石川縣石川郡河内村地方

收支計算 差引損 百七拾貳圓拾貳錢五厘

年次	種目	數量	單價	金額	伐期十三 年利五分 於後	摘要
六年	桐材收入		一七五・〇〇〇	三四・九〇〇	五一・五六四	同
七年	桐材收入		一七五・〇〇〇	三四・九〇〇	四九・一〇七	同
八年	桐材收入		一七五・〇〇〇	三四・九〇〇	四六・八五九	同
九年	桐材收入		一七五・〇〇〇	三四・九〇〇	四四・四四二	同
十年	桐材收入		一七五・〇〇〇	三四・九〇〇	四二・四二〇	同
十一年	桐材收入		一七五・〇〇〇	三四・九〇〇	四〇・四〇〇	同
十二年	桐材收入		一七五・〇〇〇	三四・九〇〇	三八・四七七	同
十三年	桐材收入		一七五・〇〇〇	三四・九〇〇	三六・六四五	同
合計	桐材收入		一七五・〇〇〇	三四・九〇〇	六八一・六九五	同
	落賣上代		三三四・五七〇	三三四・五七〇		每年十八圓ノ收入、十三ヶ年ノ後價
	計		五〇九・五七〇	五〇九・五七〇		



支出 百四拾壹圓七錢

内譯 小豆間作支出ヲ含ム

年次	種目	數量	單價	金額	伐期十三年ニ於ケル年利五分後	摘要	
初年	地租公課	五〇本	・三〇〇	一五・〇〇〇	・六〇〇	既肥	
	苗木代	一五〇貫	・〇二〇	三・〇〇〇			
	肥料代	一・五人	一・〇〇〇	一・五〇〇			
	植栽費	四人	・六〇〇	二・四〇〇			
	除草人夫賃	一・五人	一・〇〇〇	一・五〇〇			
	施肥人夫賃	一・五人	一・〇〇〇	一・五〇〇			
	小豆種子代	一升	・一三〇	・一三〇			
	小豆播種人夫賃	四人	・六〇〇	二・四〇〇			
	計			二六・五三〇	五〇・〇二四		
	二年	地租公課	四人	・六〇〇	・六〇〇		
計			一・五〇〇				

年次	種目	數量	單價	金額	伐期十三年ニ於ケル年利五分後	摘要		
三年	小豆種子代	一升	・一三〇	・一三〇		前年ニ同ジ		
	小豆播種人夫賃	四人	・六〇〇	二・四〇〇				
	計			一〇・〇三〇	一八・〇一二			
	四年	地租公課	四人	・八〇〇	・六〇〇			既肥
	計			三・二〇〇				
	五年	地租公課	一人	一・五〇〇	一・五〇〇			既肥
	計			七・三〇〇	一一・八九〇			
	六年	計			三・八〇〇		五・八九四	前年ニ同ジ
		六年	除草人夫賃	四人	・八〇〇		・六〇〇	
		計			三・二〇〇			
七年		計		三・八〇〇	五・六一四			
八年		計		三・八〇〇	五・三四六			
九年		計		三・八〇〇	五・〇九二			
十年	計		三・八〇〇	四・八四九	同			
計			三・八〇〇	四・六一八				

年次	種目	數量	單價	金額	後價	摘要
十一年				三・八〇〇	四・三九八	同
十二年				三・八〇〇	四・一八九	同
十四年				八八・〇九〇	一四一・〇七〇	同
合計						
收入 貳百八圓七錢參厘						
年次	種目	數量	單價	金額	後價	摘要
初年	小豆	六斗	一・三〇〇	七・八〇〇	一四・七〇七	
二年	同	五斗	一・三〇〇	六・五〇〇	一一・六七三	
三年	同	四斗	一・三〇〇	五・二〇〇	八・八九三	
十三年	桐材	四、三二〇才	〇・四〇	一七二・八〇〇	二〇八・〇七三	伐採本數四十五本、胸高直徑平均八寸、一本ニ付九十才

收支計算 純收入 六拾七圓參厘  
 二、福井縣今立郡味真野村地方

年次	種目	數量	單價	金額	伐期十五年於 ケル年利五分ノ 後價合計	摘要
(一) 桐樹栽培收支						
支出 五百七拾九圓九拾八錢六厘						
初年	苗木代	三〇本	一・二〇〇	六・〇〇〇		豆粕及藁灰
	地拵及植栽費	三人	一・二〇〇	三・六〇〇		
	肥料代	一人	一・二〇〇	一・二〇〇		
	施肥人夫賃	一人	一・二〇〇	一・二〇〇		
	施肥人夫賃	六人	一・二〇〇	七・二〇〇		
	保護管理費	一人	一・二〇〇	一・二〇〇		
	雜費			二・〇〇〇		
	借地料			一二・五〇〇		
	肥料代			三八・七〇〇	八〇・四五三	
	施肥人夫賃	一人	一・二〇〇	一・五〇〇		
	施肥人夫賃	六人	一・二〇〇	七・二〇〇		
	手入人夫賃	一人	一・二〇〇	一・二〇〇		
計						
二年						

年次	計											
種目	借地料											
	十四年	十三年	十二年	十一年	十年	九年	八年	七年	六年	五年	四年	三年
保護管理費												
雜費												
借地料												
數量												
單價												
金額												
伐期十五年ニ於ケル年利率五分ノ後價合計												
摘要												

十五年合計
金額
金額
金額
金額
金額
金額

收入 貳百拾圓

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	三〇本	七・〇〇〇	二一〇・〇〇〇	摘

收支計算 差引損 參百六拾九圓九拾八錢六厘

(二) 間作收支

收			支			摘要
禽目	數量	金額	種目	數量	金額	
六貫	四・八〇〇	四・八〇〇	肥料代	二・五〇〇	二・五〇〇	茶栽培ニ要スル中耕除草其他手入費ハ桐ト同時ニ行ツテ以テ茲ニハ之ヲ見積ラズ
計	四・八〇〇	四・八〇〇	摘賃	一・五〇〇	一・五〇〇	
			計	四・〇〇〇	四・〇〇〇	

收支計算 純收入 八拾錢

種目	收		支		摘要
	數量	金額	數量	金額	
大豆	二俵	一五・〇〇〇	種子代	八〇〇	
			肥料代	五〇〇	
			播種及手 入費	一〇〇	
計	一	一五・〇〇〇	計	一・三〇〇	

收支計算 純收入 參圓七拾錢

二二、福井縣今立郡服間村地方

支出 七百九拾八圓四拾八錢六厘

初年	年次	種目	數量	單價	金額	於伐期十二年 分ノ後價	摘要
		苗木代	四〇本	一〇〇	四・〇〇〇		

種目	數量	單價	金額	摘要
地拵費	五人	一・〇〇〇	五・〇〇〇	大豆粕
基肥代	三枚	一・七〇〇	五・一〇〇	基肥施用夫賃
施肥人夫賃	二人	一・〇〇〇	二・〇〇〇	
苗木栽植費	一人	一・〇〇〇	一・〇〇〇	人糞尿
追肥代	四〇〇貫	〇・七五	三・〇〇〇	追肥施用夫賃
施肥人夫賃	一・五人	一・〇〇〇	一・五〇〇	
除草中耕費	三人	一・〇〇〇	三・〇〇〇	
芽搔費	〇・五人	一・〇〇〇	・五〇〇	
保護費	一人	一・〇〇〇	一・〇〇〇	
雜地料			二・〇〇〇	
借地料			一六・一〇〇	
臺切費			四四・二〇〇	
肥料代			七・六五〇	大豆粕
同肥			六・九〇〇	石灰、糞灰、人糞尿
施肥人夫賃	三・五人	一・〇〇〇	三・五〇〇	
除草中耕費	五人	一・〇〇〇	五・〇〇〇	
芽搔費	一人	一・〇〇〇	一・〇〇〇	
計			七九・三七八	

年次	種目	數量	單價	金額	摘	要	計									
							三	四	五	六	七	八	九	十	十一年	十二年
	保護費		三人	一〇〇〇	三〇〇〇											
	雜費			五〇〇〇	五〇〇〇											
	借地料			一六〇〇	一六〇〇											
				四八・六五〇	八三・二〇六											
				四八・一五〇	七八・四三一											
				四八・一五〇	七四・六九五											
				四八・一五〇	七一・一四一											
				四九・一五〇	六七・七五一											
				四八・一五〇	六四・五二五											
				四八・一五〇	六一・四五三											
				四八・一五〇	五八・五二六											
				四八・一五〇	五五・七三八											
				四八・一五〇	五三・〇八五											
				四八・一五〇	五〇・五五七											
				四八・一五〇	七九・八四六											

收入 百五拾圓

二、三、山梨縣北都留郡巖村地方

收支計算 差引損 六百四拾八圓四拾八錢六厘

支出 百八拾四圓七拾參錢壹厘

內譯

種目	數量	單價	金額	摘	要	初年	
						年	次
苗木代	五〇本	〇・五〇	二・五〇〇				
植栽費	一人	一・二〇〇	一・二〇〇				
基肥代	二〇〇貫	〇・二〇	四・〇〇〇				
追肥代	五荷	〇・二〇〇	一・〇〇〇				
施肥人賃	一人	一・二〇〇	一・二〇〇				
除草人賃	六人	一・〇〇〇	六・〇〇〇				
地代			八・〇〇〇				
計			二三・九〇〇				
			三七・〇七六				

伐期九年ニ於ケル年利五分ノ後  
價合計

厩肥一本當四貫匁  
一回二人、年三回施行、女人夫

二四、長野縣下水内郡飯山町地方  
 收支計算 純收入 參拾七圓六拾六錢九厘

種目	數量	單位	價額	收入							
				合計	八年	九年	合計	五年	六年	七年	
材	三六・四六	石	一								
地代				一〇・〇〇	八・〇〇	九・〇〇	九・〇〇	一〇・四一八	一七・二〇〇	一七・二〇〇	一七・二〇〇
除草費				一〇・〇〇	八・〇〇	九・〇〇	九・〇〇	一〇・四一八	一七・二〇〇	一七・二〇〇	一七・二〇〇
施肥料代				一〇・〇〇	八・〇〇	九・〇〇	九・〇〇	一〇・四一八	一七・二〇〇	一七・二〇〇	一七・二〇〇
施肥人夫賃				一〇・〇〇	八・〇〇	九・〇〇	九・〇〇	一〇・四一八	一七・二〇〇	一七・二〇〇	一七・二〇〇
除草費				一〇・〇〇	八・〇〇	九・〇〇	九・〇〇	一〇・四一八	一七・二〇〇	一七・二〇〇	一七・二〇〇
合計				一八四・七三一	九・四五〇	九・九二二	九・九二二	一〇・四一八	一八四・七三一	一九〇・九〇六	一九五・二二二
摘要									前年ニ同ジ		

種目	數量	單位	價額	金額	後計	支出					
						合計	三年	四年	合計	三年	四年
地代				一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇
除草費				一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇
施肥料代				一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇
施肥人夫賃				一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇
除草費				一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇
地代				一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇
施肥料代				一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇
施肥人夫賃				一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇
芽搔手入費				一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇
合計				一八・六〇〇	一八・六〇〇	一八・六〇〇	一八・六〇〇	一八・六〇〇	一八・六〇〇	一八・六〇〇	一八・六〇〇
摘要											

支出 貳百七拾壹圓拾五錢  
内譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期十二年ニ於ケル年利五分ノ後價	摘要
初年	地代	1	11000	11000		租二俵代ニ相當ス
	苗木代	50本	70	3500		
	植栽施肥除草管理費	5人	1000	5000		
	肥料代	5荷	200	1000		人糞尿
	同	1貫	300	3000		糠粕
計				23500	50710	
二年				19000	37980	地代、人夫賃、肥料代
三年				19000	35330	
四年				19000	32560	
五年				15000	23800	
六年				15000	22020	
七年				15000	20540	
八年				15000	18840	

收入 貳百八拾圓

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	400本	7000	280000	一本平均玉數五、平均三尺廻リ

收支計算 純收入 八圓八拾五錢

二五、岐阜縣不破郡垂井町地方

支出 七拾參圓六拾壹錢八厘

内譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期十二年ニ於ケル年利五分ノ後價合計	摘要
初年	苗木代	100本	50	5000		施肥ヲ含ム
	植栽費	2人	1300	2600		

年次	種目	數	量	單價	金額	伐期十年ニ於ケル年八分ノ後價合計	摘	要
二年計	基肥代	200	貫	0.20	40.00	20.832	既肥、苗木一本ニ付二貫目	
	補植苗木代	10	本	0.50	5.00		枯損歩合一割	
	植栽費	2	人	1.30	2.60			
	臺切費	8	人	1.30	10.40			
	萌芽手入費	5	人	1.30	6.50			
三年計	肥料代	200	貫	0.20	40.00		既肥一本ニ付二貫目	
	施肥人夫賃	2	人	1.30	2.60			
四年計	肥料代	200	貫	0.20	40.00		既肥一本ニ付二貫目	
	施肥人夫賃	2	人	1.30	2.60			
計					90.50	15.478		

八〇

年次	種目	數	量	單價	金額	伐探本數八十本、一本平均二玉	摘	要
五年計	施肥人夫賃	2	人	1.30	2.60		一二・二五五	
	芽搔、除草其他	1	人	1.30	1.30		一九二〇	
							一八二九	
							一七四二	
							一六五九	
							一五八〇	
							一五〇四	
							一四三三	
							一三六五	
							七三・六一八	
計					46.330			

收支計算 純收入 五拾四圓參拾八錢貳厘

八一



二六、静岡縣富士郡富士根村地方

支出 百八拾壹圓八拾八錢九厘

年次	種目	數量	單價	金額	伐期十四年於 ノケル利率五分 後價合計	摘要
初年	苗木代	一二〇本	〇・五〇	五・五〇〇		
計	植栽地料費	一人	一・二〇〇	一・二〇〇		
二年	臺切	一人	一・二〇〇	一・二〇〇		
計	手入地料費	一人	一・二〇〇	一・二〇〇		保護手入、除草芽搔
三年	借地料費	一人	一・二〇〇	一・二〇〇		除草
計				九・四〇〇	一七・七二四	
計				一三・七〇〇	二七・一二四	

收入 百六拾圓貳拾錢

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	八〇本	一六〇・二〇〇	一六〇・二〇〇	周圍一尺一寸以上二尺七寸廻リ、枝下長サ七尺乃至一丈
合計			八・二〇〇	前年ニ同ジ
十四年			八・二〇〇	
十三年			八・二〇〇	
十二年			八・二〇〇	
十一年			八・二〇〇	
十年			八・二〇〇	
九年			八・二〇〇	
八年			八・二〇〇	
七年			八・二〇〇	
六年			八・二〇〇	
五年			八・二〇〇	
四年			八・二〇〇	

收支計算 差引損 貳拾壹圓六拾八錢九厘

二七、愛知縣東加茂郡賀茂村地方

支出 五拾壹圓參拾六錢貳厘

内譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期十一年於 ノケル年利率五分 後價合計	摘要
初年	苗木代	一〇〇本	一・二〇	一・二〇〇		
	植栽費	二人	一・二〇〇	二・四〇〇		
二年計	除草中耕人夫賃	一人	一・二〇〇	一・二〇〇		敷薬人夫賃及薬代
	肥料代	一人	一・二〇〇	二・五〇〇		
三年計	除草中耕人夫賃	一人	一・二〇〇	一・二〇〇		
	肥料代	一人	一・二〇〇	二・五〇〇		
合計				一五・六〇〇	二六・六八〇	

二八、三重縣鈴鹿郡川崎村地方

(一) 桐樹栽培收支

支出 百五拾七圓貳拾壹錢七厘

内譯

種目	數量	單價	金額	摘要	計	收入		
						合計	自十五年計	至十四年計
桐材	一〇〇本	一・三五〇	一三五・〇〇〇	地上六尺五寸ノ個所ニ於ケル周圍平均二尺	一・二〇〇	六・一〇〇	四・九〇〇	三一・五〇〇
					一人	九・四六二	七・二三九	五一・三六二

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
初年	苗木代	一〇〇本	五・〇〇〇	五・〇〇〇	伐期十年ニ於ケル利率五分ノ元利後價
	植栽費	二人	一・〇〇〇	二・〇〇〇	
計	借地料			一八・〇〇〇	年來約四斗ニ相當ス
二計	補植費			一・〇〇〇	
計	借地料			一・〇〇〇	苗木代及植付費 芽掻、保護手入費ハ間作手 入ト同時ニ行フニヨリ省略ス
三計	借地料			一・三三〇	
四年	同			一・〇〇〇	
五年	同			一・〇〇〇	
六年	同			一・〇〇〇	
七年	同			一・〇〇〇	
八年	同			一・〇〇〇	
九年	同			一・〇〇〇	
十年	同			一・〇〇〇	
合計				一七・六〇七	

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	二〇・ <sup>石</sup> 四	二・五〇〇	五一・〇〇〇	伐採本數一〇〇本、一本約〇・二〇四、單價ハ立木賣買價格
收入			五拾壹圓	
(二) 間作收支				
收支計算 差引損 百六圓貳拾壹錢七厘				
支出 拾貳圓貳拾四錢七厘				
種目	數量 <td>單價</td> <td>金額</td> <td>摘要</td>	單價	金額	摘要
種球代	一〇貫	三・〇〇〇	三・〇〇〇	收獲期三年ニ於ケル利率五分ノ元利後價合計
植栽費	二人	一・〇〇〇	二・〇〇〇	
除草費	一人	一・〇〇〇	一・〇〇〇	
計			六・〇〇〇	

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
二年	除草費	一人	一〇〇〇	一〇〇〇	收穫期ナルモ桐樹ノ爲ニ行
三年	同	一人	一〇〇〇	一〇〇〇	
合計	收穫費	三人	一〇〇〇	四〇〇〇	
合計				一二・二四七	

收入 參拾參圓

種目	數量	單價	金額	摘要
一〇貫		三〇〇	三三〇〇	

收支計算 純收入 貳拾圓七拾五錢參厘

二九、三重縣飯南郡茅廣江村地方

支出 百八拾八圓七錢五厘

內譯

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
初年	苗木代	六〇本	一〇五〇	三〇〇〇	苗木代及植付費 年米約五斗ニ相當ス
二年	植栽費	一人	八〇〇	八〇〇	
計	借地料			一七・五五〇	苗木代及植付費
三年	借地料			一三・七五〇	
四年	借地料			一三・七五〇	
五年	借地料			一三・七五〇	
六年	借地料			一三・七五〇	
七年	借地料			一三・七五〇	
八年	借地料			一三・七五〇	
九年	借地料			一三・七五〇	
十年	借地料			一三・七五〇	
合計				一四一・四九〇	

收入 參拾六圓七拾貳錢

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	一二・二四五	三・〇〇〇	三六・七二〇	伐採本數約六〇本、一本平均〇・二〇四石

收支計算 差引損 百五拾壹圓參拾五錢五厘

三〇、滋賀縣伊香郡片岡村地方

支出 貳百九拾九圓貳拾六錢七厘

內譯

種目	數量	單價	金額	摘要
苗木代	一〇〇本	六・〇〇〇	六・〇〇〇	伐期十五年ニ於ケル年利後價 ノケル年利後價
植栽費		一・五〇〇	一・五〇〇	
肥料代		三・〇〇〇	三・〇〇〇	
中耕除草費		四・〇〇〇	四・〇〇〇	
借地料		一・〇〇〇	一・〇〇〇	
計			二四・五〇〇	五〇・九三三
				三五・六三八

基肥トシテ堆肥ヲ施用、施肥ヲ含ム

種目	數量	單價	金額	摘要
臺切、芽振費			一・〇〇〇	前年ニ同ジ
肥料代			三・〇〇〇	
中耕除草費			四・〇〇〇	
借地料			一・〇〇〇	
計			一八・〇〇〇	
臺切、芽振費			一・〇〇〇	前年ニ同ジ
中耕除草費			四・〇〇〇	
借地料			一・〇〇〇	
計			一五・〇〇〇	
中耕除草費			四・〇〇〇	
借地料			一・〇〇〇	
計			一四・〇〇〇	
除草費			二・〇〇〇	
借地料			一・〇〇〇	
計			一四・〇〇〇	前年ニ同ジ
除草費			二・〇〇〇	
借地料			一・〇〇〇	
計			一五・五〇〇	
借地料			一・〇〇〇	
計			一五・五〇〇	前年ニ同ジ
借地料			一・〇〇〇	
計			一五・五〇〇	
借地料			一・〇〇〇	
計			一五・五〇〇	

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
八年	借地料			一〇・〇〇〇	
九年				一〇・〇〇〇	
十年				一〇・〇〇〇	
十一年				一〇・〇〇〇	
十二年				一〇・〇〇〇	
十三年				一〇・〇〇〇	
十四年				一〇・〇〇〇	
十五年				一〇・〇〇〇	
合計				一八七・五〇〇	
				二九九・二六七	
				一〇・五〇〇	
				一一・〇二五	
				一一・五七六	
				一二・一五五	
				一二・七六三	
				一三・四〇一	
				一四・〇七一	
				一四・七七五	

收入 貳百四拾六圓四拾錢

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	六、一六〇 <small>才</small>	〇・四〇 <small>円</small>	二四六・四〇〇 <small>円</small>	伐採本數七〇本、一本八八才、平均直徑八寸

收支計算 差引損 五拾貳圓八拾六錢七厘

三一、京都府北桑田郡平屋村地方

支出 四百貳拾九圓六錢參厘

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
初年	地持	一五人	一・三〇〇 <small>円</small>	一九・五〇〇 <small>円</small>	
	苗木代	五〇本	〇・八〇	四〇・〇〇	
	植栽費	二人	一・三〇〇	二・六〇〇	
	敷藥費	二〇貫	〇・四〇	八・〇〇	
	中耕費	二人	一・三〇〇	二・六〇〇	
	除草其他入夫賃	三人	〇・八〇〇	二・四〇〇	女人夫使用
	貢租			八六〇	
計				三二・七六〇	
				七五・〇八五	
二年	肥料代	一二貫	〇・三〇〇	三・六〇〇	油粕
	敷藥費	二〇貫	〇・四〇	八・〇〇	
	中耕費	二人	一・三〇〇	二・六〇〇	
	除草其他入夫賃	四人	〇・八〇〇	三・二〇〇	
	貢租			八六〇	
計				二四・一四二	

年次	種目									數量	單價	金額	ノケル元利後價 於十七年 利率五分	摘要	
	肥料代	臺切費	中耕費	敷藁費	芽振費	除草其他夫賃	貢租	肥料代	中耕費						敷藁費
三年	一六貫	一人	一・三〇〇	四・八〇〇	一人	一・三〇〇	一・三〇〇	三〇貫	一人	一・三〇〇	四・八〇〇	八六〇	三二・二〇〇	二七・六三九	四年ニ同ジ
四年計	一六貫	一人	一・三〇〇	四・八〇〇	一人	一・三〇〇	一・三〇〇	三〇貫	一人	一・三〇〇	四・八〇〇	八六〇	三二・二〇〇	二七・六三九	四年ニ同ジ
五年															
六年	二〇貫	二人	一・三〇〇	二・六〇〇	二人	二・六〇〇	六・〇〇〇	一三・九六〇							同
七年	二〇貫	二人	一・三〇〇	二・六〇〇	二人	二・六〇〇	六・〇〇〇	一三・九六〇							同
八年															
九年															
十年	二〇貫	二人	一・三〇〇	二・六〇〇	二人	二・六〇〇	六・〇〇〇	一三・九六〇							同
十一年計	二〇貫	二人	一・三〇〇	二・六〇〇	二人	二・六〇〇	六・〇〇〇	一三・九六〇							十年ニ同ジ
十二年															同

年次	種目									數量	單價	金額	ノケル元利後價 於十七年 利率五分	摘要	
	肥料代	臺切費	中耕費	敷藁費	芽振費	除草其他夫賃	貢租	肥料代	中耕費						敷藁費
三年	一六貫	一人	一・三〇〇	四・八〇〇	一人	一・三〇〇	一・三〇〇	三〇貫	一人	一・三〇〇	四・八〇〇	八六〇	三二・二〇〇	二七・六三九	四年ニ同ジ
四年計	一六貫	一人	一・三〇〇	四・八〇〇	一人	一・三〇〇	一・三〇〇	三〇貫	一人	一・三〇〇	四・八〇〇	八六〇	三二・二〇〇	二七・六三九	四年ニ同ジ
五年															
六年	二〇貫	二人	一・三〇〇	二・六〇〇	二人	二・六〇〇	六・〇〇〇	一三・九六〇							同
七年	二〇貫	二人	一・三〇〇	二・六〇〇	二人	二・六〇〇	六・〇〇〇	一三・九六〇							同
八年															
九年															
十年	二〇貫	二人	一・三〇〇	二・六〇〇	二人	二・六〇〇	六・〇〇〇	一三・九六〇							同
十一年計	二〇貫	二人	一・三〇〇	二・六〇〇	二人	二・六〇〇	六・〇〇〇	一三・九六〇							十年ニ同ジ
十二年															同

年次	種目	數量	單價	金額	後價	摘要
十三年				一四・二六〇	一八・二〇〇	
十四年				一四・二六〇	一七・三三〇	
十五年				一四・二六〇	一六・五〇七	
十六年				一四・二六〇	一五・七二一	
十七年				一四・二六〇	一四・九七三	
合計				四二九・〇六三	四二九・〇六三	
年次	種目	數量	單價	金額	後價	摘要
初年	間作收入麥	一・〇	一〇・〇〇〇	一〇・〇〇〇	二二・九二〇	間作ニ要スル經費ハ桐栽培ニ要スル經費ニテ足ルヲ以テ特ニ見積ラズ
二年	同	〇・六	一〇・〇〇〇	六・〇〇〇	一三・〇九七	年利率五分
三年	同	〇・三	一〇・〇〇〇	三・〇〇〇	六・二三六	
十七年	桐材	八・二〇〇	〇・五〇	四二九・〇〇〇	四一〇・〇〇〇	
合計				四二九・〇〇〇	四五二・二五三	

收入 四百五拾貳圓貳拾五錢參厘

内譯

收支計算 純收入 貳拾參圓拾九錢

三二、大阪府南河内郡三日市村地方

支出 百八拾壹圓五拾五錢四厘

内譯

年次	種目	數量	單價	金額	後價	摘要
初年	苗木代	一〇〇本	一八〇	一八・〇〇〇		
計	施肥材料及肥料代			一〇・〇〇〇		
二年	借地料			五・〇〇〇		
計	借地料			三三・〇〇〇	五三・七五三	
三年				一五・〇〇〇		
四年				一五・〇〇〇		
五年				一五・〇〇〇		
六年				五・〇〇〇		
合計				一〇・〇〇〇		
合計				五・〇〇〇		
合計				六・三八一		
摘要						前年ニ同ジ



年次	種目	數量	單價	金額	摘要
七年				一五・〇〇〇	二年目ニ同ジ
八年				五・〇〇〇	六年目ニ同ジ
九年				五・〇〇〇	同
十年				五・〇〇〇	同
合計				一八・二三二	

收入 貳百圓

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	八〇本	二・五〇〇	二〇〇・〇〇〇	

收支計算 純收入 拾八圓四拾四錢六厘

三三、兵庫縣水上郡和田村地方

(一) 桐樹栽培收支

支出 參百壹圓貳拾九錢五厘

內譯

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
初年	苗木	七五本	〇・七〇	五・二五〇	如地ニ付地拵費ヲ揚上セズ
	肥料	二人	一・二〇〇	二・四〇〇	施肥人夫賃ヲ含ム
	地代	一・二斗	一・二五〇	一・五〇〇	油粕
計	地代	〇・三人	一・二〇〇	三・二一五〇	地方慣行地代ハ米一石ト大豆一石トノ價格合計ノ二分
三年	地代			三三・三〇五	
四年	地代			三一・四七七	
五年	地代			三〇・二六五	
六年	地代			二九・一〇一	
七年	地代			二七・九八四	
八年	地代			二六・九〇七	
九年	地代			二五・八七二	
十年	地代			二四・八七六	
合計	地代			二三・九二〇	

年次	種目	數量	單價	金額	摘	要
合計				二二九・五五〇	三〇一・二九五	伐期十年ニ於ケル年利四分ノ元利後價
年次	種目	數量	單價	金額	摘	要
桐材		七五本	四・〇〇〇	三〇〇・〇〇〇	十年生ニテ直徑平均一尺ニ達ス	

(ニ) 間作收支  
 黃蓮  
 間作トシテ黃蓮ハ桐樹植栽ノ年ヨリ第四年マデ及ビ第八年ヨリ第十年マデ二回ノ栽培ヲ行フ。  
 支出 參百八拾參圓六拾四錢參厘  
 內譯

年次	種目	數量	單價	金額	十年目ニ於ケル年利四分ノ元利後價合計	摘	要
初第一年回	植栽費	二〇、〇〇〇株	一・二〇〇	二四〇〇			實播一坪ヨリ一五〇株ノ苗ヲ得
	苗代	一六・七人	〇・〇〇三	二〇〇			一人一日一、二〇〇株植付

收入 四百八拾壹圓七拾錢七厘

年次	種目	數量	單價	金額	十年目ニ於ケル年利四分ノ元利後價合計	摘	要
計	右人夫賃	一・七人	一・二〇〇	二〇〇	一三六・一七八		柴又ハ竹枝及繩、杭等材料
計	肥料代	三俵	七・〇〇〇	二一・〇〇〇			油粕
計	施肥人夫賃	〇・五人	一・二〇〇	六〇〇			
計	糞代	五〇束	一・二〇〇	六〇〇〇			
計	同上糞敷人夫賃	〇・五人	一・二〇〇	六〇〇			
計	除草人夫賃	女三人	五〇〇	一・五〇〇	四一・二七五		
計				二九・七〇〇	三九・六八九	前年ニ同ジ	
計				二九・七〇〇	二一七・一四二		
計				一五・四〇〇	一〇三・四九〇	第一回初年ニ同ジ	
計				九二・〇〇〇	三二・一二三	第一回二年ニ同ジ	
計				二九・七〇〇	三〇・八八八		
計				二九・七〇〇	一六六・五〇一		
計				一五・四〇〇	三八三・六四三		
計				三〇二・八〇〇			

年次	種目	計		金額	十年目ニ於ケル 利率四分ノ元 利後價合計	摘	要
		第一 年 目三八回	第二 年 目十八回				
	黃 桐	二〇、〇〇〇株	一〇斤	三〇〇〇	二〇〇〇		
	種 子			二〇〇〇			
	葉 子			三〇〇〇			
	燃 料			二〇八〇〇〇	二七三・七〇七		根ヲ切取リタル葉ヲ肥料ト ナス 垣材料ヲ燃料トナス
	合 計			二〇八〇〇〇	四八一・七〇七		
收支計算 純收入 九拾六圓七拾六錢							
	種 目	支	出	收	入	損	益
	黃 桐		三〇一・二九五		三〇〇・〇〇〇	損	一・二九五
	計		三八三・六四三		四八一・七〇七	益	九八・〇六四
			六八四・九三八		七八一・七〇七	益	九六・七六九

尙間作トシテ黄蓮ノ外ニ蔬菜、豆類ヲ栽培ス、其ノ收入一ケ年平均十圓内外ナリ。

(一) 桐樹栽培收支

支出 百貳拾貳圓六拾壹錢四厘

内 譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期十八年ニ於 ケル利率五分 ノ元利後價	摘	要
初 年	苗 木	六五本	〇・五〇	三・二五〇			
	植 栽 費			五・〇〇			一本ニ付鍊メ粕五合施用
	肥料代及施肥費			三・二五〇			
	病蟲害驅除費			五・〇〇			
	手 入 費			五・〇〇			中耕、除草ニ要スル經費ハ 間作ノ支出ニ掲上ス
	貢 租			五・〇〇			
	肥料代及施肥費			八・五〇〇			
	病蟲害驅除費			三・二五〇			
	手 入 費			五・〇〇			
二 年	計			二〇・四五六			

年次	八 年	計	九 年	計	十 年	十 一 年	十 二 年	十 三 年	十 四 年	十 五 年	十 六 年	十 七 年	十 八 年	合 計
種 目	肥料代及施肥費	病蟲害驅除費	貢 租	病蟲害驅除費	貢 租									
數 量														
單 價														
金 額	七・〇〇〇	一・二〇〇	八・七〇〇	一・二〇〇	一・七〇〇	一・七〇〇	一・七〇〇	一・七〇〇	一・七〇〇	一・七〇〇	一・七〇〇	一・七〇〇	一・七〇〇	六六・四〇〇
伐期十八年ニ於ケル利率五分ノ元利後價			一四・八七九		二・七六九	二・六三七	二・五一一	二・三九二	二・二七八	二・一六九	二・〇六六	一・九六七	一・八七四	一二二・六一四
摘 要					前年ニ同ジ	同	同	同	同	同	同	同	同	

年次	三 年	計	四 年	計	五 年	計	六 年	計	七 年	計
種 目	肥料代及施肥費	病蟲害驅除費	貢 租	肥料代及施肥費	病蟲害驅除費	貢 租	肥料代及施肥費	病蟲害驅除費	貢 租	肥料代及施肥費
數 量										
單 價										
金 額	四・七五〇	四・七五〇	四・〇〇〇	五・〇〇〇	五・〇〇〇	五・〇〇〇	六・〇〇〇	五・〇〇〇	五・〇〇〇	七・五〇〇
伐期十八年ニ於ケル利率五分ノ元利後價	一〇・八八七	一〇・三六八		一〇・三九四			九・六一六	一〇・〇九七		一三・四六九
摘 要	前年ニ同ジ						前年ニ同ジ			

收入 百五拾圓

種目	數	量	單價	金額	摘要
桐材	六〇本		二・五〇〇 <sup>円</sup>	一五〇・〇〇〇	地上六尺五寸ノ直徑平均八寸

收支計算 純收入 貳拾七圓參拾八錢六厘

(二) 間作收支

麥及大豆

支出 八圓五拾錢

內譯

年初	種目	數	量	單價	金額	摘要
計	整地費			一・〇〇〇	一・〇〇〇	
	肥料代			三・〇〇〇	三・〇〇〇	人糞尿
	施肥人夫賃			四・〇〇〇	四・〇〇〇	
	中耕及除草費			八・五〇〇	八・五〇〇	

收入 九圓八拾錢

內譯

種目	數	量	單價	金額	摘要
麥	二・五俵		二・八〇〇	七・〇〇〇	
大豆	一俵		二・八〇〇	二・八〇〇	
計				九・八〇〇	

收支計算 純收入 壹圓參拾錢

三五、鳥取縣東伯郡社村地方

(一) 桐樹栽培收支

支出 六百八拾四圓貳拾四錢九厘

內譯

年次	種目	數	量	單價	金額	摘要
初年	地拵費	五人		一・五〇〇	七・五〇〇	伐期九年ニ於ケル年利一割ノ元利後價
	苗木代	六〇本		一・二〇〇	七・二〇〇	男人夫

十四年	十三年	十二年	計	十一年	十年	九年	八年	七年	六年	五年	四年	計			
				地手								地除	施肥		
				入								草	人夫		
				代費								代費	賃		
					四人								四人	二人	
					一・二〇〇								・八〇〇	・八〇〇	
一〇・八〇〇	一〇・八〇〇	一〇・八〇〇	一〇・八〇〇	六・〇〇〇	四・八〇〇	一三・八〇〇	一三・八〇〇	一三・八〇〇	一三・八〇〇	一三・八〇〇	一三・八〇〇	一三・八〇〇	六・〇〇〇	三・二〇〇	一・六〇〇
一五・一九六	一五・九五七	一六・七五四	一七・五八二			二三・六〇二	二四・七八三	二六・〇二一	二七・三二二	二八・六八八	三〇・一二四	三一・六二九	三三・二一一		
														同	女人夫

三	計	二	計	年										
肥	雜	芽	地	施肥	臺	同	肥	雜	地	施肥	同	肥	植	種
料	費	搔	代	人	切	料	料	費	代	人	夫	料	栽	目
代	費	費	費	賃	費	代	代	費	費	賃	賃	代	費	數
一五〇貫	一人	〇・五人	五人	一人	一〇〇貫	三〇〇貫	二人	五人	一〇〇貫	三〇〇貫	一・五人	量	單	
・〇二〇	一・五〇〇	一・五〇〇	・八〇〇	一・五〇〇	・三三〇	・〇二〇	一・五〇〇	・八〇〇	・三三〇	・〇二〇	一・五〇〇	價	金	
三・〇〇〇	五二・七五〇	一・五〇〇	六・〇〇〇	四・〇〇〇	一・五〇〇	三三・〇〇〇	六八・九五〇	六・〇〇〇	四・〇〇〇	三三・〇〇〇	二・二五〇	額	ノケル	
	一三三・二九九						一八二・九四五					元	期二十年	
												後	利率五分	
		同	男人夫	女人夫	男人夫	堆肥	男人夫、支柱建設	女人夫	大豆粕	堆肥	男人夫	摘要		

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
十五年				一〇・八〇〇	
十六年				一〇・八〇〇	
十七年				一〇・八〇〇	
十八年				一〇・八〇〇	
十九年				一〇・八〇〇	
二十年				一〇・八〇〇	
合計				六八四・二四九	

收入 八百七拾五圓

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	五〇本	一七・五〇〇	八七五・〇〇〇	

收支計算 純收入 百九拾圓七拾五錢壹厘

(二) 間作收支

イ、西瓜

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
初年	植付及施肥人夫	四人	一・五〇〇	六・〇〇〇	男人夫
	肥料代	五叭	三・五〇〇	一七・五〇〇	過燐酸石灰
	除草費	一人	・八〇〇	八・〇〇〇	女人夫
計				三一・五〇〇	

支出 參拾壹圓五拾錢

内譯

收入 百五拾圓

種目	數量	單價	金額	摘要
西瓜	一、〇〇〇貫	・一五〇	一五〇・〇〇〇	

收支計算 純收入 百拾八圓五拾錢

ロ、里芋

支出 八圓九拾錢

内譯

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
二年	植栽費	二人	一・五〇〇	三・〇〇〇	男人夫
	肥料代	一噸	三・五〇〇	三・五〇〇	過燐酸石灰
計	除草費	三人	・八〇〇	二・四〇〇	女人夫
				八・九〇〇	

收入 五拾圓

種目	數量	單價	金額	摘要
里芋	一〇〇貫	・五〇〇	五〇・〇〇〇	

收支計算 純收入 四拾壹圓拾錢

三六、島根縣那賀郡下府村地方

支出 百參拾七圓七拾參錢壹厘

內譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期十年ニ於ケル元利後價	摘要
初年	苗木代	六〇本	・一〇〇	六・〇〇〇		人糞尿
	肥料代	八〇貫	・三二五	二・六〇〇		
計	植栽費及施肥人夫賃	男二人	・一〇〇	二・四〇〇		
	除草費	女三人	・六〇〇	一・八〇〇		
二年	肥料代	八〇貫	・三二五	二・六〇〇		
	施肥人夫賃	男二人	・一〇〇	二・四〇〇		
計	除草費	女三人	・六〇〇	一・八〇〇		
	病蟲害驅除豫防費	男二人	・一〇〇	二・四〇〇		
三年	貢租			一〇・〇〇〇	一四・八六一	前年ニ同シ
	計			一〇・〇〇〇	一四・二二一	
四年	貢租			一〇・〇〇〇	一三・六〇九	同
	計			一〇・〇〇〇	一三・〇二三	同
五年	貢租			一〇・〇〇〇	一三・〇二三	同
	計			一〇・〇〇〇	一三・〇二三	同



年次	種目	數量	單價	金額	摘要
六年				一〇・〇〇〇	同
七年				一〇・〇〇〇	同
八年				一〇・〇〇〇	同
九年				一〇・〇〇〇	同
十年				一〇・〇〇〇	同
合計				一〇六・〇〇〇	

收入 百八圓

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	二、七〇〇才	〇・四〇	一〇八・〇〇〇	

收支計算 差引損 貳拾九圓七拾參錢壹厘

三七、岡山縣阿哲郡上市村地方

支出 百七拾貳圓六拾四錢八厘

內譯

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
初年	開墾費	二〇人	一・〇〇〇	二〇・〇〇〇	
	苗木代	一〇〇本	〇・八〇	八・〇〇〇	
	植栽費	一人	一・〇〇〇	一・〇〇〇	
	中耕費	二人	一・〇〇〇	二・〇〇〇	
	除草費	二人	一・〇〇〇	二・〇〇〇	
	芝草刈取施用	三人	一・〇〇〇	三・〇〇〇	
	貢租			一・一五〇	
計				三六・一五〇	
二年	中耕費	二人	一・一〇〇	二・二〇〇	
	除草費	二人	一・一〇〇	二・二〇〇	
	臺切費	一人	一・一〇〇	一・一〇〇	
	芽播租	二人	一・一〇〇	二・二〇〇	
	貢租			一・一五〇	
計				七・八五〇	
三年	中耕費	二人	一・二〇〇	二・四〇〇	
	除草費	二人	一・二〇〇	二・四〇〇	
計				四・八〇〇	
合計				八五・二三八	

桐	種	目	數	量	單	價	金	額	摘	要
材				九〇本		〇・七五	六七・五〇〇			

收入 六拾七圓五拾錢

合計	九 計		八 計		合計			
計	年	年	年	年	計			
	貢	除	中	貢	除	中	貢	芝草刈取施用
	租	費	費	租	費	費	租	費用
		二人	二人		二人	二人		三人
		一・二〇〇	一・二〇〇		一・二〇〇	一・二〇〇		一・三〇〇
		〇	〇		〇	〇		〇
	四・五五〇	・一五〇	二・二〇〇	四・九五〇	・一五〇	二・四〇〇	二・四〇〇	一一・八五〇
	一七二・六四八	五・〇〇五		五・九八九				一五・七七二

七 六 計	五 計		四 計		合計		
年 年	年	年	年	年	計		
芽	除	中	貢	除	中	貢	芝草刈取施用
掘	草	耕	租	費	費	租	費用
費	費	費	費	費	費	費	費用
二人	二人	二人		二人	二人		三人
一・三〇〇	一・三〇〇	一・三〇〇		一・四〇〇	一・四〇〇		一・二〇〇
〇	〇	〇		〇	〇		〇
二・六〇〇	二・六〇〇	二・六〇〇	五・七五〇	二・八〇〇	二・八〇〇	五・三五〇	・一五〇
			八・四一八			九・四七八	
			前年=同シ				

收支計算 差引損 百五圓拾四錢八厘

三八、山口縣美禰郡伊佐町地方

(一) 間作セザル場合

支出 參拾圓貳拾壹錢四厘

年次	種目	數量	單價	金額	伐期七年ニ於ケル年利五分ノ元利後價	摘要
初年	苗木代	一〇〇本	一〇〇	一〇〇		
	地拵費	五人	一〇〇	五〇〇		
	植栽費	五人	一〇〇	五〇〇		
計				一七・五〇〇		二四・六二四
二年	臺切費	一・五人	一〇〇	一五〇		
三年	芽拵費	〇・五人	一〇〇	五〇		
計				二〇〇		二・五五二
四年	芽拵費	一・五人	一〇〇	一五〇		
計				一・五〇〇		

收入 四拾貳圓五拾錢

種目	數量	單價	金額	摘要
平均胸高周圍一・三尺ノモノ	五〇本	・七五〇	三七・五〇〇	
同一ノモノ	五〇本	・一〇〇	五〇〇〇	
一尺以下ノモノ	一〇〇本		四二・五〇〇	主伐收入
計			二二・〇〇〇	
計			二・五〇〇	
計			三〇・三三八	
計			三〇・二二四	

(二) 收支計算 純收入 拾貳圓貳拾八錢六厘  
甘藷ノ間作ヲナス場合

支出 拾六圓六拾八錢四厘

内譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期七年ニ於ケル年利五分ノ元	摘要
初年	苗木代	三八本	一〇〇〇	三・八〇〇	一〇〇〇	
	地拵費	五人	一〇〇〇	五・〇〇〇	一〇〇〇	
	植栽費	一人	一〇〇〇	一・〇〇〇	一〇〇〇	
計				九・八〇〇	一三・七八九	
二年	臺切費	〇・五人	一〇〇〇	〇・五〇〇	〇・五〇〇	
	芽搔費	〇・三人	一〇〇〇	〇・三〇〇	〇・三〇〇	
計				〇・八〇〇	一・〇七二	
三年						
四年	芽搔費	一人	一〇〇〇	一・〇〇〇	一・〇〇〇	
	除伐費	〇・五人	一〇〇〇	〇・五〇〇	〇・五〇〇	
計				一・五〇〇	一・八二三	
五年						
六年						
七年						
合計				一二・一〇〇	一六・六八四	

收入 内譯 貳拾參圓參拾錢

種目	數量	單價	金額	摘要
平均胸高周圍 一、三尺ノモノ	三〇本	七五〇	二二・五〇〇	
同、三尺ノモノ	八	一〇〇	〇・八〇〇	
一尺以下ノモノ	三八		二三・三〇〇	主伐收入

收支計算 純收入 六圓六拾壹錢六厘

尙此ノ他甘藷ノ收入ハ毎年二十五圓内外ノ純收入アリ。

三九、德島縣三好郡加茂村地方

(一) 植栽第一回

支出 貳百八拾四圓參拾八錢八厘

内譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期八年ニ於ケル年利六分ノ元	摘要
初年	苗木代	八〇本	〇・七〇	五・六〇〇		

年次	種目	數量	單價	金額	伐期八年ニ於ケル年利六分ノ元利後價	摘要
	地拵及植栽費		四人	四・〇〇〇		大豆粕
	肥料			五・〇〇〇		地租一・三五〇、縣稅附加稅〇・八九〇、村稅附加稅一・八九〇
	借地料			一九・〇〇〇		施肥其他諸費
	雜費			四・一三〇		
計				三八・二三〇	六〇・九三〇	
	肥料			五・〇〇〇		
	借地料			一九・〇〇〇		
	雜費			四・一三〇		
計				二八・六三〇	四〇・六一一	
	肥料			五・〇〇〇		
	借地料			一九・〇〇〇		
	雜費			四・一三〇		
計				二八・六三〇	四〇・六一一	

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
四年				二二・六三〇	二年ニ同ジ
五年				二八・六三〇	三年ニ同ジ
六年				二二・六三〇	
七年				二二・六三〇	
八年				二五・〇四七	
合				二八四・三八八	

收入 百四拾四圓

種類	種目	數量	單價	金額	摘要
樹材		八〇本	一・八〇〇	一四四・〇〇〇	數量延寸七二〇寸、一寸ニ付〇・二〇〇 當地方ニ於テ桐樹ハ殆ンド立木ノ儘賣買スルヲ以テ上記ノ收入ハ立木賣買價格ヲ示スモノトス

收支計算 差引損 百四拾圓參拾八錢八厘

(二) 萌芽仕立第二回

支出 參百拾九圓五拾七錢壹厘

內譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期八年ニ於ケル年利六分ノ元利後價	摘要
初年	肥料代	7	1000	7000		肥料ハ前回ノ四割増大豆粕
	借地料	19	1000	19000		
	管理費	4	1000	4000		
	貢租	4	1000	4000		
計		44	1000	44000	55193	
二年	借地料	19	1000	19000		
	管理費	4	1000	4000		
	貢租	4	1000	4000		
計		27	1000	27000	41544	
三年				34630	49122	初年ニ同ジ
四年				27630	36974	二年ニ同ジ
五年				34630	43720	初年ニ同ジ
六年				27630	32907	二年ニ同ジ
七年				27630	30824	同

八年計	金額	摘要
27630	29287	同
242040	319571	

收入 百八拾七圓貳拾錢

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	80本	2.340	187.200	數量延寸一、〇四〇寸、一寸ニ付〇・一八〇金額ハ立木賣買價格ヲ示ス

收支計算 差引損 百參拾貳圓參拾七錢壹厘

四〇、香川縣三豐郡財田村地方

支出 八拾九圓九拾錢九厘

年次	種目	數量	單價	金額	伐期七年ニ於ケル年利五分ノ後價	摘要
初年	苗木代	100本	1.60	1600		一人一日百本植
	植栽費及施肥人夫賃	2人	1200	2400		
	基肥代	200貫	0.45	9000		厩肥、一本ニ付二貫芻

年次	二年計		三年計		四年計		合計
	種目	數量	單價	金額	種目	數量	
除草及手入費	〇・五人	一・二〇〇	二八・〇〇〇	六・六〇〇	除草及手入費	〇・五人	一・二〇〇
	〇・三人	一・二〇〇	・三六〇	・六〇〇		〇・五人	一・二〇〇
臺切費	〇・七人	一・二〇〇	・八四〇	・八四〇	除草及芽搔費	〇・七人	一・二〇〇
	〇・七人	一・二〇〇	・八四〇	・八四〇		二〇〇貫	・四〇〇
肥料代	二〇〇貫	・四四五	九・〇〇〇	九・〇〇〇	肥料代	二〇〇貫	・四四五
	一人	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇		一人	一・二〇〇
施肥人夫賃	一人	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	施肥人夫賃	一人	一・二〇〇
	一人	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇		一人	一・二〇〇
合計			三九・三九八	一・三・二七	合計		一・三・二七

年次	五年計		六年計		七年計		合計
	種目	數量	單價	金額	種目	數量	
除草人夫賃	〇・五人	一・二〇〇	・六〇〇	・六〇〇	除草及手入費	〇・五人	一・二〇〇
	〇・五人	一・二〇〇	・六〇〇	・六〇〇		肥料代	一・五貫
肥料代	一・五貫	・四〇〇	六・〇〇〇	六・〇〇〇	施肥人夫賃	一人	一・二〇〇
	一人	一・二〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇		一人	一・二〇〇
合計			一・三・二七	八・五九九	合計		八・五九九

收入 九拾圓

種目	數量	單價	金額	摘	要
桐材	一〇〇本	〇・九〇〇	九〇・〇〇〇	胸高周圍平均一尺四寸五分	

收支計算 純收入 九錢壹厘

四一、愛媛縣周桑郡千足山村地方  
 支出 百參拾貳圓五拾七錢貳厘  
 內 譯

年次	種目	數量	單價	金額	伐期十年ニ於ケル年利五分ノ元利後價	摘要
計	地拵費	四人	一・二〇〇	四・八〇〇		杉伐採跡地ニシテ地拵ハ勸起スノミナリ 苗木ハ分根發芽苗ヲ用フ 植付ニハ肥料ヲ施サズ
	苗木代	一〇〇本	・〇三〇	三・〇〇〇		
計	除草費	二・五人	一・二〇〇	三・〇〇〇		同
	病蟲害豫防驅除費	六人	一・二〇〇	七・二〇〇		
計	借地料	二人	一・二〇〇	二・四〇〇		同
	其他管理費	二人	一・二〇〇	二・四〇〇		
計	除草費	六人	一・二〇〇	七・二〇〇		同
	病蟲害豫防驅除費	二人	一・二〇〇	二・四〇〇		
計	借地料	二人	一・二〇〇	三・〇〇〇		同
	病蟲害豫防驅除費	二人	一・二〇〇	二・四〇〇		
計	計			三・八・一・一六		
計	計			七・二・三・六		

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
六年				五・四〇〇	前年ニ同ジ
七年				五・四〇〇	同
八年				五・四〇〇	同
九年				五・四〇〇	同
十年				五・四〇〇	同
合計				九三・六〇〇	

收入 百參拾六圓

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	一〇〇本	一・三六〇	一三六・〇〇〇	主伐收入

收支計算 純收入 參圓四拾貳錢八厘

四二、福岡縣田川郡糸田村地方

支出 貳百拾圓四拾七錢八厘

內譯



年次	種目	數量	單價	金額	後價	摘要
初年	苗木	一五〇本	・二〇〇	三〇・〇〇〇		
計	植栽			三〇・〇〇〇		
	肥料			一二・七五〇		
二年	除草			二〇・〇〇〇		
	肥料			一二・七五〇		
計	除草			四七・七五〇	八二・〇四四	
	肥料			二〇・〇〇〇		
三年	除草			一四・七五〇		
	肥料			一二・七五〇		
計	除草			一・〇〇〇	二〇・六三四	
	肥料			一三・七五〇		
四年	除草			一八・〇〇〇		
	肥料			一・〇〇〇		
計	除草			一九・〇〇〇	二六・六四九	
	肥料			一八・〇〇〇		
五年	除草			一八・〇〇〇		
	肥料			一・〇〇〇		
計	除草			一八・〇〇〇	二三・五九四	
	肥料			一・〇〇〇		
合計				一四一・六七〇	二一〇・四七八	
合計				一六・六六〇	二〇・四〇八	
合計				一一・七六〇	一三・四六四	

年次	種目	數量	單價	金額	後價	摘要
六年						
七年						
八年						
計						

收入 四拾貳圓七拾壹錢

收支計算 差引損 百六拾七圓七拾六錢八厘  
 四三、熊本縣菊地郡龍門村地方  
 支出 五拾壹圓九拾七錢貳厘  
 內譯

單價極メテ低廉ナルハ材質  
 不良ナルト材質下落セルニ  
 ヨル

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
初年	苗木代	一五〇本	〇・七〇	一〇・五〇〇	伐期十五年ニ於ケル平均利五分ノ元 後利後價
	植栽費			四・〇〇〇	
	手入費			四・〇〇〇	
	肥料代			六・五〇〇	
計				二五・〇〇〇	
自一五年				二五・〇〇〇	二年ヨリ十五年マデ經費支出セズ
合至五年計				二五・〇〇〇	

収入 百拾圓

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	九五本	一・一五八	一一〇・〇〇〇	收入ハ立木賣買價格、大サ胸高周圍平均一尺八寸、樹高平均十尺

收支計算 純收入 五拾八圓貳錢八厘

四四、大分縣大野郡三重町地方

支出 參拾圓六拾參錢壹厘

内譯

年次	種目	數量	單價	金額	摘要
初年	苗木代	一〇〇本	〇・二〇	二・〇〇〇	伐期五年ニ於ケル平均利五分ノ元 後利後價
	整地及植穴堀費	五人	一・二〇〇	六・〇〇〇	
	植栽費	二人	一・二〇〇	二・四〇〇	
	肥料代			五・六〇〇	
計				二四・〇〇〇	
自一五年				二四・〇〇〇	一人一日五十本植 施肥人夫賃ヲ含ム 大豆粕十五貫、人糞尿四荷
合至五年計				二四・〇〇〇	

収入 七拾五圓

種目	數量	單價	金額	摘要
桐材	一〇〇本	〇・七五〇	七五・〇〇〇	目通周圍平均一尺五寸

收支計算 純收入 四拾四圓參拾六錢九厘

625  
94

昭和七年八月二十日印刷  
昭和七年八月二十二日發行

### 農林省山林局

東京市京橋區西八丁堀二ノ四ノ二  
印刷人 小 藥 政 吉  
東京市京橋區西八丁堀二ノ四ノ二  
印刷所 小 藥 印刷所  
電話京橋五六七六番

Table with multiple columns and rows, containing faint text and numbers, likely a ledger or record book.

~~825~~ 653.7  
~~84~~ N96